

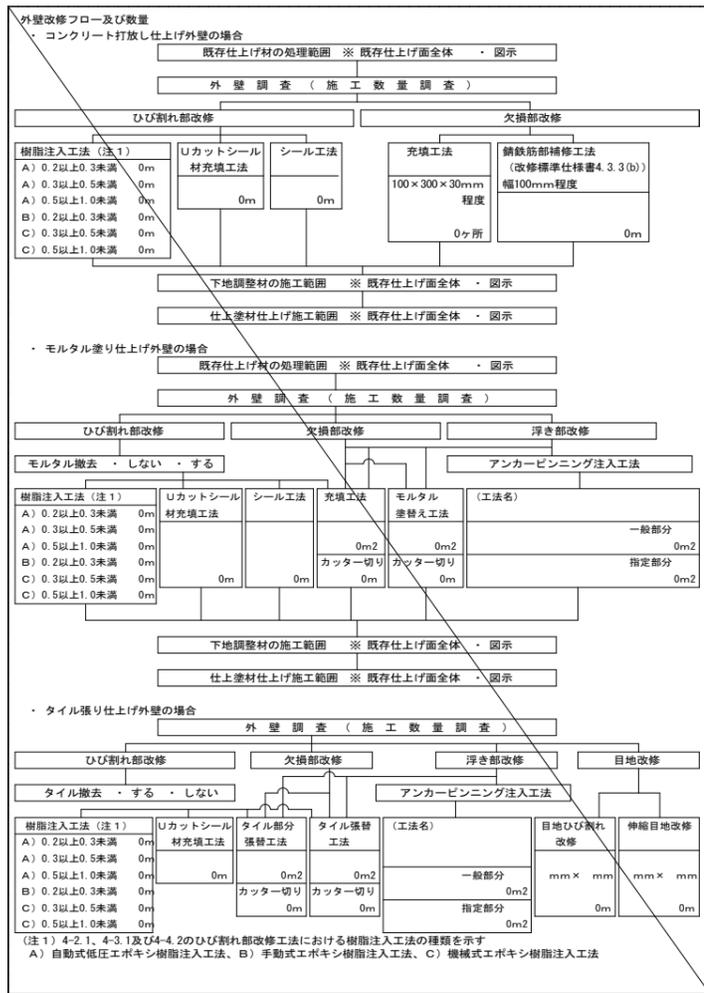
# 八重小学校他2校 学校給食受配校プラットホーム整備工事

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
共通A-01	改修工事特記仕様書1	八重東小A-10	厨房機器配置図、厨房機器リスト						
共通A-02	改修工事特記仕様書2	八重東小A-11	仮設計画案 1階平面図						
共通A-03	改修工事特記仕様書3	八重東小E-01	電気設備 平面図(改修前)						
共通A-04	改修工事特記仕様書4	八重東小M-01	機械設備 平面図(撤去)						
共通A-05	改修工事特記仕様書5	本地小A-01	設計概要、仕上表						
共通A-06	改修工事特記仕様書6	本地小A-02	配置図						
共通A-07	改修工事特記仕様書7	本地小A-03	1階平面図(計画概要)						
共通A-08	改修工事特記仕様書8	本地小A-04	平面詳細図(改修前)						
共通M-01	機械設備工事特記仕様書1	本地小A-05	平面詳細図(改修後)						
共通M-02	機械設備工事特記仕様書2	本地小A-06	断面詳細図(改修前・後)						
八重小A-01	設計概要、仕上表	本地小A-07	建具表(改修前・後)						
八重小A-02	配置図	本地小A-08	アルミ庇詳細図(参考図)						
八重小A-03	平面図(計画概要)	本地小A-09	厨房機器配置図、厨房機器リスト						
八重小A-04	1階平面詳細図(改修前)	本地小A-10	仮設計画案 1階平面図						
八重小A-05	1階平面詳細図(改修後)	本地小E-01	電気設備 平面図(改修前)						
八重小A-06	断面詳細図1(改修前・後)	本地小M-01	機械設備 平面図(撤去)						
八重小A-07	断面詳細図2(改修前・後)								
八重小A-08	建具表(改修前・後)								
八重小A-09	厨房機器配置図、厨房機器リスト								
八重小A-10	仮設計画案 1階平面図								
八重小M-01	機械設備 平面図(撤去)								
八重小S-01	構造概要書								
八重小S-02	鉄筋コンクリート造標準図								
八重小S-03	鉄骨造標準図								
八重小S-04	構造図								
八重東小A-01	設計概要、仕上表								
八重東小A-02	配置図								
八重東小A-03	1階平面図(計画概要)								
八重東小A-04	平面詳細図(改修前)								
八重東小A-05	平面詳細図(改修後)								
八重東小A-06	断面詳細図(改修前・後)								
八重東小A-07	建具表(改修前・後)								
八重東小A-08	外構図(改修前・後)								
八重東小A-09	アルミ庇詳細図(参考図)								









5	1	改修工法	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
	2	防火戸	・ 適用する 指定箇所 ( ※ 建具による )			【 5. 1. 4 】 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※ 運動させない 適用箇所 ( ・ 建具による ) ・ 運動させない
	3	見本の製作等	建具見本の製作 ・ 行う ( 建具符号 : ) ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う ( 建具符号 : ) ・ 行わない			【 5. 1. 5 】
	4	防犯建物部品	・ 適用する 適用箇所 ( ※ 建具による )			【 5. 1. 7 】
6	アルミニウム製建具	性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ( ) 、気密性の等級 ( ) 、水密性の等級 ( ) ※ 改修標準仕様書5.2.1による種別 外部に面する建具の種類 ・ A種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 種別 ・ BB-1種 ・ BB-2種 色合等 ※ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 色合等 ※ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 結露の処理方法 ※ 図示 取付工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する			【 5. 2. 2 ~ 5 】 【 5. 2. 2 ~ 5 】 【 5. 1. 3 】	

6	網戸等	種類	材質	線径	網目
7	樹脂製建具	性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ( ) 、気密性の等級 ( ) 、水密性の等級 ( ) ※ 改修標準仕様書5.3.11による種別 外部に面する建具 ・ A種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ B種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) ・ C種 ( 建具符号 : ・ 全て ・ 建具表による ) 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ( ) ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 取付工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する ガラス ※ 複層ガラス	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス ( SUS316 ) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ
8	鋼製建具	性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.2による 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による	※ ステンレス ( SUS304 ) 鋼材	【 5. 2. 2 】 【 5. 4. 2 ~ 4 】 【 5. 5. 4. 2 】	
9	鋼製軽量建具	性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.5.1による 使用箇所 ( ) 召合せ、縦小口包み材の材質 ※ 鋼板 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による	※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1	【 5. 2. 2 】 【 5. 5. 2 ~ 4 】	
10	ステンレス製建具	性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 つづりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ( ・ a角 ・ b角 ・ c角 )	※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1	【 5. 2. 2 】 【 5. 4. 2 】 【 5. 6. 2 ~ 5 】 【 5. 7. 2. 3 】	
11	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※ 改修標準仕様書5.7.1及び適用は建具表による 金庫製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書5.8.5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による			
12	錠	錠前類 【 シリンダ錠及びシリンダ本締まり錠 】 ( 品名 ) デッドボルトの寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グラッドマスタスキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。 ( 性能 ) < 使用頻度による性能 > 1) ( シリンダ錠のみ ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 ( 40万回 ) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2) キーによるデッドボルトの施錠解除繰り返し試験 ( 10万回 ) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解除時に支障がない。 ( シリンダ本締まり錠のみ ) シリンダ単体の施錠解除繰り返し試験は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3) キーによる施錠機構の施錠解除繰り返し試験 ( 10万回 ) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解除時に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験 ( 10万回 ) を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差深い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。 ( キーに加える力は、150N・cmとする ) < 外力に対する性能 > 1) デッドボルトの押込み強度試験 ( 10KN ) を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は18mm以上であること。 2) デッドボルトの側圧強度試験 ( 10KN ) を行った後、加圧板がデッドボルトを通過しない。 3) デッドボルトの押込み強度 ( 衝撃荷重 ) 試験 ( 58.8J ) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 ( デッドボルトの突出量が9mm未満 ) にならないこと。 4) デッドボルトの側圧強度 ( 衝撃荷重 ) 試験 ( 58.8J ) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 ( 加圧板がデッドボルトを通過した状態 ) にならないこと。 5) ( シリンダ本締まり錠はグレード3以上の形造錠の場合 ) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体製とする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 < 使用頻度の質量に対する性能 ( シリンダ錠のみ ) > 1) ラッチボルトの側圧強度試験 ( 4KN ) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチ			
13	自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書5.8.11による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2			【 5. 8. 4 】 【 5. 9. 2. 3 】

14	自閉式上吊り引戸装置	2) レバーハンドルのねじり強度試験 ( 3.5KN・cm ) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除時に支障がない。 3) 握り玉のねじり強度試験 ( 3KN・cm ) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除時に支障がない。 4) ハンドルの引張強度試験 ( 2KN ) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除時に支障がない。 5) ハンドルの垂直荷重強度試験 ( 2KN ) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除時に支障がない。 < 錠 > 1) かぎ ( 錠 ) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ ( 錠 ) 違い数とみなさないものとする。 2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一割合は、最大2連続までとしていること。 試験方法は、JIS A 1541-1 ( 建築金物一般 - 第1部 : 試験方法 ) による。			【 5. 1. 0. 3 】 ( 試験方法 ) ( 1 ) 耐久性 ( 開閉繰り返し ) 試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制動装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの動作を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制動装置は10万回以上の時点でのみ調整を行えるものとし、また、その他の制動装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 ( 2 ) 耐衝撃性試験 落下高さ170cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 ( 3 ) 気密性能試験 JIS A 1516 「 建具の気密性試験方法 」 による。
15	重量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防塵シャッター 外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa 開閉方式の種類 ※ 上部電動式 ( 手動併用 ) ・ 上部手動式 安全装置 急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※ 「 防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件 」 ( 昭和48年12月28日建設省告示第2563号 ) に定める基準に適合するもの 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※ JIS G 3302 ( 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ) ※ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ) めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1			【 5. 1. 1. 2. 3 】
16	軽量シャッター	開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 上部電動式 ( 手動併用 ) 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 スラットの材質の種類 ※ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ) めっきの付着量 ( ※ Z06 又はF06を満足するもの ) ・ JIS G 3312 ( 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ) めっきの付着量 ( ※ AZ90を満足するもの ) スラットの形状 ※ インターロック型形 ・ オーバーラッピング形 シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない ガイドレール ( 中柱材 ) の材質 ※ ステンレス鋼板 ( SUS304 ) 厚さ1.0mm 座板の材質 ( 屋外の場合 ) ※ ステンレス製既製品			【 5. 1. 2. 2 ~ 4 】
17	オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ 175 ・ アルミニウムタイプ ・ 125 ・ ファイバーグラスタイプ ・ 100 ・ 75 ・ 50 耐風圧性能 区分 ※ バランス式 ・ スタンダード形 ・ ロールアップ式 ・ ローヘッド形 ・ チェーン式 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 開閉方式 による区分 ※ 電動式 収納方式 による区分 ※ スタンダード形 ・ ロールアップ形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレールの材料 ※ ステンレス鋼板 ( SUS304 ) 厚さ1.0mm ±3mm以内			【 5. 1. 3. 2. 3 】
18	木製建具	電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※ 図示 建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ フラッシュウ 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 標準仕様書16.7.2 ( 2 ) ( a ) による 表面材の合板の種類			【 5. 7. 2 ~ 4 】
19	合板の種類	規格等 ・ 普通合板 表面の樹種 生地、透明塗料塗り ( ※ ラワン合板程度 ) 不透明塗料塗り ( ※ しな合板程度 ) 板面の品質 ( ・ 広葉樹1等 ) 接着の程度 ( ・ 1種 ・ 2種 ) ・ 天然木化粧合板 樹種名 ( ) 接着の程度 ( ・ 1種 ・ 2種 ) ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 ( ・ 1種 ・ 2種 ) ・ ミディアムデンシティ ファイバーボード ( MDF ) 表面の状況による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 接着剤による区分 ( ) 接着剤による区分 ( )			
20	錠	マスターキー ※ 製作する ( 組 ) ・ 製作しない ・ 既存に組込む 錠の製作本数 ※ 各室3本1組 ( 室名札付き ) 錠箱 ・ 設ける ( 備用組 ) ・ 設けない			【 5. 8. 4 】
21	引き戸用駆動装置	性能値 ※ 改修標準仕様書5.8.11による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2			【 5. 9. 2. 3 】

19	ガラス	<p>ふすま 張りの種別 (Ⅰ型・Ⅱ型) 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 緑上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクレーヤー塗装) 見込み寸法 ※ 建具表による ふすま 見込み寸法 ※ 建具表による 紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による 枠の材料 ※ 木製枠 (6章内装改修工事による) ・ 鋼製枠 (※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板) ・ 鋼製枠 (※亜鉛めっき鋼板 ・ 木製 (3. 7. 5. 13. 2~4) (図5. 14. 1)) つづりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製 (3. 7. 5. 13. 2~4) (図5. 14. 1) 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスの種類、組合せ フロート板、フロート板合わせガラス 強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類による名称 材料板ガラス 破片の状態及びビニルシートバック衝撃特性による種類 フロート強化ガラス フロート板ガラス Ⅰ類 Ⅲ類 熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 性能による種類 色調 熱線吸収フロート板ガラス Ⅰ種 Ⅱ種 グリーン 熱線吸収網入り磨き板ガラス 複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による 断熱性による区分 乾燥気体の種類 T1・T2・T3・T4・T5・T6 空気・アルゴン 日射取得性、日射遮蔽性による区分 乾燥気体の種類 G・S 空気・アルゴン 熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 日射熱遮蔽性による区分 耐久性による区分 色調 (ブルー・グレー) Ⅰ種 A類 Ⅱ種 B類 Ⅲ種 B類 反射皮膜面 内面 外面 映像調整 行わない 行う ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ ガasket ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ グレージングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による 樹脂製 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ ガasket ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ グレージングチャンネル形 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5. 14. 5] 表面 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地 防火性能 形状 (mm) クリア 乳白 平積み 曲面積み 位置 (mm) 正方形 160×160 95 125 ※8~15 外側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) 5(2) (イ) 200×200 95 125 内側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) 5(2) (イ) 200×200 95 125 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示 力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5. 5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ( ) シーリングの種類 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示 工法 1章 適用区分による風圧力の ( 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による 図示 種類 記号 内張り用 外張り用 其他性能等 日射調整フィルム S C-1 S C-2 日射量への性能による区分 A ・ B ・ C ・ D ・ E 低放射フィルム LE 熱伝達率による区分 A ・ B ・ C ・ D 衝撃破壊対応ガラス G I-1 G I-2 飛散防止フィルム 飛散防止フィルム G D-1 G D-2 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ガラス貫通防止フィルム SF ガラス貫通防止性能による区分 A ・ B 品質 JIS A5759による</p>	<p>6 1 他部との取 合い等 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示 6 2 2 既存床の撤去及び 下地補修 ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) [6. 2. 2] 下地モルタルとも ( 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目置し工法 既存のコンクリート又はモルタルの下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 6 3 3 既存壁の撤去及び 下地補修 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2] ※ 改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示 ) 4 4 製材 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2] 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存 間伐材等の 処理 適用 ※2級 ※A種・B種 ※2級 ※A種・B種 JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存 間伐材等の 処理 適用 見え掛り面 ※小節 ※A種・B種 見え掛り面 ※小節以上 ※A種・B種 以外 JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存 間伐材等の 処理 適用 ※1等 ※10%以下・A種・B種 ※1等 ※10%以下・A種・B種 JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の 適用 ( ) ・適用する ※A種 造作材の場合 ・適用しない ※B種 (※A種・B種) 5 5 造作用集成材 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2] 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の 適用 ※1等 ・2等 ( ) 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の 適用 化粧薄板: 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の 芯材: ※1等 ※2等 ( ) 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の品質 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の 適用 ※15%以下 ( ) 化粧薄板: 見付け材面 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の 芯材: ※15%以下 ( ) 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の品質 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の 適用 ※15%以下 ( ) 化粧薄板: 見付け材面 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の 芯材: ※15%以下 ( ) 8 8 接合具等 造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3] ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘隠現し 諸金物 ※かすがい、産金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6. 5. 3-5に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度) (形状: 寸法: 材質: ) 9 9 防蟻・防蟻処理 薬剤の加圧注入による防蟻防蟻処理 [6. 5. 5] 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ※ K3 ・ K4 ・ K2 ※ K3 ・ K4 ・ K2 ※ K3 ・ K4 薬剤の塗布等による防蟻、防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※ 薬剤の製造所の仕様による ・ JIS K 1571に適合又は同等品 薬剤の接着剤への混入による防蟻、防蟻処理 適用部位 ( ) 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ( ) 10 10 内部間仕切り輪及び 床組み 間仕切軸組に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6] ※杉又は松 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) 11 11 窓、出入口その他 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7] ※吊糸種、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松 12 12 床板張り 縁甲板及び上がりこまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8] ※ひのき 13 13 壁及び天井下地 壁、天井、野縁受機、野縁及び吊糸に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9] ※杉又は松</p>	<p>6 5 2 造作用単板積層材 [6. 5. 2] ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による JAS 0701に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の 適用 ・ 有り (加工: ・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・適用する ・ 無し (等級: ) ・適用しない JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の 適用 ・ 有り (加工: ・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・適用する ※14%以下 ・ 無し ( ) ・適用しない JAS 3079に基づく直交積層板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の 適用 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による 普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の 樹種名 接着の 板面の品質 防虫処理 間伐材等の 程度 程度 適用 (mm) 適用 ※5. 5 ※1類 広葉樹 ※2等以上 Ⅰ等 ・適用する ・2類 針葉樹 ※C-D以上 ・適用しない 構造用合板 施工箇所 等級 単板の 接着の 板面の 厚さ 防虫処理 強度等級 間伐材等の 程度 程度 程度 (mm) 適用 ( ) 適用 ※2級以上 ※1類 ※C-D ※12 ・適用する ( ) ・特級 ・特類 ・以上 ・適用しない ( ) 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の 適用 ※1類 ・特類 ・適用する ・適用しない 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の 適用 化粧板に使用する 接着の程度 防虫処理 間伐材等の 単板の樹種名 (mm) 適用 ( ) ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の 適用 ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態 曲げ強さ 耐水性 難燃性 厚さ (mm) による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 ※13タイプ ※P又はM ※15 JAS 0360に基づく構造用パネル 施工箇所 等級 寸法 (mm) Ⅰ級 Ⅱ級 Ⅲ級 Ⅳ級 メディアデンシティーファイバーボード (MDF) 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の 適用 タフテッドカーベットのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	<p>14 14 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2~4] 野縁等の種類 屋外 (※25形) 屋内 (※19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1章 適用区分による風圧力の ( 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 埋込みの場合、当該層において3箇所 ( ) (確認強度 ※ 改修標準仕様書6. 6. 4(1) (イ) による ( ) ・ 行わない ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井のふところ高が3. 0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 図示 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年 国土交通省告示第771号) 第3第2項第2号に適合させる。 図示 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 15 15 軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3. 4] [表6. 7. 1] スタッド、ランナの種類 [6. 7. 3. 4] [表6. 7. 1] ※ 改修標準仕様書表6. 7. 1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5. 0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6. 7. 4(5)による 16 16 ビニル床シート [6. 8. 2. 3] 種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 帯電防止 ※ 2. 0 ・ 柄物 ・ 防汚性 ※ 目地処理 工法 ※ 熱溶接工法 ・ 受け付 (施工箇所: ) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2以上~3. 2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup>~1×10<sup>10</sup>Ω程度 17 17 ビニル床タイル [6. 8. 2] 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ KT ・ 無地 ・ 300×300 ・ 帯電防止 ※ 2. 0 ・ TT ・ FT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防汚性 ・ 2. 5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3. 0 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2以上~3. 2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup>~1×10<sup>10</sup>Ω程度 18 18 接着剤 [6. 5. 3. 4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 1. 1. 4. 5] 接着剤は可塑性 (難溶性の可塑性を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示 19 19 ビニル幅木 [6. 8. 2] 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1. 5以上 20 20 ゴム床タイル [6. 8. 2] 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 ( ) 厚さ (mm) ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0 寸法 (mm) ( ) 21 21 カーペット敷き [6. 9. 2. 3] [表6. 9. 1] 織じゅうたん 織り方 バイルの形状 帯電性 備考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 帯電する ・ ダブルフェースカーペット ・ ルーフバイル ・ 適用しない ・ アキスミンターカーペット ・ カット、ループ併用 色柄 ※ 横線のない無地 バイル糸の絡み等 ※ 無地の織じゅうたんの種別 (A種 ・ B種 ・ C種) 織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり縫い ・ タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットバイル ・ 5~7 ・ ※ 全面接合工法 ・ 適用する ・ ルーフバイル ・ 4~6 ・ ※ グリッパー工法 ・ 適用しない ・ カット、ループ併用 タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ タイルカーペット バイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考 ※ ルーフバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6. 5 ・ カットバイル ・ 第一種 ※ 500×500 ※ 6. 5 ・ カット、ループ併用 ・ 第二種 ※ 500×500 ※ 6. 5 ・ カット、ループ併用 ・ 第二種 タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示 下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p>
		20	ガラスブロック積み	<p>20 20 ガラスブロック積み [5. 14. 5] 表面 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地 防火性能 形状 (mm) クリア 乳白 平積み 曲面積み 位置 (mm) 正方形 160×160 95 125 ※8~15 外側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) 5(2) (イ) 200×200 95 125 内側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) 5(2) (イ) 200×200 95 125 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示 力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5. 5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ( ) シーリングの種類 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示 工法 1章 適用区分による風圧力の ( 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による 図示 種類 記号 内張り用 外張り用 其他性能等 日射調整フィルム S C-1 S C-2 日射量への性能による区分 A ・ B ・ C ・ D ・ E 低放射フィルム LE 熱伝達率による区分 A ・ B ・ C ・ D 衝撃破壊対応ガラス G I-1 G I-2 飛散防止フィルム 飛散防止フィルム G D-1 G D-2 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ガラス貫通防止フィルム SF ガラス貫通防止性能による区分 A ・ B 品質 JIS A5759による</p>	<p>6 5 2 造作用単板積層材 [6. 5. 2] ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による JAS 0701に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の 適用 ・ 有り (加工: ・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・適用する ・ 無し (等級: ) ・適用しない JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の 適用 ・ 有り (加工: ・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・適用する ※14%以下 ・ 無し ( ) ・適用しない JAS 3079に基づく直交積層板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の 適用 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による 普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の 樹種名 接着の 板面の品質 防虫処理 間伐材等の 程度 程度 適用 (mm) 適用 ※5. 5 ※1類 広葉樹 ※2等以上 Ⅰ等 ・適用する ・2類 針葉樹 ※C-D以上 ・適用しない 構造用合板 施工箇所 等級 単板の 接着の 板面の 厚さ 防虫処理 強度等級 間伐材等の 程度 程度 程度 (mm) 適用 ( ) 適用 ※2級以上 ※1類 ※C-D ※12 ・適用する ( ) ・特級 ・特類 ・以上 ・適用しない ( ) 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の 適用 ※1類 ・特類 ・適用する ・適用しない 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の 適用 化粧板に使用する 接着の程度 防虫処理 間伐材等の 単板の樹種名 (mm) 適用 ( ) ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の 適用 ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態 曲げ強さ 耐水性 難燃性 厚さ (mm) による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 ※13タイプ ※P又はM ※15 JAS 0360に基づく構造用パネル 施工箇所 等級 寸法 (mm) Ⅰ級 Ⅱ級 Ⅲ級 Ⅳ級 メディアデンシティーファイバーボード (MDF) 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の 適用 タフテッドカーベットのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>

Table with 4 columns: 種別, 施工箇所, 工法, 仕上りの種類. Includes sections for 合成樹脂塗床, 防じん用塗床, フローリング張り, 複合フローリング, 畳敷き, and セッコウボードその他.

Table with 4 columns: 種別, 工法, 仕様, 備考. Includes sections for 壁紙張り, モルタル塗り, タイル張り, and セルフレベリング材塗り.

Table with 4 columns: 種別, 工法, 仕様, 備考. Includes sections for 仕上り塗料塗り, 耐震改修工事, and 環境配慮改修工事.

Table with 4 columns: 種別, 工法, 仕様, 備考. Includes sections for 耐震改修工事, 環境配慮改修工事, and 調査.

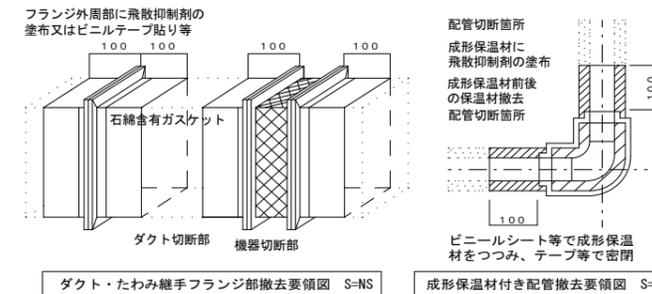
<p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動測定器による測定</li> </ul> <p>測定名称</p> <p>測定方法</p> <p>測定4・測定5</p> <p>測定( )</p> <p>JIS K 3850-11に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定( )</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>測定( )</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有吹付け材の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ※ 図示</li> <li>除去方法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2) (7)による</li> </ul> </li> <li>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化</li> <li>除去した石綿含有吹付け材等の処分       <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 (管理型最終処分場)</li> <li>中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)</li> </ul> </li> <li>石綿含有保温材等の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ※ 図示</li> <li>除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし・破砕して除去</li> <li>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化</li> <li>除去した石綿含有保温材等の処分           <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 (管理型最終処分場)</li> <li>中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外) の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ※ 図示</li> <li>除去した石綿含有成形板の処分           <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有石こうボード               <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 埋立処分 (管理型最終処分場)</li> </ul> </li> <li>石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板               <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 (安定型最終処分場)</li> <li>中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種) の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ※ 図示</li> <li>養生方法           <ul style="list-style-type: none"> <li>除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分               <ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分 (安定型最終処分場)</li> <li>中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による除去方法           <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 石綿障害予防規則 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法               <ul style="list-style-type: none"> <li>集じん装置併用手工具ケレン工法</li> <li>集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度)</li> <li>集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上)</li> <li>超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)</li> <li>剥離剤併用手工具ケレン工法</li> <li>剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度)</li> <li>剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上)</li> <li>剥離剤併用超音波ケレン工法</li> <li>集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示</p>	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4・測定5	25	5	30	測定( )	47	10	120	測定( )	47	10	240	<p>3 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)</td> <td>※ 2種バ A</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 3種バ A</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 25</td> <td>※ スラブ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</p> <p>・ フェノールフォーム断熱材</p> <p>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</p> <p>断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H</p> <p>吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30</p> <p>施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリ-試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m<sup>2</sup>以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する角裂及びひびがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m<sup>2</sup>を超えないこと。</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。</p> <p>(2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透過率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p> <p>断熱材後張り工法</p> <p>断熱材の種類 ( )</p> <p>断熱材の厚さ ( mm)</p> <p>断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル (材質 厚さ mm)</p> <p>張り付け工法</p> <p>断熱材の張り付け工法</p> <p>断熱材へのボードの張り付け工法</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※ 図示</p> <p>見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示</p> <p>(品質・性能等)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水層</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240 L/m<sup>2</sup>・h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10<sup>4</sup> N/m<sup>2</sup>以上の載荷重で破壊・著善な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省着することができるものとする。</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10<sup>4</sup> N/m<sup>2</sup>の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/m<sup>2</sup>以下とする。</p> <p>1章 適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>不陸等の下地調整 ・ 図示</p> <p>通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし</p> <p>断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	※ 2種バ A	※ 25		※ 3種バ A	※ 25		※ 25	※ スラブ		・ 25	・		・ 25	・	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリ-試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する角裂及びひびがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m <sup>2</sup> を超えないこと。	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/m <sup>2</sup> ・h以上	耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・著善な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省着することができるものとする。	<p>4 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4]</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※ 図示</p> <p>見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示</p> <p>(品質・性能等)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水層</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240 L/m<sup>2</sup>・h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10<sup>4</sup> N/m<sup>2</sup>以上の載荷重で破壊・著善な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省着することができるものとする。</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10<sup>4</sup> N/m<sup>2</sup>の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/m<sup>2</sup>以下とする。</p> <p>1章 適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>かん水装置 ・ 設置する (種類 )</p> <p>既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</p> <p>下記以外は、1章その他による</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p>	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/m <sup>2</sup> ・h以上	耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・著善な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省着することができるものとする。	<p>5 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5.9]</p> <p>下記以外は、1章その他による</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p>	<p>1 フリーアクセスフロア (2.0.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造</th> <th>位置</th> <th>支柱調整式</th> </tr> <tr> <td>所定荷重</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> </tr> <tr> <td>耐震性能</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> </tr> <tr> <td>パネル寸法 (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面仕上材</td> <td>※ タイルカーペット</td> <td>※ タイルカーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 帯電防止床タイル</td> <td>・ 帯電防止床タイル</td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>寸法精度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">※ 標準仕様書20.2.2(2) (4) (a)~(c)による</td> </tr> <tr> <td colspan="3">スロープ及びびりゲダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示</td> </tr> <tr> <td colspan="3">配線用取り出しパネル</td> </tr> <tr> <td colspan="3">フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント</td> </tr> <tr> <td colspan="3">配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上</td> </tr> <tr> <td colspan="3">空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: ※ 図示)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(性能)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) ローリングロード性能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意) による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) 耐震性能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(イ) 固定台試験による耐震性能</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>性能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td> <td>水平荷重の1/2が下記の&lt;適用地震時水平力&gt;以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②上記①以外の部分が耐力に達したとき</td> <td>水平荷重の1/1.5が下記の&lt;適用地震時水平力&gt;以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td> <td>構造床面からの高さの1/50以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">&lt;適用地震時水平力&gt;</td> </tr> <tr> <td>3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重</td> <td colspan="2">[ (22kg当り自重+3,000N) / m<sup>2</sup>当りの支柱本数 ] × 0.6</td> </tr> <tr> <td>3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重</td> <td colspan="2">[ (22kg当り自重+3,000N) / m<sup>2</sup>当りの支柱本数 ] × 1.0</td> </tr> <tr> <td>5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重</td> <td colspan="2">[ (22kg当り自重+5,000N) / m<sup>2</sup>当りの支柱本数 ] × 0.6</td> </tr> <tr> <td>5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重</td> <td colspan="2">[ (22kg当り自重+5,000N) / m<sup>2</sup>当りの支柱本数 ] × 1.0</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≦300mmの場合のみ)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 耐燃性能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒0.6以上</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(6) 帯電防止性能評価値 (U)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">0.6以上</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(7) 感電防止性能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">漏えい抵抗 (R) ≧ 1×10<sup>4</sup> Ω</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(8) 歩行感</td> </tr> <tr> <td colspan="3">通常の歩行において空音響やたつきがなく、歩行感に違和感がない</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) メンテナンス性</td> </tr> <tr> <td colspan="3">交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(試験方法)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1) 耐震性能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(イ) 設計床高さ≦300mmの場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">試験体ユニット1000mm×2500mm程度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">所定の重りの質量 3000N・200k 5000N: 350k</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加振 0.6: 所定加速度600cm/s<sup>2</sup> 1.0: 所定加速度1000cm/s<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3">2) 300mm&lt;設計床高さ≦600mmの場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">①固定台による耐震性能試験</td> </tr> <tr> <td colspan="3">イ、支柱調整式-支柱分組型-支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">②試験方法-1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">③試験方法-2</td> </tr> <tr> <td colspan="3">イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N (3,000N/1m<sup>2</sup>相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">④零点補正及び測定記録</td> </tr> <tr> <td colspan="3">試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3) 共通事項</td> </tr> <tr> <td colspan="3">試験に使用する表面仕上げ材</td> </tr> <tr> <td>種類: タイルカーペット</td> <td>繊維素材: ナイロン100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイル携帯: ルーパバイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイル長: 3.0mm~4.0mm</td> <td>パッキング素材: 塩化ビニル樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全厚: 6.0mm~7.0mm</td> <td>単位質量: 4.0k/m<sup>2</sup>~6.0k/m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人体耐電圧: 2KV以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	構造	位置	支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6	パネル寸法 (mm)			高さ (mm)			表面仕上材	※ タイルカーペット	※ タイルカーペット		・ 帯電防止床タイル	・ 帯電防止床タイル	施工箇所	※ 図示	※ 図示	寸法精度			※ 標準仕様書20.2.2(2) (4) (a)~(c)による			スロープ及びびりゲダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示			配線用取り出しパネル			フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント			配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による			・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上			空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: ※ 図示)			(性能)			(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下			(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと			(3) ローリングロード性能			所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意) による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下			(4) 耐震性能			(イ) 固定台試験による耐震性能			項目	性能		①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上		②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上		③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下		<適用地震時水平力>			3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+3,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 0.6		3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+3,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 1.0		5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+5,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 0.6		5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+5,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 1.0		ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≦300mmの場合のみ)			振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。			(5) 耐燃性能			建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒0.6以上			(6) 帯電防止性能評価値 (U)			0.6以上			(7) 感電防止性能			漏えい抵抗 (R) ≧ 1×10 <sup>4</sup> Ω			(8) 歩行感			通常の歩行において空音響やたつきがなく、歩行感に違和感がない			(9) メンテナンス性			交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。			(試験方法)			1) 耐震性能			(イ) 設計床高さ≦300mmの場合			試験体ユニット1000mm×2500mm程度			所定の重りの質量 3000N・200k 5000N: 350k			加振 0.6: 所定加速度600cm/s <sup>2</sup> 1.0: 所定加速度1000cm/s <sup>2</sup>			2) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合			①固定台による耐震性能試験			イ、支柱調整式-支柱分組型-支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。			ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。			②試験方法-1			イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。			ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。			③試験方法-2			イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。			ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N (3,000N/1m <sup>2</sup> 相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。			④零点補正及び測定記録			試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。			3) 共通事項			試験に使用する表面仕上げ材			種類: タイルカーペット	繊維素材: ナイロン100%		バイル携帯: ルーパバイル			バイル長: 3.0mm~4.0mm	パッキング素材: 塩化ビニル樹脂		全厚: 6.0mm~7.0mm	単位質量: 4.0k/m <sup>2</sup> ~6.0k/m <sup>2</sup>		人体耐電圧: 2KV以下			<p>2 表示 (2.0.2.11)</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品</p> <p>※ 名称、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</p> <p>(2.0.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>幅・高さ・取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 横形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ アルミニウム合金製 □</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 電動</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式</td> <td>※ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 電動</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ</p> <p>クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <p>(2.0.2.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ガラス繊維製</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ 1級</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 合成・天然繊維製</td> <td>・ スプリング式</td> <td>・ 2級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木製</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ 3級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料</p> <p>※ 製造所の仕様</p> <p>(2.0.2.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ シングル・片引き</td> <td>・ 手引き</td> <td>・ つまみひだ</td> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ ダブル・引分け</td> <td>・ ひも引き</td> <td>・ 箱ひだ、片ひだ</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 電動</td> <td>・ プレーンひだ</td> <td></td> <td></td> <td>(略)</td> </tr> </table> <p>暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上</p> <p>(2.0.2.16)</p> <p>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材</p> <p>ステンレス製</p> <p>強さによる区分 ※ 10-90</p> <p>仕上げ ※ アルマイト</p> <p>形状 ※ 角形</p> <p>7 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示</p> <p>材質</p> <p>・ 集成材 (仕上げ )</p> <p>・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)</p> <p>表面処理</p> <p>・ BC-1</p> <p>・ BC-2 ※ 標準色 ( )</p> <p>・ 特注色 ( )</p> <p>・ 鋼製 (仕上げ: )</p> <p>8 天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450</td> <td>※ 一般形</td> <td>※ 屋内外用</td> <td>※ 縦線タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 600×600</td> <td>・</td> <td>※ 屋内用</td> <td>※ 目地タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・ 気密形</td> <td></td> <td>・ 目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能)</p> <p>内外枠の材質 アルミニウム製</p> <p>JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの</p> <p>表面処理 陽極酸化皮膜 (JIS H 8601 (A6) 又は同等の性能を有するもの)</p> <p>(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)</p> <p>内枠及び外枠のコーナ-ピース</p> <p>鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>外枠の取付け金物</p> <p>鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>内枠の仕上げ材取付金物</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金押出し型材、垂れつき鋼板又は同等の性能を有するもの</p> <p>耐久性能 (繰り返し閉開試験)</p> <p>(1) 50回、100回、300回の内蓋の重ね下がり、0.5mm以内。</p> <p>(2) 閉開試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。</p> <p>枠の寸法許容差 ±0.5mm以内</p> <p>外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内</p> <p>(試験方法)</p> <p>内蓋 (内枠) の繰り返し閉開試験</p> <p>(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。</p> <p>吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付けた方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカ-仕様に従い取付ける。なお、野線の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。</p> <p>(2) 試験体は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。</p> <p>(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の重ね下がり状態を測定する。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ・取付箇所	・ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 □	※ 25	※ 鋼製	※ 図示		・ 電動	—	—	—	—	—	・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示		・ 電動	—	—	—	—	—	材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ ガラス繊維製	・ 電動式	・ 1級	※ 図示	※ 図示		・ 合成・天然繊維製	・ スプリング式	・ 2級	・	・		・ 木製	・ チェーン式	・ 3級	・	・		形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・ シングル・片引き	・ 手引き	・ つまみひだ			※ 図示	・ ダブル・引分け	・ ひも引き	・ 箱ひだ、片ひだ			・		・ 電動	・ プレーンひだ			(略)	材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 一般形	※ 屋内外用	※ 縦線タイプ		・ 600×600	・	※ 屋内用	※ 目地タイプ		・	・ 気密形		・ 目地タイプ
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
測定4・測定5	25	5	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
測定( )	47	10	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
測定( )	47	10	240																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	※ 2種バ A	※ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	※ 3種バ A	※ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	※ 25	※ スラブ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリ-試験) に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する角裂及びひびがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m <sup>2</sup> を超えないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/m <sup>2</sup> ・h以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・著善な変形がないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省着することができるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/m <sup>2</sup> ・h以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・著善な変形がないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省着することができるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
構造	位置	支柱調整式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
パネル寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
表面仕上材	※ タイルカーペット	※ タイルカーペット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 帯電防止床タイル	・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
寸法精度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
※ 標準仕様書20.2.2(2) (4) (a)~(c)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
スロープ及びびりゲダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
配線用取り出しパネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: ※ 図示)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(性能)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(3) ローリングロード性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意) による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(4) 耐震性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(イ) 固定台試験による耐震性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
項目	性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<適用地震時水平力>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+3,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+3,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+5,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重	[ (22kg当り自重+5,000N) / m <sup>2</sup> 当りの支柱本数 ] × 1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≦300mmの場合のみ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(5) 耐燃性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒0.6以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(6) 帯電防止性能評価値 (U)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
0.6以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(7) 感電防止性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
漏えい抵抗 (R) ≧ 1×10 <sup>4</sup> Ω																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(8) 歩行感																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
通常の歩行において空音響やたつきがなく、歩行感に違和感がない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(9) メンテナンス性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(試験方法)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1) 耐震性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(イ) 設計床高さ≦300mmの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
試験体ユニット1000mm×2500mm程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
所定の重りの質量 3000N・200k 5000N: 350k																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
加振 0.6: 所定加速度600cm/s <sup>2</sup> 1.0: 所定加速度1000cm/s <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
①固定台による耐震性能試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
イ、支柱調整式-支柱分組型-支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
②試験方法-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
③試験方法-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N (3,000N/1m <sup>2</sup> 相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
④零点補正及び測定記録																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3) 共通事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
試験に使用する表面仕上げ材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類: タイルカーペット	繊維素材: ナイロン100%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
バイル携帯: ルーパバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
バイル長: 3.0mm~4.0mm	パッキング素材: 塩化ビニル樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
全厚: 6.0mm~7.0mm	単位質量: 4.0k/m <sup>2</sup> ~6.0k/m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
人体耐電圧: 2KV以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ・取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 □	※ 25	※ 鋼製	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ 電動	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ 電動	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ガラス繊維製	・ 電動式	・ 1級	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 合成・天然繊維製	・ スプリング式	・ 2級	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 木製	・ チェーン式	・ 3級	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ シングル・片引き	・ 手引き	・ つまみひだ			※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ダブル・引分け	・ ひも引き	・ 箱ひだ、片ひだ			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・ 電動	・ プレーンひだ			(略)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 一般形	※ 屋内外用	※ 縦線タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 600×600	・	※ 屋内用	※ 目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・ 気密形		・ 目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		



9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ※600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td>受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 ステンレス製 SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>錫鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>黄銅 JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 ステンレス JIS H 3250のC3602、C3604 JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>底板材コーナーステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td></td> <td></td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> </table> <p>パッキン材 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</p> <p>アンカー材 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</p> <p>取手 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</p> <p>鍵 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</p> <p>蓋の耐荷重性能 蓋中央部が荷重<math>P=1,000N</math>において残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。破壊荷重は、荷重値の<math>Ph</math>の2倍以上であること。</p> <p>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</p>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 ステンレス製 SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS H 4100のA6063S-T5 JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	二重蓋の中蓋	錫鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	塩化ビニル樹脂製等			目地材	黄銅 JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 ステンレス JIS H 3250のC3602、C3604 JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304			底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430		アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)			鋼材			鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)</p> <p>※ 普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F<sub>c</sub>) [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 24</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランブ (cm)	適用箇所	※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)	17	セメント	<p>種類 (6.3.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p>	18	型枠	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</p> <p>せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm)</p> <p>・メッシュ型枠 ・断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m<sup>2</sup>・K・Ca<sup>-1</sup>以上</p>	19	無筋コンクリート	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F<sub>c</sub>) [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>スランブ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 18</td> <td>※ 15</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(h)による</td> </tr> </table> <p>種類 (6.3.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p>	種類	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランブ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(h)による	20	床コンクリート直均し仕上げ	<p>(8.1.4) (表8.1.5)</p> <p>仕上げの平たんさは、図示以外は下記による</p> <p>改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類別 施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>a種</th> <th>b種</th> <th>c種</th> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ( )</td> <td>カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ( )</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ( )</td> </tr> </table>	a種	b種	c種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ( )	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ( )	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ( )	21	あと施工アンカー	<p>(14.1.3)</p> <p>6章内装改修工事 軽重鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・行わない</p>	22	トイレブース	<table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ</td> <td>※ アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) (1) パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打ち材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> <p>(2) 構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430JIL、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> <p>(3) 付属金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>耐ひっかき性</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボードのいずれか品質に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板MDF</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボード</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430JIL、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能	耐ひっかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。		低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボードのいずれか品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	
		材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																												
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き																																																																																																																														
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																														
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15 ステンレス製 SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS H 4100のA6063S-T5 JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																																																														
二重蓋の中蓋	錫鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																															
その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																
目地材	黄銅 JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 ステンレス JIS H 3250のC3602、C3604 JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																
底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																																																															
アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)																																																																																																																																
鋼材			鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																														
設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																															
※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																															
種類	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランブ (mm)	施工箇所																																																																																																																														
※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(h)による																																																																																																																														
a種	b種	c種																																																																																																																															
合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ( )	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ( )	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ( )																																																																																																																															
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																																																																																																															
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																																																															
項目	品質・性能																																																																																																																																
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																																																																																																
裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。																																																																																																																																
小口	防水処理を施す。																																																																																																																																
項目	品質・性能																																																																																																																																
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430JIL、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																
項目	品質・性能																																																																																																																																
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																
ラッチセット	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																
項目	品質・性能	耐ひっかき性																																																																																																																															
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。																																																																																																																																
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボードのいずれか品質に適合していること。																																																																																																																																
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																																																																																															
ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																																																																																																
ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール</td> <td>・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EPG</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EPG	・35 ・45		11	天井見切り縁等	<p>壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁 (天井見切縁、下がり壁見切縁) の材質 ※ アルミニウム既製品 ・ビニル既製品</p>	12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	<p>(11.2.2、19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	※ 300×300	・7.0	・セラミックタイル	※ 300×300	・	・レジンコンクリート製	※ 300×300	・	屋外	・コンクリート製			・セラミックタイル	※ 300×300	・	・レジンコンクリート製	※ 300×300	・	13	鉄筋	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上		14	溶接金網	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網 ・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網 ・鉄筋格子			15	鉄筋の継手及び定着	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)</p> <p>鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手</p> <p>鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする</p> <p>鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による</p> <p>機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 種類 ・ 図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定</p>																																																																	
		材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																												
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EPG	・35 ・45																																																																																																																															
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																														
屋内	・塩化ビニル製	※ 300×300	・7.0																																																																																																																														
	・セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																														
	・レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																														
屋外	・コンクリート製																																																																																																																																
	・セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																														
	・レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																														
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																															
※ SD295A	※ D16以下																																																																																																																																
※ SD345	※ D19以上																																																																																																																																
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																															
※ 溶接金網 ・鉄筋格子																																																																																																																																	



空 調 和 換 気 設 備	1. 設計用温湿度条件 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. 弁類 4. 空調機用トラップ 5. 鋼板製煙道 6. ばい煙濃度計 7. 冷却塔 8. ユニット形 空気調和機 9. ファンコイルユニット 10. パッケージ形 空気調和機 11. マルチパッケージ形 空気調和機 12. 集中管理リモコン 個別リモコン 13. 空気清浄装置 14. オイルポンプ 15. 開放形膨張タンク 16. 地下オイルタンク 17. オイルサービスタ 18. ダクト 19. チャンパー等 20. 吹出口・吸込口の ボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量 ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気 条 件</th> <th colspan="4">室 内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td>夏季 34.9℃</td> <td>51.0%</td> <td>28.0℃</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季 -0.2℃</td> <td>69.9%</td> <td>19.0℃</td> <td>40%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 5) 蒸気温水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370Sch40) 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 7) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) 9) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合は耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない 3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量 30.000m<sup>3</sup>/h を超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空気調和機の記載による。 集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能 (外部記憶媒体への出力機能含む) リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは ( ・ 再生式 ・ 非再生式 ) とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1) 据付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重殻タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 過油油量指示装置 (液面計は ( ・ 抵抗変位式 ・ 磁歪式 ) で ( ・ 屋内 ・ 屋外 ) より油量監視用) を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要 (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事 ) 油面計はゲージ式 (側圧式) とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものは アングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前後150mmを 1.6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの厚板は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ・ グリストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサブライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付き温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式 (定格入力はDC24V、0.7A以下。) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形</p>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)				温度(DB)	湿度	温度(DB)	湿度	温度(DB)	湿度	夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50%			冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	40%			28. 消音内貼り 29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用排水ガイドライン) による。 空気調和機器等又は「7/7-7/7-6」の装着枚数の100%を予備品 (付付) として納める。 7/7-7/7-6は総台数の ( ・ 50% ・ 100% ) に当たる7/7-6を予備品 (付付) として納める。 自動巻取り形及びグリウスフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	排水 設備	4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (車道部) 記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。 水中形三相誘導電動機は、( ※ 乾式 ・ 油封式 ) とする。 電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小径径等又はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	石綿含有設備資材の処理について I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
		外 気 条 件		室 内 (調整目標値)																											
温度(DB)	湿度	温度(DB)	湿度	温度(DB)	湿度																										
夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50%																												
冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	40%																												
3. 排煙口開放及び 復帰方式 4. 排煙風量測定	※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (厚1.6mm) ・ パネル形 ( ・ 天井取付 ・ 壁取付 ) ・ スリット形 ( ・ 天井取付 ・ 壁取付 ) ・ ダンパー形 ( ・ 天井内取付 ・ ) 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ・ 要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書2016年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。	給湯 設備	1) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 保温 1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火器の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2-(h)・VII による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水管 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋼鉄製 (要部青鋼製) ・ ステンレス鋼物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火器の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2-(h)・VII による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水管 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋼鉄製 (要部青鋼製) ・ ステンレス鋼物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火器の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2-(h)・VII による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水管 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋼鉄製 (要部青鋼製) ・ ステンレス鋼物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																									



ダクト切断部 機器切断部

ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS 成形保温材付き配管撤去要領図 S=NS

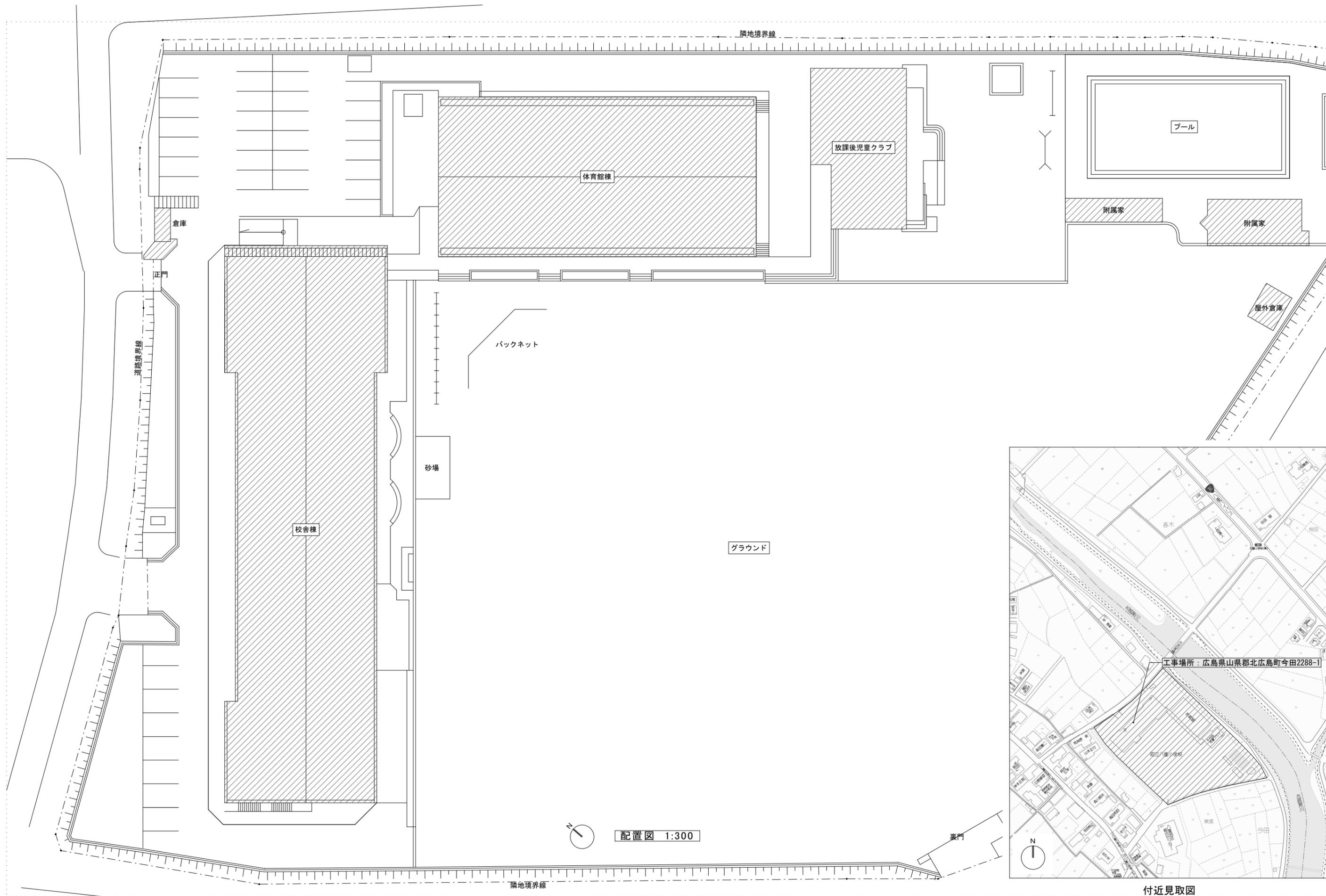
建築物解体工事 (機械設備の部)

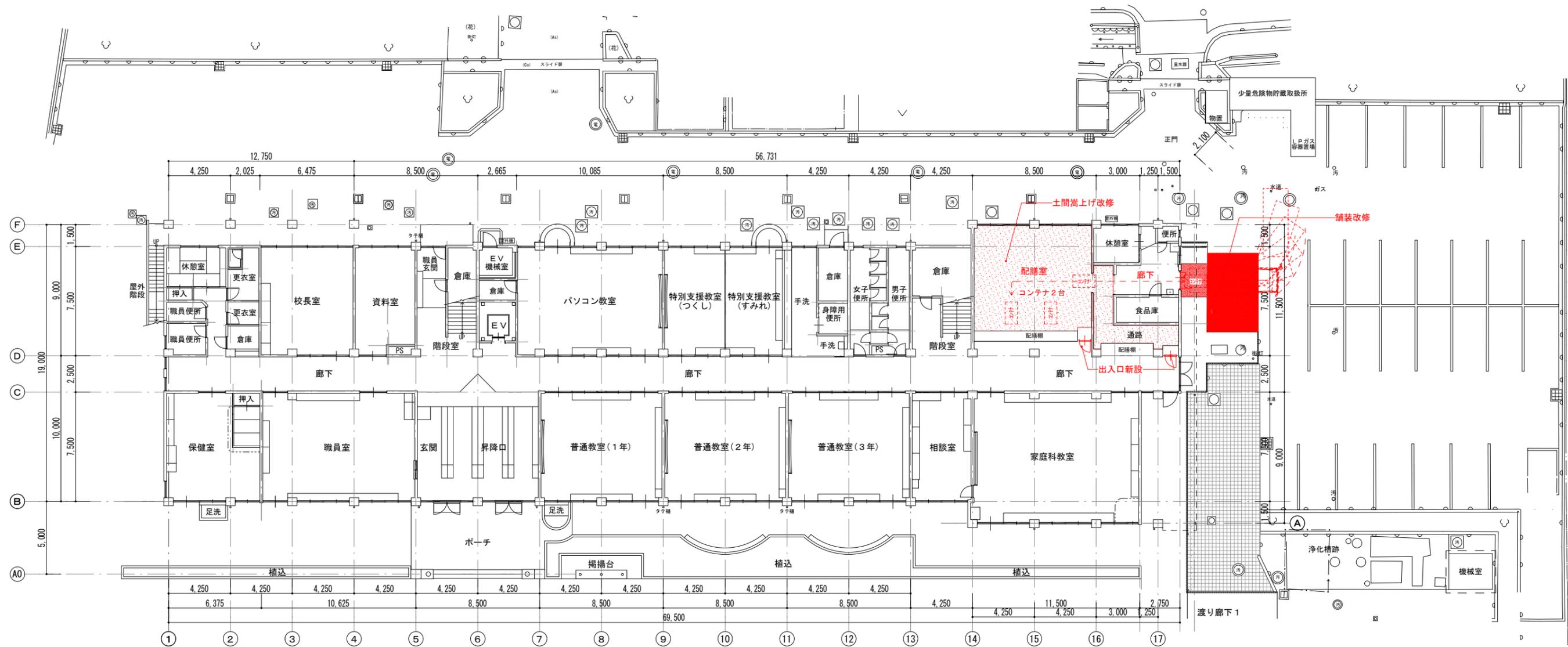
- I. 工事概要 (解体工事の部)  
1. 工事内容 (解体工事の部)  
1) 特記仕様書 (機械設備の部) I. 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。  
2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を全て撤去する。  
3) アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋戻し・整地は別途建築工事とする。  
3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)  
(1) 建物については、  
① 重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。  
図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。(コンクリート基礎の撤去は建築に含む。)  
② 人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。  
フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。  
③ 熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、( ※ 本工事 ・ 別途工事 ) とする。  
(2) その他機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。  
(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。  
図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インバート樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。  
配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。  
(4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。  
4) 撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。  
5) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。  
(浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)
- II. 工事仕様 (解体工事の部)  
1. 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。) により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書 (機械設備工事の部) による。

計 画 概 要		凡 例		防火性能認定番号		特記事項			
<b>建物概要</b> 敷地の場所 広島県山県郡北広島町今田2288番地1 敷地面積 15,416.78㎡  施設名称 八重小学校 校舎 構造 R C造 2階建て 高さ 12.863m 建築面積 1,353.29㎡ 延床面積 2470.82㎡(1階:1,238.25㎡、2階:1,232.57㎡) 建設年度 1986年(昭和61年)建設 1995年(平成7年)増築		<b>一 般</b> C : コンクリート M : モルタル EM : エポキシ樹脂系モルタル CB : コンクリートブロック S : 鉄骨 LGS : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼、鋼製床組) W : 木組下地 SGP : 配管用炭素鋼鋼管 VP : 硬質塩化ビニル管(一般管) VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管) VB : パイプレーション仕上(ステンレス) GL : カラーガルバリウム鋼板		<b>左 官</b> 外薄塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 外厚塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材 内薄E : 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材RE : 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材		GB-R 厚9.5 : 準不燃 QM-9828 GB-R 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8619 GB-F 厚9.5~25.0 : 不燃 NM-8615 GB-RH 厚9.5 : 不燃 NM-8645 GB-NC 厚9.5 : 不燃 NM-8613 GB-S 厚9.5~16.0 : 準不燃 QM-9826 GB-D 厚9.5 : 準不燃 QM-9824 GB-D 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8614 DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599 GW-F : 不燃 NM-8600 GW-B : 不燃 NM-8600 ケイカル板 厚5~12.0 : 不燃 NM-8576		1. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 内部仕上表の地下欄( )は既設部分を示す。 3. 材料加工に先立ち寸法を実測し、実状に合った寸法に加工する。 4. 排水ピットのC増し打ちは、無筋とする。 5. (※3)は石綿含有建材レベル3を示す。 6. 7. 8. 9. 10.	
<b>工事概要</b> 1. 給食室改修 2. 庇の新設 3. 外構改修 4. 5. 6. 7.		<b>ボ ー ド 類</b> GB-R : 石膏ボード GB-F : 強化石膏ボード GB-RH : 普通硬質石膏ボード GB-P : 吸音用穴孔石膏ボード GB-S : シーリング石膏ボード GB-D : 化粧石膏ボード GB-W : 化粧石膏ボード(木目) ケイカル : けい酸カルシウム板 スレート : セメントスレート板 F : フレキシブル板 DR : ロックウール化粧吸音板		<b>塗 装</b> SOP : 合成樹脂調合ペイント塗 OP : 油性調合ペイント塗 VE : 塩化ビニル樹脂エナメル塗 CL : クリヤラッカー FE : フタル酸樹脂エナメル塗 NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗 AE : アクリル樹脂エナメル DP : 耐候性塗料塗 EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP-T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗 UC : ウレタン樹脂ワニス塗 MR : マスチック塗料塗 OS : オイルステイン塗 WP : 木材保護塗料塗		<b>シ ー リ ン グ</b> SR-1 : シリコン系 SR-2 : シリコン系 MS-2 : 変成シリコン系 PU-2 : ポリウレタン系 PS-2 : ポリサルファイド系		参 考 品 番	

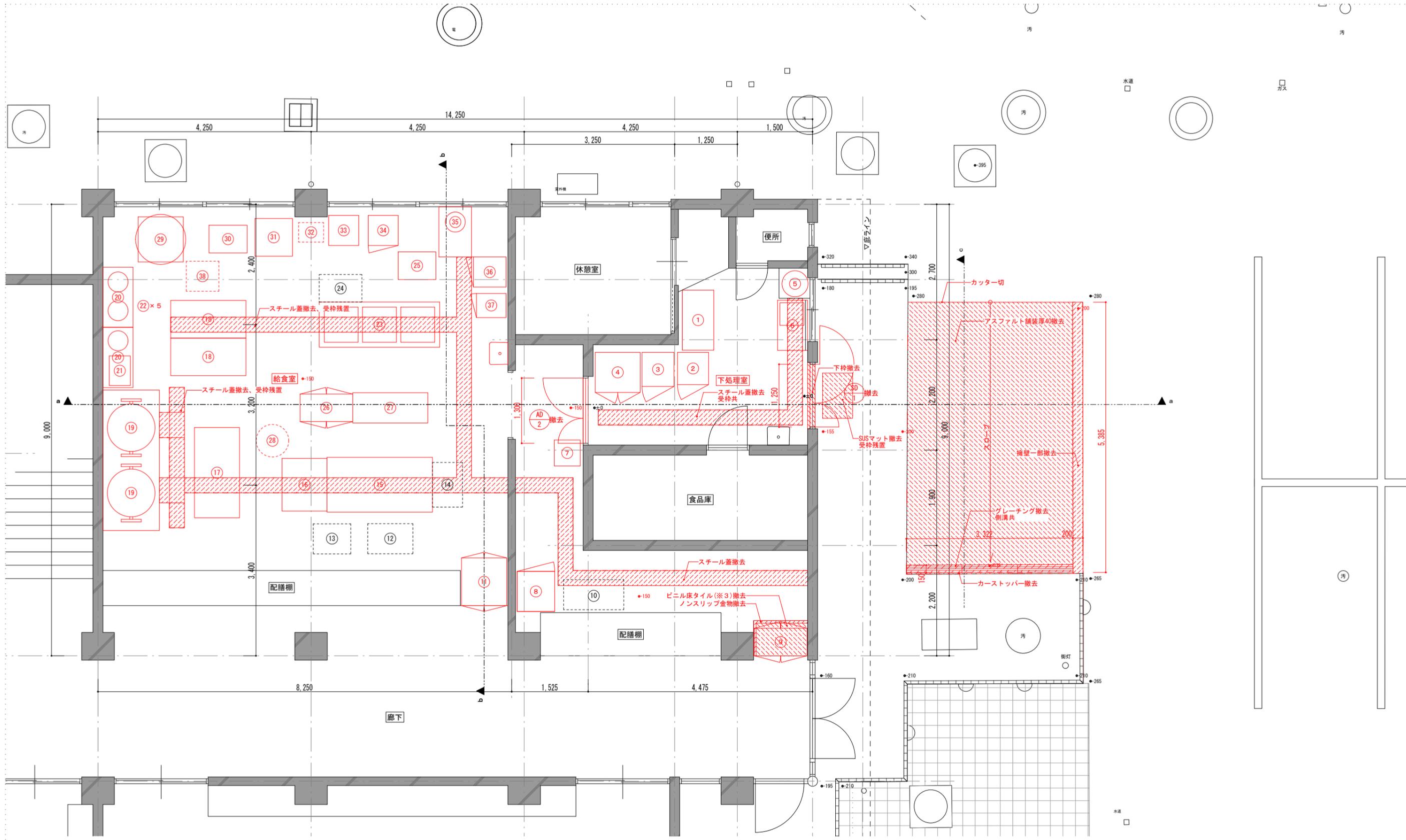
外 部 仕 上 表					
名 称	改 修 前	改 修 後	名 称	改 修 前	改 修 後
屋根	平部:和型瓦葺き 既設のまま、瓦棟木20×40@230 :アスファルトルーフィング下葺き 水切:銅板厚0.5、のし2段、面戸瓦 既設のまま 破風、鼻隠し:水系変性無機質塗料塗 既設のまま		外構	車寄せ:密粒アスファルト厚40 一部撤去、路盤厚100既設のまま :カーストップバー撤去 擁壁:C打放し 一部撤去 犬走:M直均し C下地 既設のまま	車寄せ:アスファルト舗装厚40、路盤厚150 新設  犬走 : C直均し厚180、ワイヤーメッシュΦ6×100×100 新設
外壁	塗装面 :水系変性無機質塗料塗 既設のまま タイル面:磁器質小口タイル(105×60) 既設のまま 石調面 :多彩模様アクリルシリコン塗 既設のまま		庇		屋根:カラーガルバリウム厚0.5(裏打ち材なし)折板葺き(H150ボルトタイプ) タイトフレーム、雪止めアングルL50(1段、溶融亜鉛めっき) 鼻隠し、ケラバ包みH250:カラーガルバリウム厚0.5加工、取付金具共 鉄骨部:DP塗(1級)、溶融亜鉛メッキ 柱脚廻り:C打放しH300 軒樋:カラー塩ビ製W120、折板吊金物共 壁樋:カラーVPΦ75、挿み金物共 既設雨水配管へ接続
根廻り	浸透性K重水防止材塗 C打放し 既設のまま				
樋	軒樋(内樋):ウレタン塗膜防水 耐酸防蝕被覆鋼板厚0.5 既設のまま 落ち葉防止ネット 既設のまま 化粧幕板:弱溶剤系無機質塗料塗 フッ素樹脂塗装鋼板厚0.6 既設のまま タテ管樋:溶剤系無機質塗料塗 SGP125 既設のまま				

内 部 仕 上 表													
室 名	区 分	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考	
		下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上				
1階	下処理室 ↓ 前室	改修前	C	合成樹脂塗(防滑) 床M直均し 既設のまま			C	磁器質100角タイル 既設のまま	LGS	VE塗 フレキシブルボード厚4 既設のまま	塩ビ製	2,350	(手洗器、化粧鏡、蓋受枠)既設のまま (スチール蓋)撤去
		改修後	(C)	排水ピット:C増し打ち ホーキ目 新設			LGS65 新設	化粧ケイカル板厚6、GB-R厚12.5 新設					
	通路	改修前	C	合成樹脂塗(防滑) 床M直均し 既設のまま 一部ビニル床タイル(※3)撤去				磁器質100角タイル 既設のまま	LGS	VE塗 フレキシブルボード厚4 既設のまま	塩ビ製	2,500	(配膳棚、蓋受枠)既設のまま (スチール蓋、ノンスリップ金物)撤去
		改修後	(C)	C直均し厚150 新設 排水ピット:C増し打ち 新設 撤去部:下地補修素地			LGS65 新設	化粧ケイカル板厚6、GB-S厚12.5 新設				2,350	
給食室 ↓ 配膳室	改修前	C	合成樹脂塗(防滑) 床M直均し 既設のまま				磁器質100角タイル 既設のまま	LGS	VE塗 フレキシブルボード厚4 既設のまま	塩ビ製	2,500	(配膳棚、レンジフード、蓋受枠)既設のまま (スチール蓋)撤去	
	改修後	(C)	C直均し厚150 新設 排水ピット:C増し打ち 新設			LGS65 新設	化粧ケイカル板厚6、GB-S厚12.5 新設				2,350		

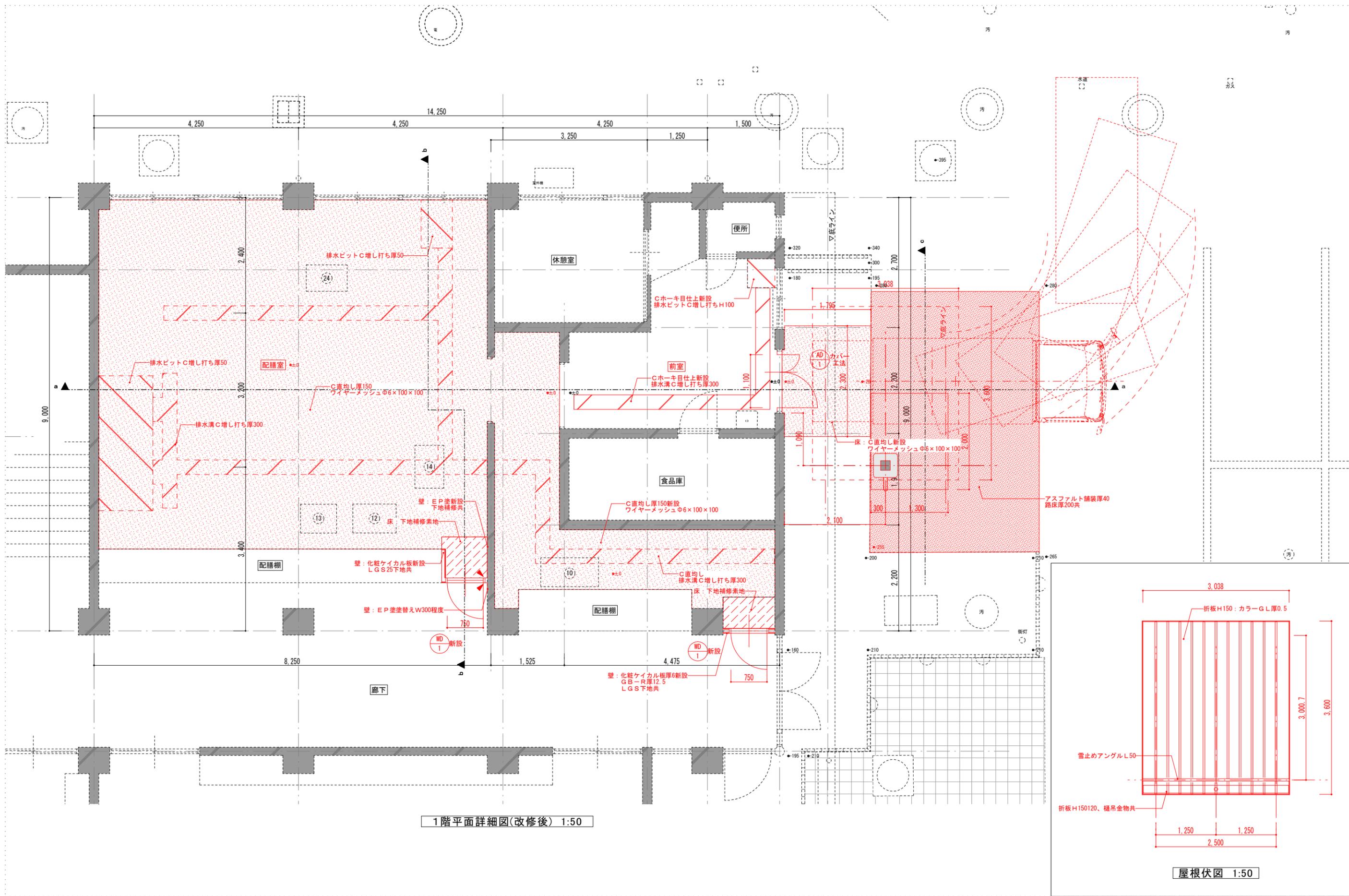


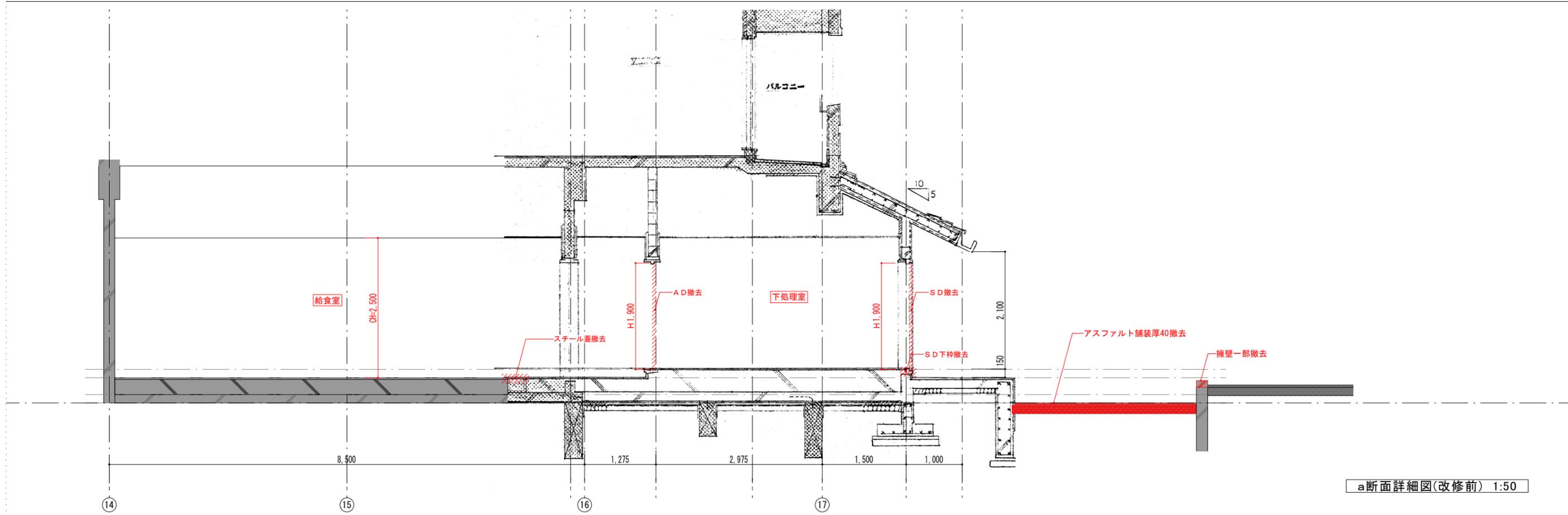
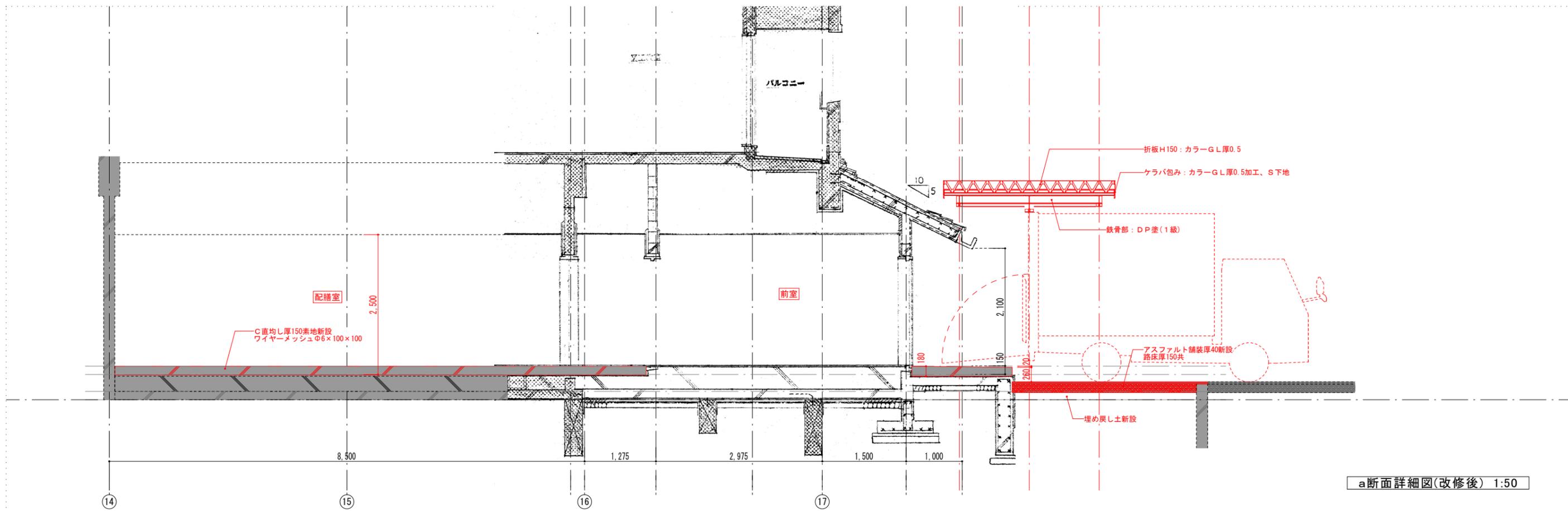


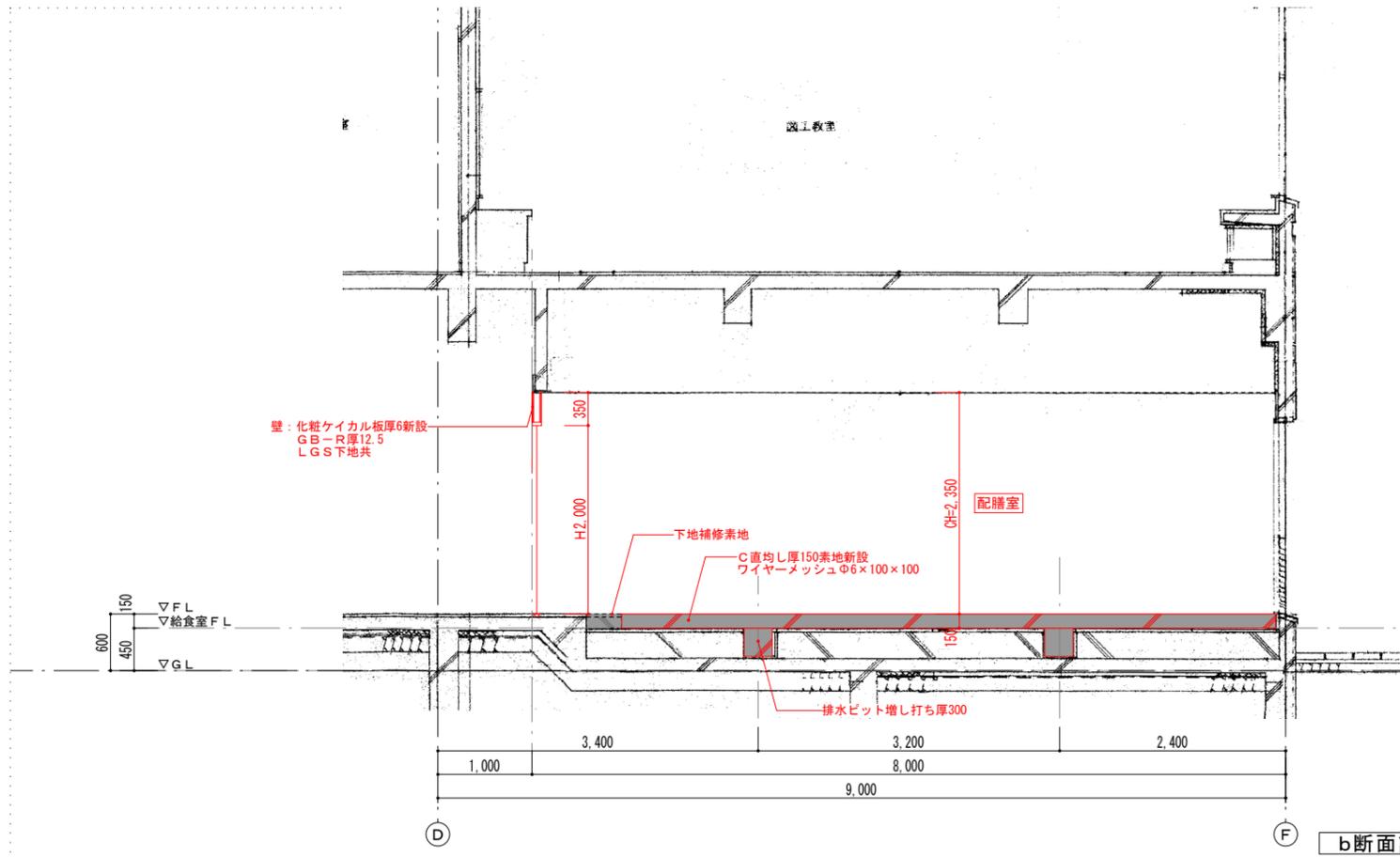
1階平面図(改修後) 1:200



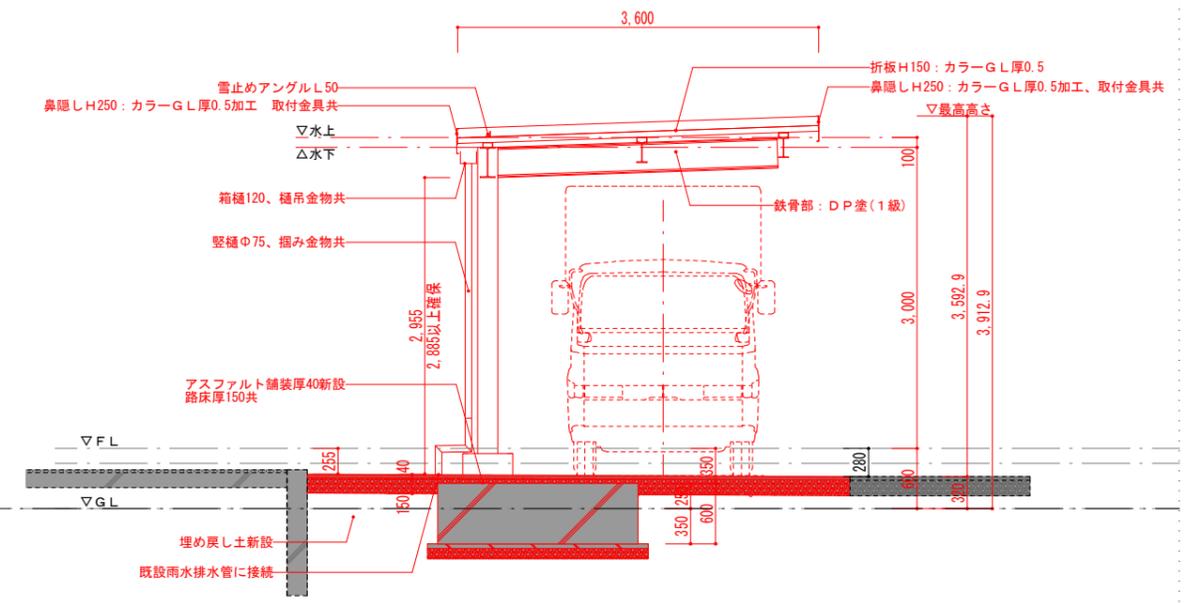
1階平面詳細図(改修前) 1:50



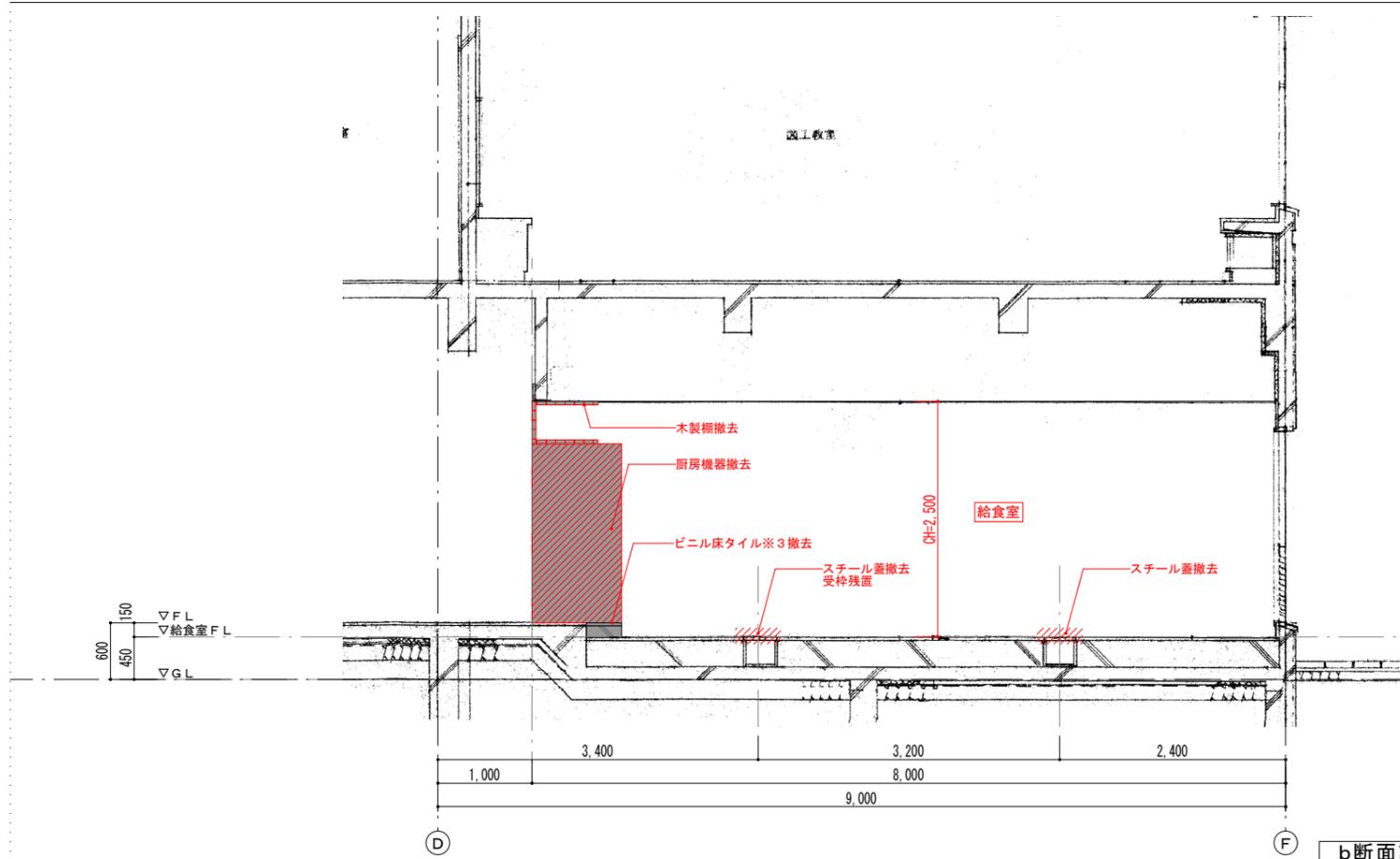




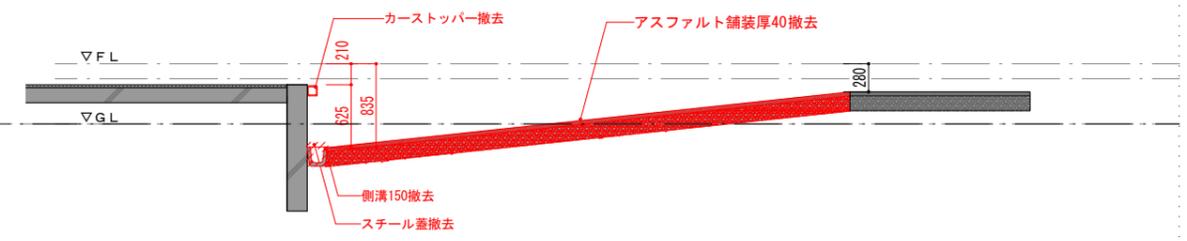
b断面詳細図(改修後) 1:50



c断面詳細図(改修後) 1:50



b断面詳細図(改修前) 1:50



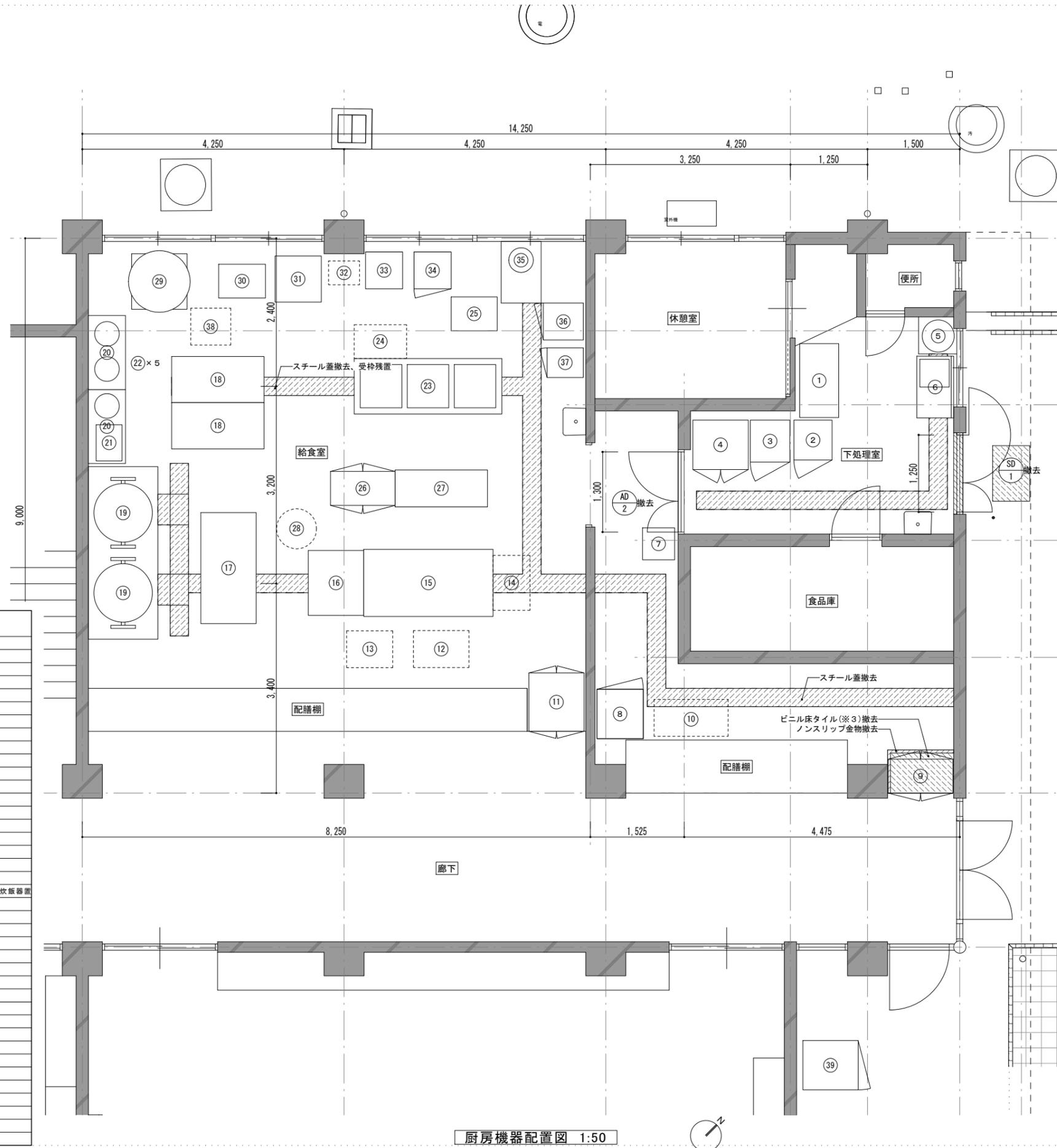
c断面詳細図(改修前) 1:50

記号	SD 1 撤去	改修前	AD 1 撤去	改修前
形式	片開き親子フラッシュ扉		片開き親子フラッシュ扉	
位置	下処理室		給食室	
数量	1		1	
図				
扉仕様	DP塗、鋼製 見込40		アルミ製	
枠仕様	DP塗、鋼製 見込100		アルミ製 見込70	
ガラス				
金物	丁番、ドアチェック、フランス落し、モノロック、SUS下枠 戸当り、下枠段付き		丁番、アングル、モノロック、ドアチェック、フランス落し モノロック	
備考	三枠残置、下枠撤去		枠残置	

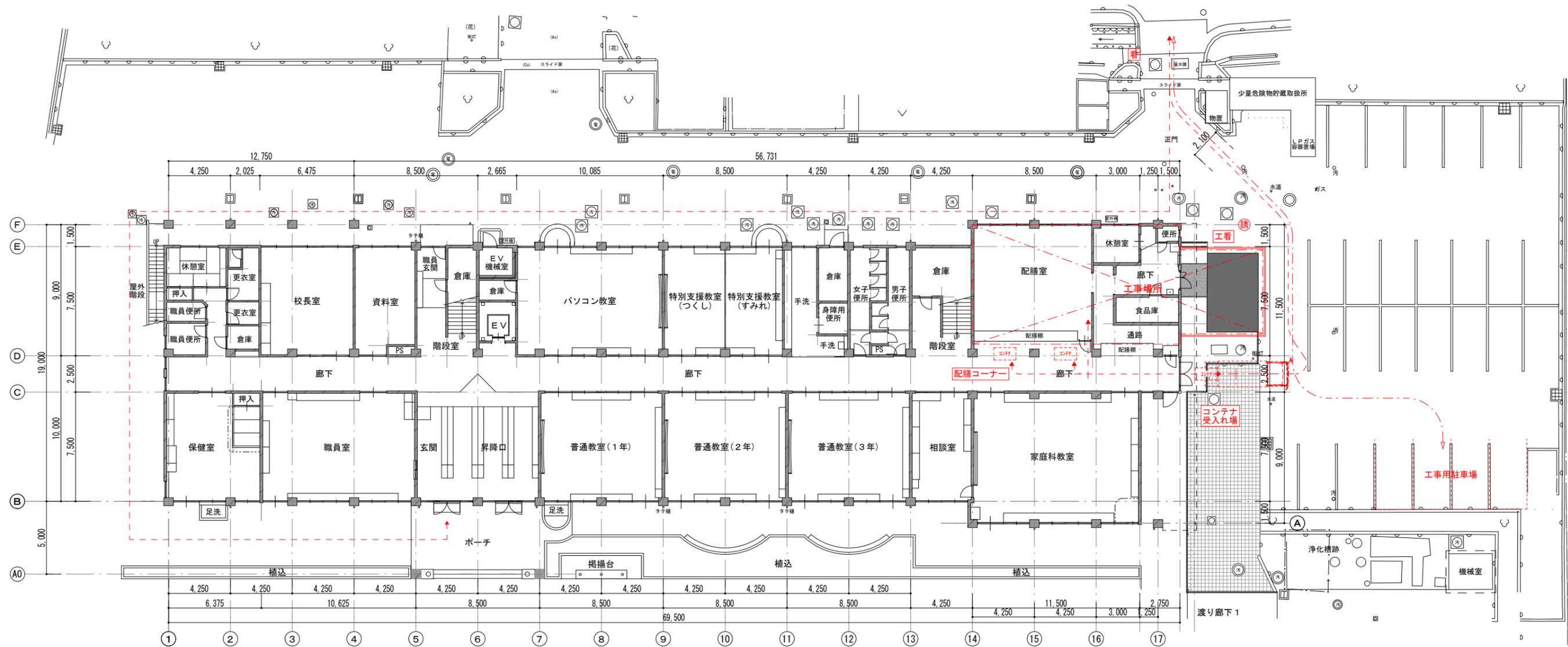
記号	AD 1 カバー工法	改修後	WD 1 新設	改修後
形式	片開き親子フラッシュ扉		片開きフラッシュ扉	
位置	前室		配膳室、全室	
数量	1		2	
図				
扉仕様	アルミ製		メラミン化粧合板(単色)	
枠仕様	アルミ製 見込100		SOP塗、枠厚30 見込100	
ガラス	強化ガラス厚5		強化ガラス厚5	
金物	標準金物一式、レバーハンドル錠 ドアチェック(ストップ付)、SUS番ズリ、戸当り		標準金物一式、レバーハンドル錠 ドアチェック(ストップ付)、SUS番ズリ、戸当り	
備考				

厨房機器リスト(備考の「要」は撤去しない)

番号	名称	規格・仕様	外形寸法 (mm)			数量	給排水 (A)			ガス (A)		電気			備考
			間口	奥行	高さ		給水	給湯	排水	口径	単相100V	単相200V	三相200V		
1	冷凍庫	ハイアール	1200	630	860	1									
2	冷凍庫	フクシマ: EXN-22FM	620	645	1920	1									
3	冷凍庫	ナショナル: NR-378F (S)	640	680	1710	1									
4	冷凍庫	ホシザキ: HRF-90A	900	800	1920	1									
5	球根皮剥機	日本調理機: PL-22-N	520	540	670	1									
6	一槽シンク		1,000	600	950	1	20	20	50						
7	洗濯機	東芝: ツインエアドライ	520	520	850	1									
8	冷蔵庫	ホシザキ: HR-75S	750	800	1890	1									
9	食器消毒保管庫	日本調理機: ISC-W20A-E	1050	550	1880	1									
10	移動台		1200	600	810	1									要
11	熱風消毒食器保管機	中西製作所: W-20	900	950	1900	1									要
12	移動台		900	600	670	1									要
13	移動台		750	600	600	1									要
14	移動台		890	600	650	1									要
15	食器洗浄機	日本調理機: DWN-B6	2100	1090	1180	1	20×2	20×2	50						
16	一槽シンク		1050	900	900	1									
17	作業台		1800	900	800	1									
18	作業台		1500	750	800	2									
19	回転釜	日本調理機: DGK-30N	1100	850	1100	2				20					
20	作業台		1200	600	610	2									ガステーブル、炊飯器置
21	ガステーブル	リンナイ: ハオ400-F	590	420	180	1									
22	ガス炊飯器	リンナイ: YS	400	400	350	5				ゴムホース					
23	三槽シンク		2400	900	870	1	20×2	20×2							
24	移動台		850	550	750	1									要
25	作業台		750	500	660	1									
26	食器消毒保管庫	日本調理機: ISC-S10N-E	1050	550	1910	1									
27	ラック		1500	600	1870	1									
28	移動式丸台		650	650	610	1									
29	貯湯式温水ポイラ	ミウラ: UX-13G	1100	1100	2000	1	20	20	25						
30	オープン		760	550	1250	1				20					
31	フライヤー	東京板金工業: FGSHT-75-1	750	750	780	1				20					
32	移動台		500	390	450	1									
33	ガステーブル	コメットカトウ: XY-660L2	600	600	650	1				20					
34	保管庫	フジマック: FGUS125	600	600	1260	1				20					
35	皮剥き機		400	400	680	1									
36	保管庫		600	650	1350	1									
37	冷蔵冷凍庫	シャープ: SJ-14VR-KB	480	590	1140	1									
38	野菜調理機	大道産業: OMV-300	650	400	1300	1									
39	牛乳保管庫	フジマック: FRM12B	800	900	1950	1									要



厨房機器配置図 1:50



凡例

	動線：工事関係進入経路
	動線：施設利用者
	バリケードH1800程度
	カラーコーン、コーンバー
	誘導員(臨時)
	工事中協力用看板
	工事中看板

特記事項  
 ・仮設図に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。  
 ・材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。  
 ・生徒が混雑する時間帯に車両の出入りがある場合は、交通誘導員を配置すること。



仮設計画図(案) 1:200



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (単位 mm)

1-1 基礎  
独立基礎、長期許容地耐力 100kN/m<sup>2</sup>

1-2 コンクリート  
躯体 Fc21

1-3 鉄筋  
D19 以上 SD345  
D16 以下 SD295A

1-4 その他

2-1 鉄筋の表示記号

記号	○	●	◎	⊙	⊗	⊚	⊛	⊜	⊝	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38
最大径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43

・フックのない場合  
・フックのある場合  
・本数に差がある場合  
・圧縮継手表示  
・機械継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

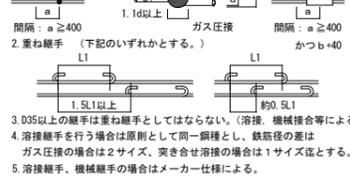
曲げ角度	鉄筋の種類	折り曲げ内法直径 (D)
180°	余長 4d 以上 SD295A	D16 以下 3d 以上
135°	余長 6d 以上 SD345	D19 以上 4d 以上
90°	余長 8d 以上 (10d) SD390	5d 以上

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計強度 (N/mm <sup>2</sup> )	重ね継手の長さ (L1)		定着の長さ (L3)	
		一般	小梁片持スラブ	スラブ	スラブ
SD295A	18	45d または 35d <sup>1</sup> の方	40d または 35d <sup>1</sup> の方	40d	40d
	21, 24 (27)	40d または 30d <sup>1</sup> の方	35d または 25d <sup>1</sup> の方	35d	35d
SD345	27, 30 (33, 36)	35d または 25d <sup>1</sup> の方	30d または 25d <sup>1</sup> の方	25d	25d
	21, 24 (27)	45d または 35d <sup>1</sup> の方	40d または 30d <sup>1</sup> の方	40d	40d
SD390	27, 30 (33, 36)	40d または 30d <sup>1</sup> の方	35d または 25d <sup>1</sup> の方	30d	30d
	21, 24 (27)	45d または 35d <sup>1</sup> の方	40d または 30d <sup>1</sup> の方	40d	40d

1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さには含まない。  
2. 直径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。  
3. 耐圧スラブの下端筋の定着長さは一般定着 (L2)、上端筋は 25d とする。  
4. ( ) 内は軽量コンクリートの場合を示す。  
5. 軽微な箇所については、係員の承認を得て定着長さを 20d 程度とすることができる。

2-4 継手一般



2-5 鉄筋のフック

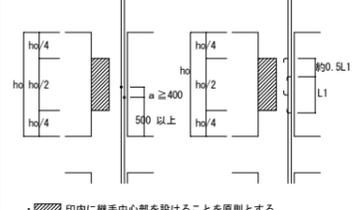


2-6 鉄筋のあき

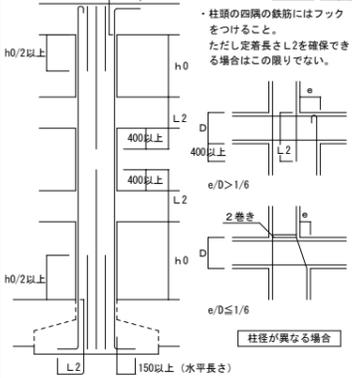
部位	かぶり厚さ (mm)	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30 (30)
	床スラブ	30 (20)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁	50 (40)*
	基礎・擁壁	70 (60)*

2-7 かぶり厚さ

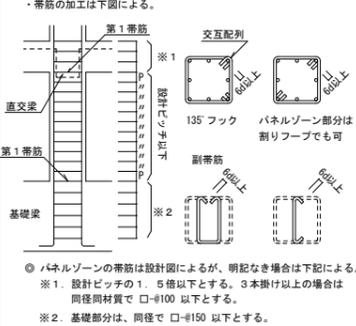
3-1 主筋の継手



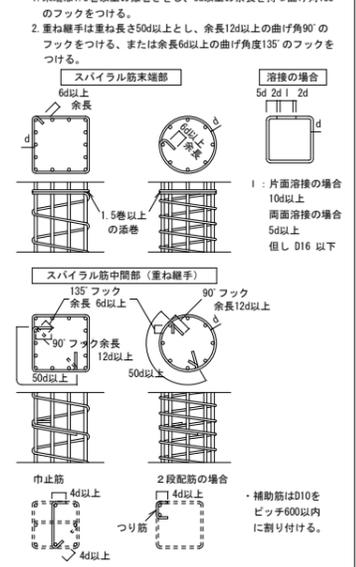
3-2 主筋の定着



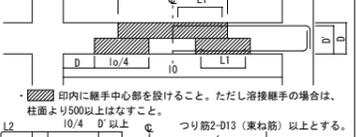
3-3 帯筋副帯筋



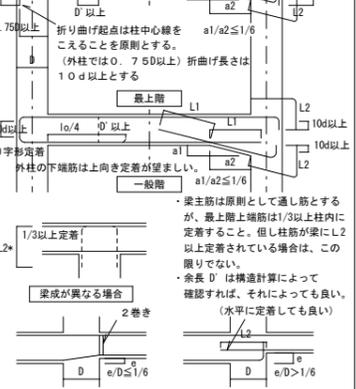
3-4 補助筋



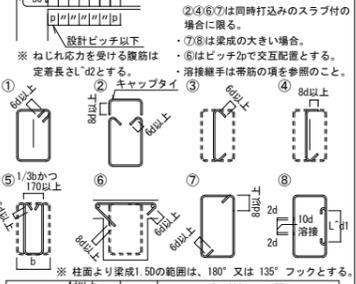
4-1 主筋の継手



4-2 主筋の定着



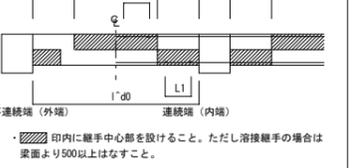
4-3 あばら筋副あばら筋



4-4 補助筋

筋径	間隔	位置
φ10	1000mm 以内	全長
φ12	1000mm 以内	全長
φ16	1000mm 以内	全長
φ20	1000mm 以内	全長

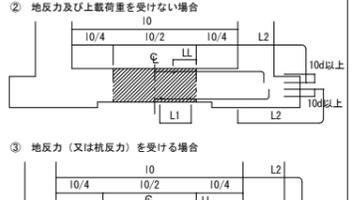
4-5 小梁及び片持梁



4-6 基礎梁及び基礎小梁



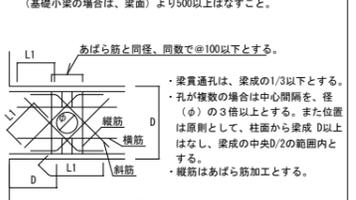
4-7 梁の貫通補強



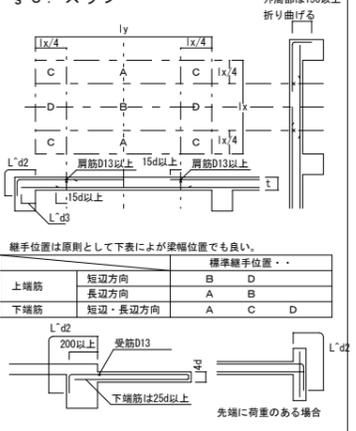
5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着



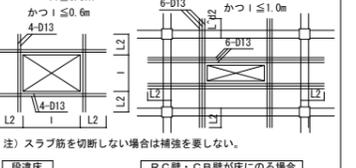
5-2 継手



5-3 片持スラブ



5-4 補強筋



6-1 定着及び継手



6-2 標準壁リスト

符号	壁厚	縦筋・横筋	開口部補強筋
W10	100	D10 @ 200 (シングル)	1-D13
W12	120	D10 @ 200 (シングル)	1-D13
W15	150	D10 @ 150 (シングル)	2-D13
W18	180	D10 @ 200 (ダブル)	4-D13
W20	200	D10 @ 200 (ダブル)	4-D13

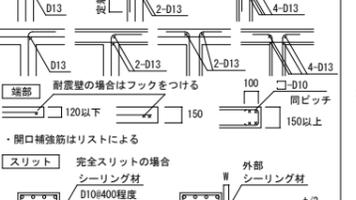
6-3 補強筋



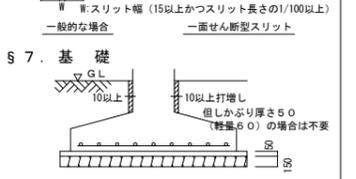
7-1 独立基礎



7-2 杭基礎



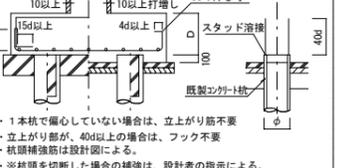
7-3 ベタ基礎継手及び定着



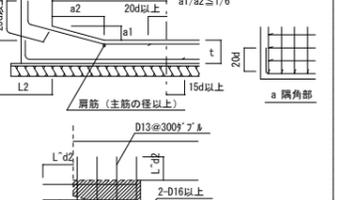
7-4 基礎と基礎梁



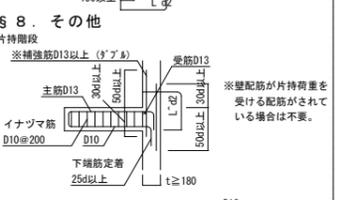
8-1 階段



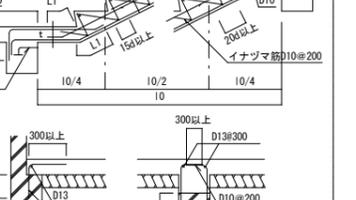
8-2 土間コンクリート



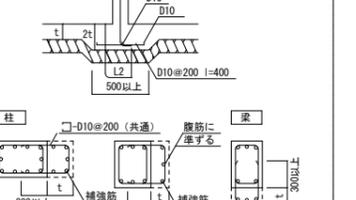
8-3 打増し補強



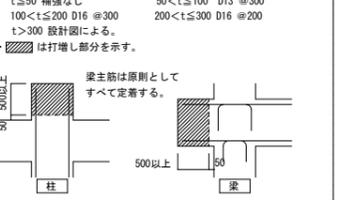
8-4 増築予定



8-5 その他



8-6 その他



8-7 その他



8-8 その他



# 鉄骨構造工作標準図

## § 1. 一般事項

1-1 使用材料

・使用材料はすべて規格品とする。

H形鋼 SS400 角形鋼管 STKR400 軽量形鋼 SSC400 柱ダイヤフラム SS400

高力ボルト FBT

丸鋼ブレース JIS規格品

1-2 その他

・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。

・本標準図における単位はすべてmmとする。

・精度に関しては、JAS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。

## § 2. 共通事項

2-1 略号

2-2 その他

・ AB	アンカーボルト	・ BH	組立てH形鋼
・ BR	ベースプレート	・ CHR	チェッカープレート
・ CR	カバープレート	・ FB	フラットバー
・ FR	フラジプレート	・ GR	ガセットプレート
・ HTB	高力ボルト	・ SR	スプラインプレート
・ TB	ターンバックル	・ WR	ウェブプレート
・ W'd1'd-φ	溶接記号 ( § 4参照 )		

## § 3. ボルト接合

3-1 HTB

3-2 HTBのピッチ

3-3 形鋼のゲージ

呼び径	M16	M20	M22	M24
孔径	18.0	22.0	24.0	26.0
標準ピッチ	60	60	60	70
最小ピッチ	40	50	55	60
はしあき	e'd1 40(40)	40(50)	40(55)	45(60)
へりあき	e'd 25	30	35	40

・HTBはすべてS10T(トルシア形高力ボルト)を使用し、スベリ係数は0.45とする。

・ボルト接合面の処理

・締め付け面は母材に於いては平グラインダー掛け、スプラインプレートに於いてはショット掛けを行い、黒皮を除去し一様に赤さびを生じさせる。

呼び径	M16	M20	M22	M24
標準ピッチ	60	60	60	70
最小ピッチ	40	50	55	60
はしあき	e'd1 40(40)	40(50)	40(55)	45(60)
へりあき	e'd 25	30	35	40

・ ( ) 内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合をしめす。

4-1 隅肉溶接

4-2 突合せ溶接

4-3 開先形状

5-1 継手リスト

5-2 仕口リスト

A or B	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
*50	30	16	16	*100	60	16	16	*50	30	16
60	35	16	125	75	16	65	35	20		
65	35	20	150	90	22	70	40	20		
70	40	20	175	105	22	75	40	22		
75	40	22	200	120	24	80	45	22		
80	45	22	250	150	24	90	50	24		
90	50	24	*300	150	40	24	100	55	24	
100	55	24	350	140	70	24				
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

・ B=300は平角打ちとする。

・ \*印の欄のgおよび最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

## § 4. 溶接接合

6-1 柱通し

6-2 梁通し

6-3 雑仕様

6-4 現場溶接継手

7-1 柱脚ピン

8-1 丸鋼

8-2 山形鋼

9-1 丸鋼

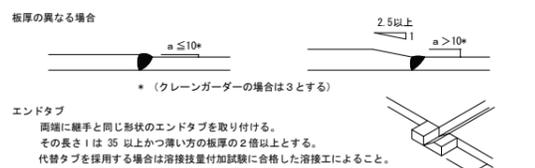
9-2 山形鋼

10-1 貫通補強

10-2 デッキプレート

10-3 スタッドバルブ

10-4 壁筋の溶接



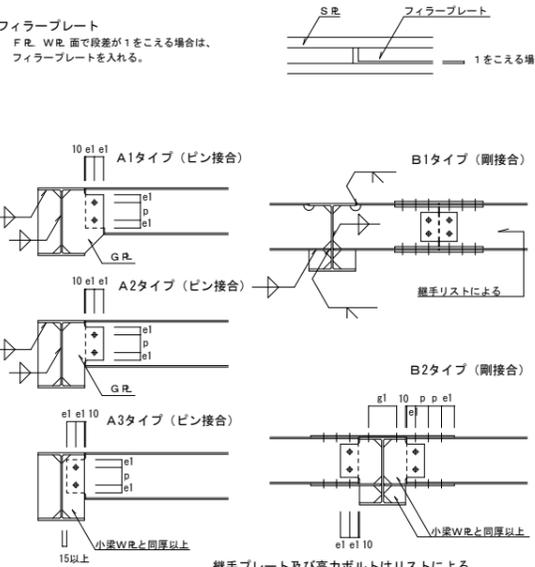
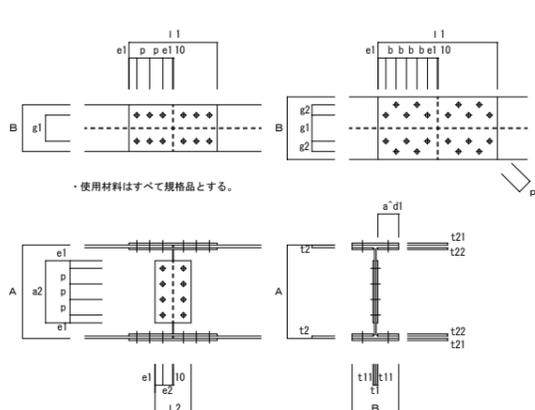
4-2 突合せ溶接

4-3 開先形状

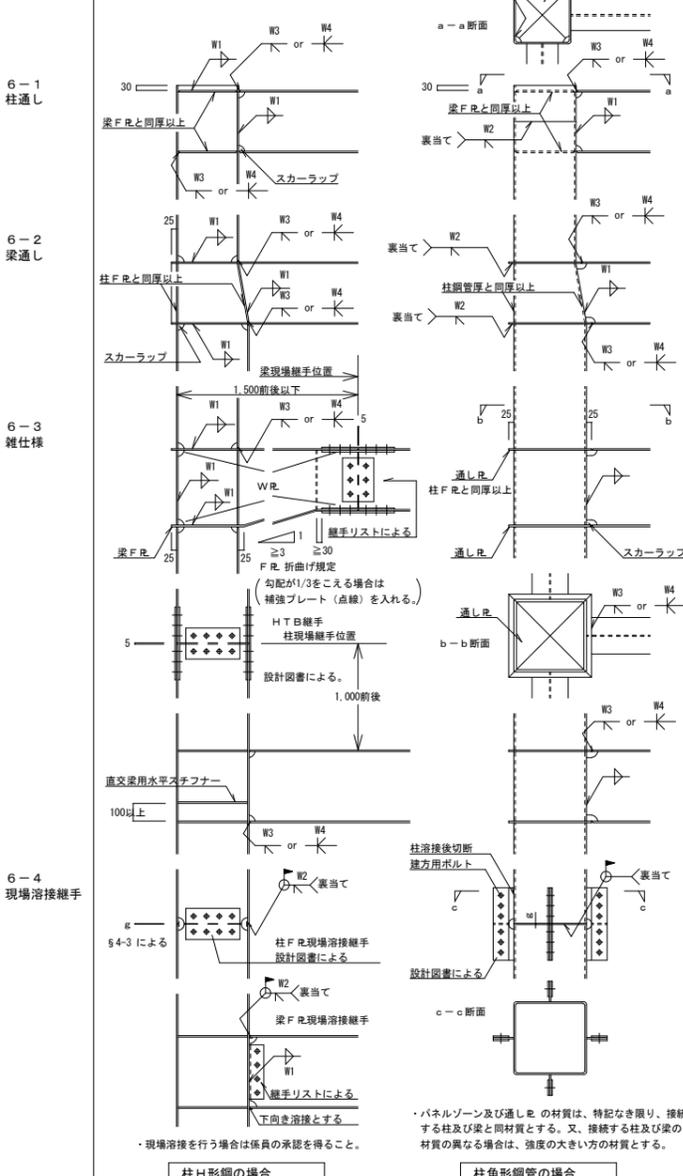
記号	形状	適用板厚	寸法
W2 (MC-BL-B1)		6 < t ≤ 12	g 7±2 r 2±1.2 α1 45°-5°
		12 < t ≤ 32	g 9±2 r 2±1.2 α1 35°-5°
W3 (MC-BL-2)		6 < t ≤ 19	g 0±0.4 r 2±2 α1 45°-5°
		19 < t ≤ 32	g 0±0.4 r 2±2 α1 45°-5°
W4 (MC-BK-2)		19 < t ≤ 32	g 0±0.4 r 2±2 α1 45°-5°
		t ≤ 6	g T-2
W5 (MC-B1-B1)		t ≤ 6	g T-2

・ 上図は手溶接の隅肉又は完全溶込みグループ溶接の場合を示す。但し、半自動溶接および自動溶接にて施工する場合は別途指示とする。

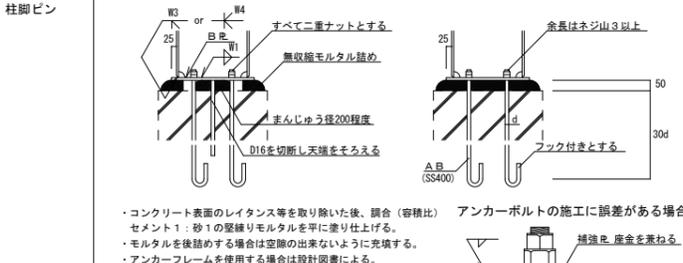
## § 5. 継手



## § 6. 柱梁接合部および継手



## § 7. 柱脚



## § 8. 床面ブレース

・ 壁面ブレースにならう (JIS 規格品)

部材	H T B
L-50 x 50 x 6	2
L-65 x 65 x 6	3

・ ブレースの材質はすべてSS400とする。

## § 9. 壁面ブレース

9-1 丸鋼

9-2 山形鋼

10-1 貫通補強

10-2 デッキプレート

10-3 スタッドバルブ

10-4 壁筋の溶接

タイプ	部材	羽子板	G.R.	溶接	
Aタイプ	BAR	t x B x L	HTB	φ12	
	A	M12	FB-4.5 x 40 x 135	1-M12	6
Bタイプ	A	M16	FB-6 x 52 x 170	1-M16	9
	A	M20	FB-9 x 67 x 205	1-M20	9
A	M22	FB-9 x 77 x 230	1-M22	9	
	B	M24	FB-9 x 77 x 270	2-M20	12

P=5.0

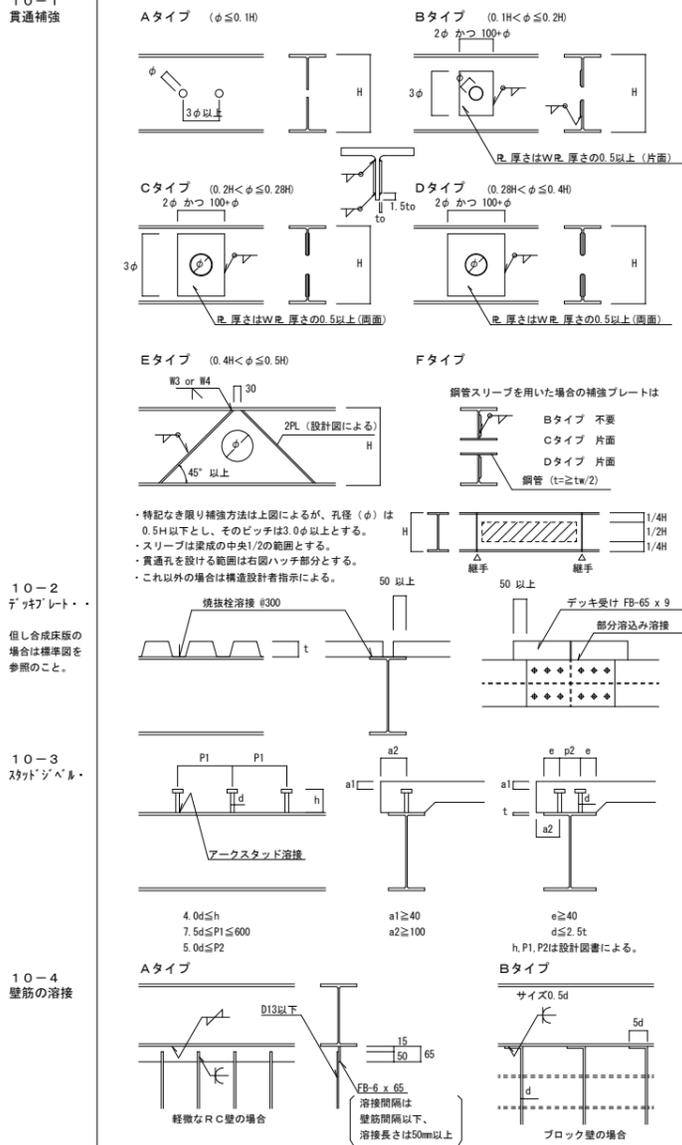
(注) 9-2の点線は第1ボルトから軸線より30°の範囲を示す。

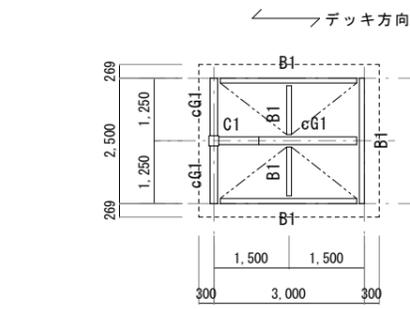
部材	G.R.	HTB	溶接	部材	G.R.	HTB	溶接
L-65 x 65 x 6	6	16	4	ZL-65 x 65 x 6	9	16	4
L-75 x 75 x 6	6	16	4	ZL-75 x 75 x 6	9	16	4
L-75 x 75 x 9	6	16	5	ZL-75 x 75 x 9	9	16	5
L-90 x 90 x 7	9	20	4	ZL-90 x 90 x 7	12	20	4
L-90 x 90 x 10	9	20	4	ZL-90 x 90 x 10	12	20	5
L-100 x 100 x 10	9	20	5	ZL-100 x 100 x 10	12	20	5

(注) ・サイズS: G.R.=6の場合 S=6, G.R.=9以上の場合 S=7

・ブレースの材質はすべてSS400とする。

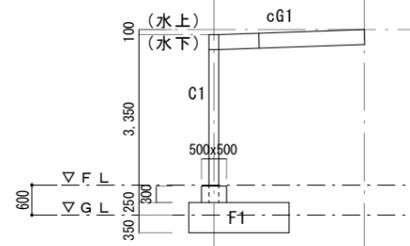
## § 10. その他



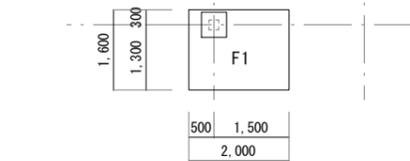


屋根伏図 1:100

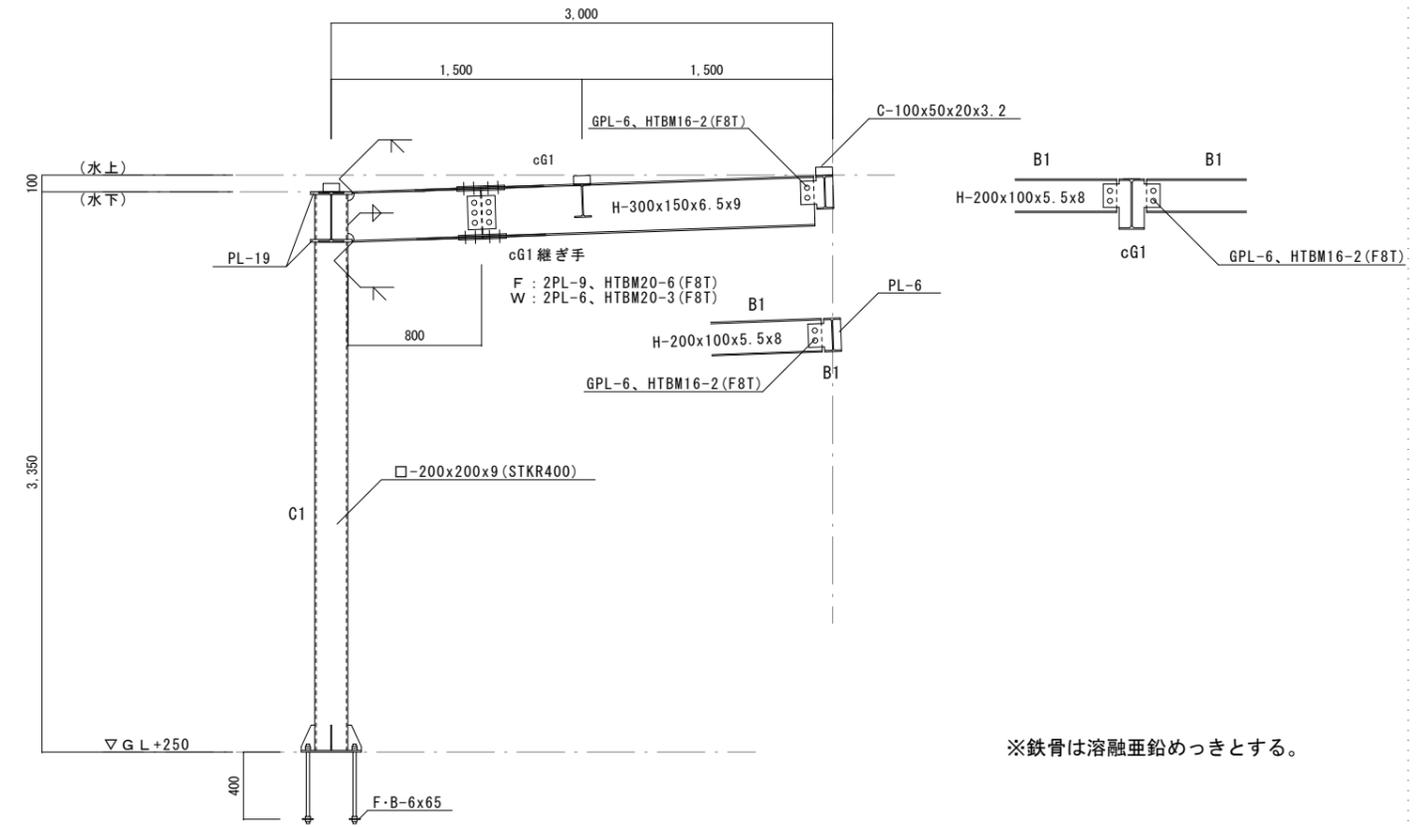
水平ブレース 1-M12(ターンバクル付き)  
GPL-6、F-B-6x65、HTBM16-1



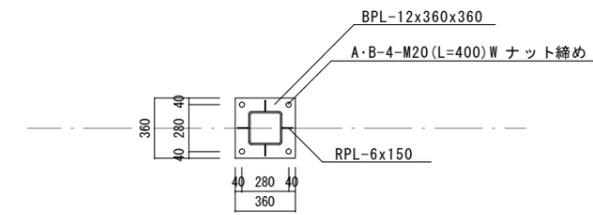
軸組図 1:100



基礎伏図 1:100

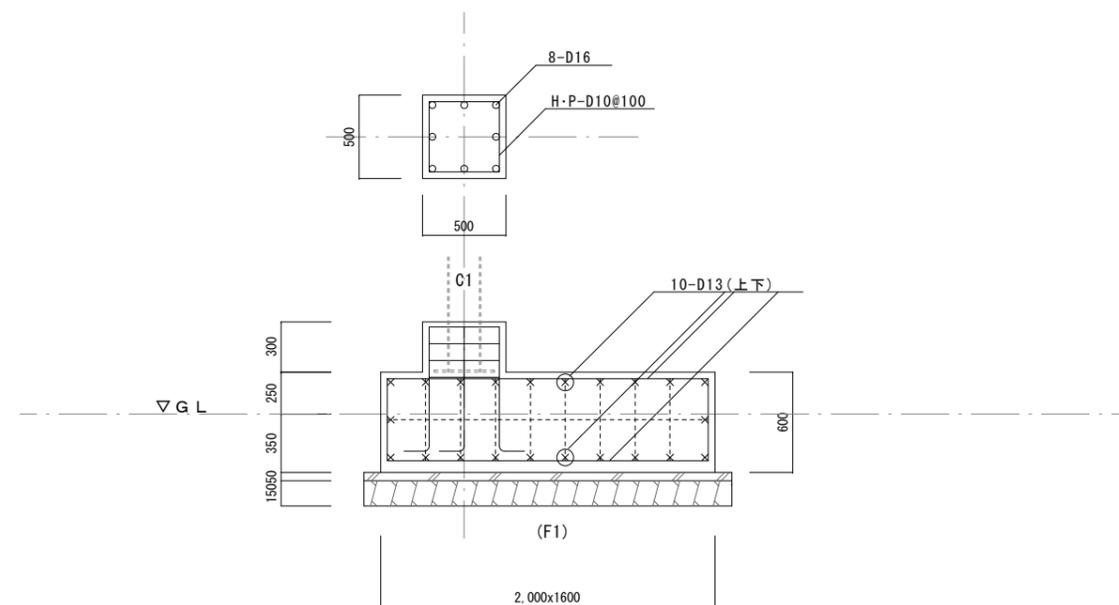


※鉄骨は溶融亜鉛めっきとする。



鉄骨詳細図 1:30

\* 梁部材は (SS400)

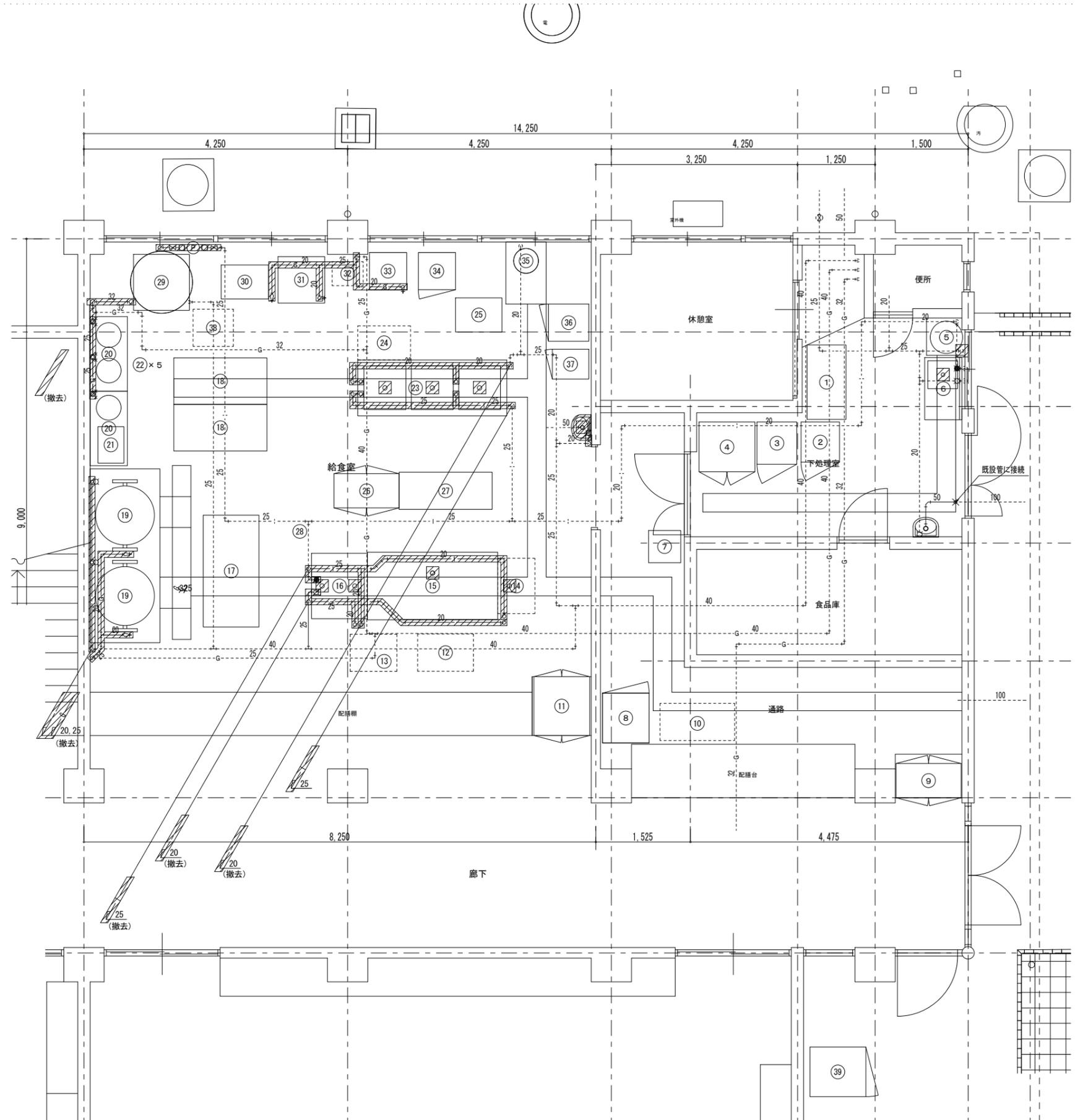


基礎配筋図 1:30



改修内容

- ・給水、給湯、ガス、排水配管の立上り土間ツラまで切断後ﾌﾗｸﾞ止めとする
- ・ボイラーの排気ダクトは、撤去後、SUSプレートで穴をふさぐ
- ・天井内配管は撤去なしとし、立下り配管は、天井面にて、ﾌﾗｸﾞ止めとする

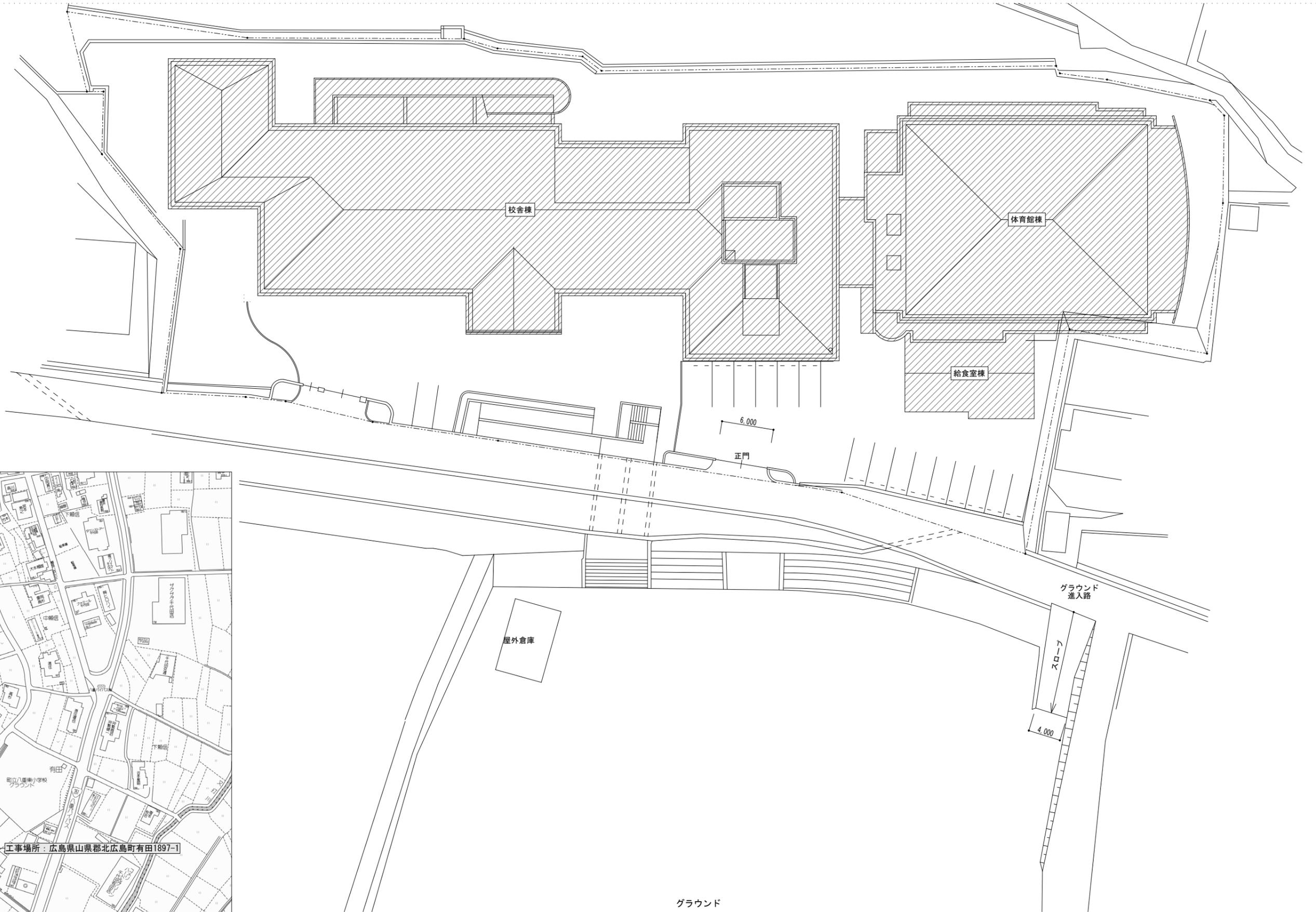


機械設備 平面図(撤去) 1:50

計 画 概 要		凡 例		防火性能認定番号		特記事項	
<b>建物概要</b> 敷地の場所 広島県山県郡北広島町有田1897-1 敷地面積 5,285.57㎡  施設名称 八重東小学校 給食棟 構造 R C造 平屋建て 高さ 5.430m 建築面積 92.47㎡ 延床面積 89.24㎡ 建設年度 1987年(昭和62年)建設	一 般	C : コンクリート	左 官	外薄塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	GB-R 厚9.5 : 準不燃 QM-9828	1. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 内部仕上表の地下欄( )は既設部分を示す。 3. 材料加工に先立ち寸法を実測し、実状に合った寸法に加工する。 4. 排水ピットのC増し打ちは、無筋とする。 5. 6. 7. 8. 9. 10.	
		M : モルタル		外厚塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材	GB-R 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8619		
EM : エポキシ樹脂系モルタル	塗 装	内薄E : 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	GB-F 厚9.5~25.0 : 不燃 NM-8615				
CB : コンクリートブロック		複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	GB-RH 厚9.5 : 不燃 NM-8645				
S : 鉄骨	ポ ー ド 類	複層塗材RE : 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	GB-NC 厚9.5 : 不燃 NM-8613				
LGS : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼、鋼製床組)		SOP : 合成樹脂調合ペイント塗	GB-S 厚9.5~16.0 : 準不燃 QM-9826				
W : 木組下地	シ ー リ ン グ	SGP : 配管用炭素鋼鋼管	OP : 油性調合ペイント塗	GB-D 厚9.5 : 準不燃 QM-9824			
VP : 硬質塩化ビニル管(一般管)		VE : 塩化ビニル樹脂エナメル塗	DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599				
VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管)		VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管)	CL : クリヤラッカー	GB-D 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8614			
VB : パイプレーション仕上(ステンレス)		VB : パイプレーション仕上(ステンレス)	FE : フタル酸樹脂エナメル塗	GW-F : 不燃 NM-8600			
GL : カラーガルバリウム鋼板		GL : カラーガルバリウム鋼板	NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗	GW-B : 不燃 NM-8600			
			AE : アクリル樹脂エナメル	ケイカル板 厚5~12.0 : 不燃 NM-8576			
			DP : 耐候性塗料塗				
			EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗				
			EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗				
			EP-T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗				
			UC : ウレタン樹脂ワニス塗				
			MR : マスチック塗料塗				
			OS : オイルステイン塗				
			WP : 木材保護塗料塗				
			SR-1 : シリコン系				
			SR-2 : シリコン系				
			MS-2 : 変成シリコン系				
			PU-2 : ポリウレタン系				
			PS-2 : ポリサルファイド系				

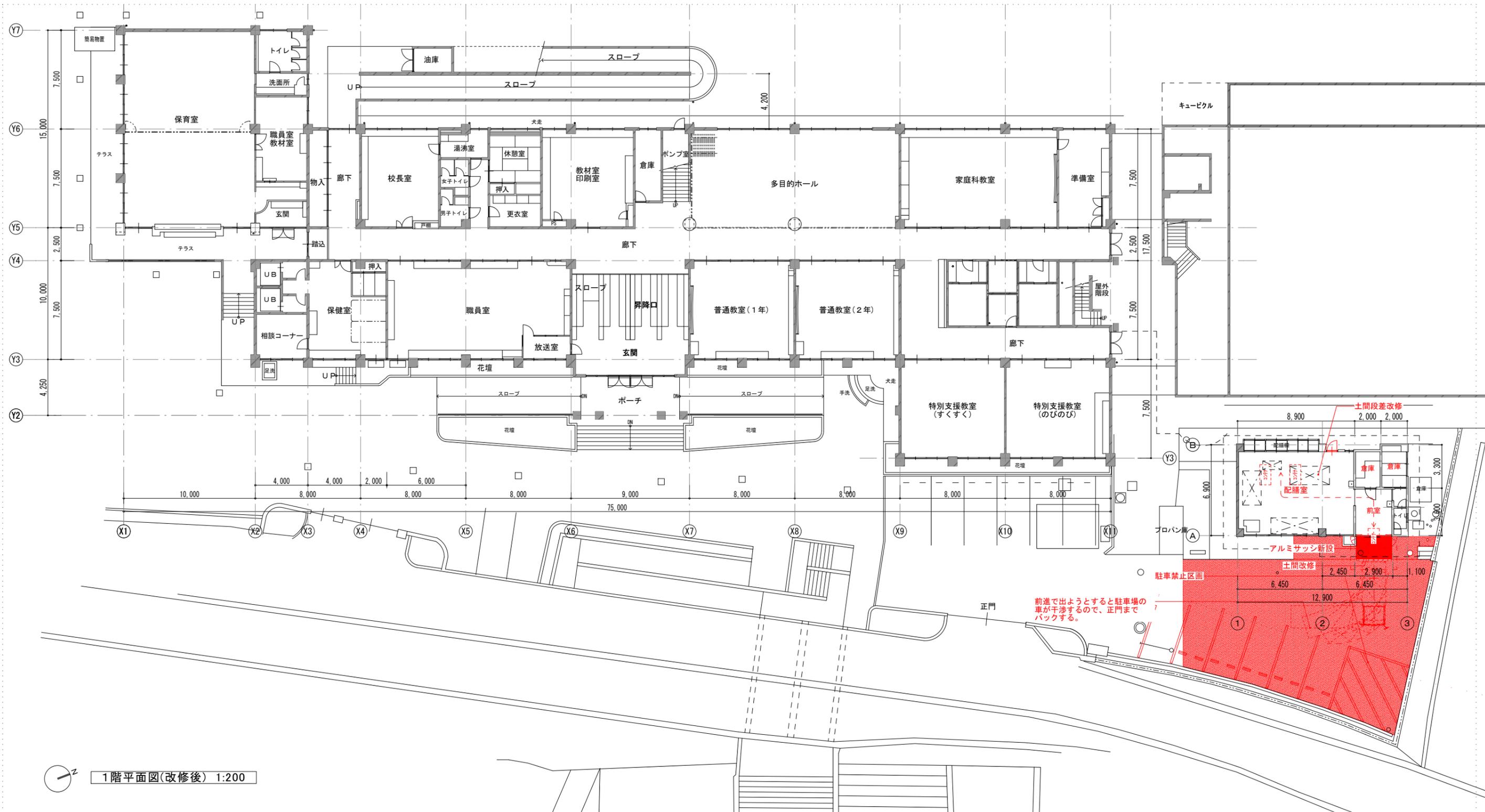
外 部 仕 上 表					
名 称	改 修 前		改 修 後		備 考
屋根	コロナアル葺き アスファルトルーフィング下葺き スカイライトM厚40	既設のまま	庇 : アルミ庇 新設		
外壁	外薄塗材E C下地	既設のまま			
根廻り	M直均し C下地	既設のまま			
樋	軒樋 : VE塗 塩ビ製150 タテ樋 : VE塗 塩ビ製100	既設のまま			
外構	土間 : M直均し厚30 一部撤去 洗場 : M直均し C下地 既設のまま カーस्टッパー100×100 アンカーボルトφ13@450	撤去	土間 : M直均し厚30 一部新設 カーस्टッパー撤去跡 : M金こて仕上 新設 カーस्टッパー100×100 新設		

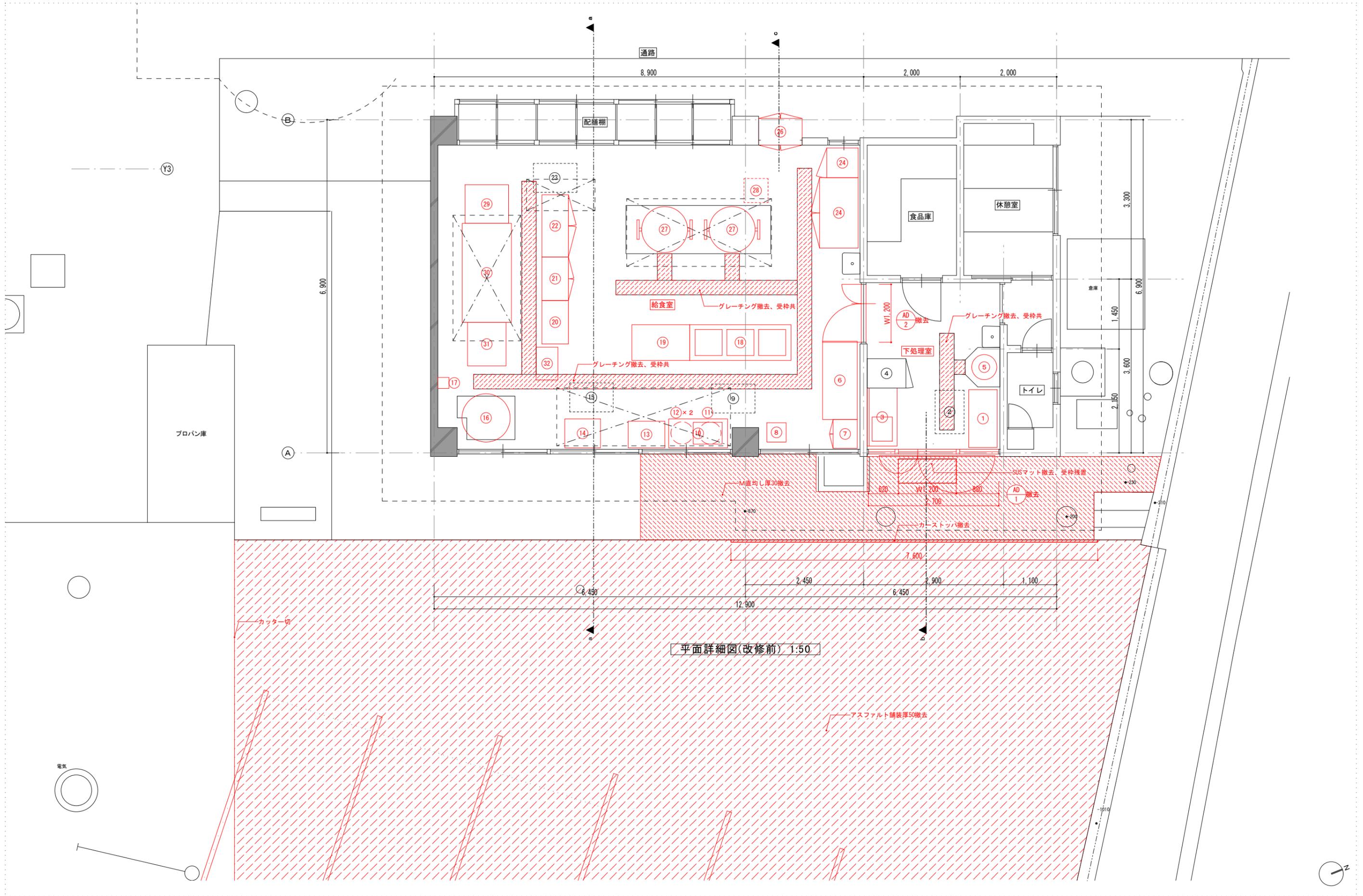
内 部 仕 上 表 ( 改 修 前 ・ 後 )																		
室 名	区 分	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考						
		下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上									
1 階	下処理室	改修前	C	エポキシ樹脂塗 床M直均し	既設のまま	C	M直均し	既設のまま	C	VE塗 M金こて	既設のまま	LGS	VE塗 石綿セメント板厚4	既設のまま	塩ビ製	2,400	(手洗器、化粧鏡、蓋受枠)既設のまま (グレーチング蓋)撤去	
	↓ 前室	改修後	(C)	排水ピット : C増し打ち直均し	新設													
	給食室	改修前	C	エポキシ樹脂塗 床M直均し	既設のまま	C	M直均し	既設のまま	C	VE塗 M金こて	既設のまま	LGS	VE塗 石綿セメント板厚4	既設のまま	塩ビ製	3,000	(手洗器、化粧鏡、蓋受枠)既設のまま (グレーチング蓋)撤去	
	↓ 配膳室	改修後	(C)	排水ピット : C増し打ち直均し	新設													
		改修前																
		改修後																
		改修前																
		改修後																



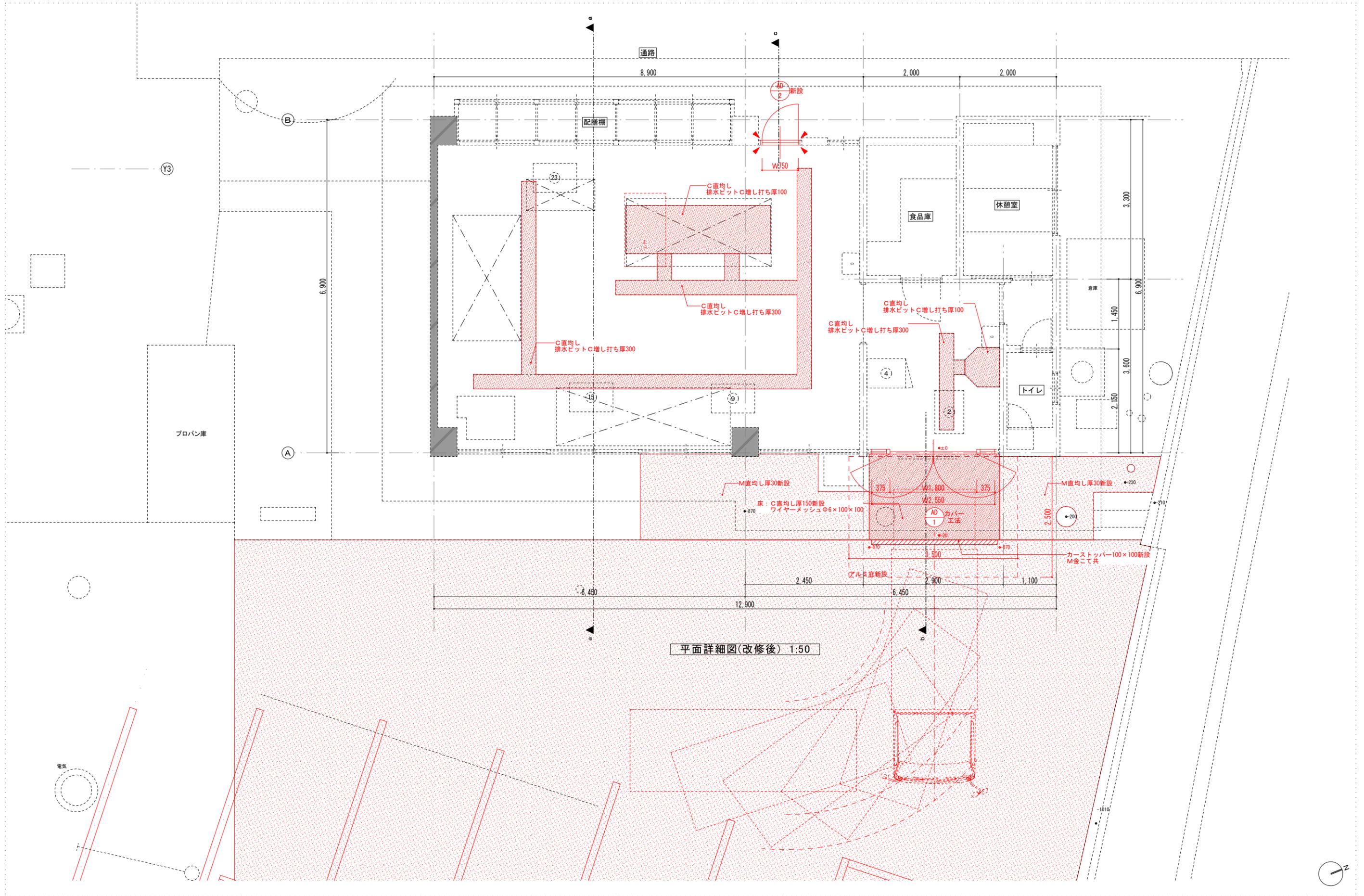
配置図 1:300



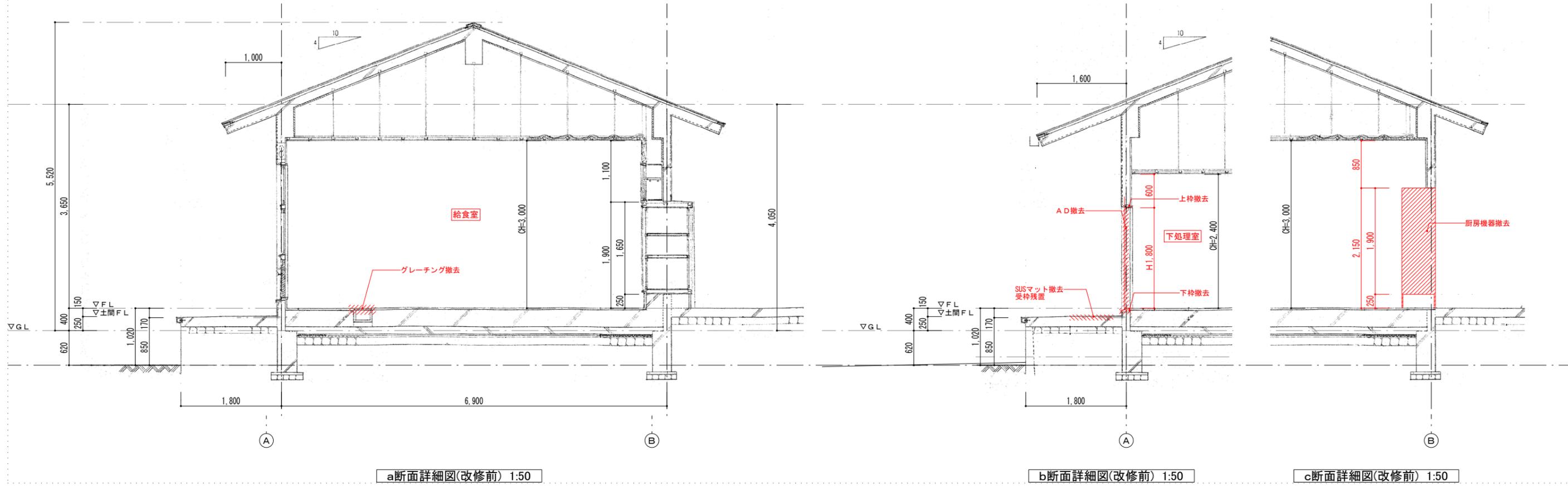
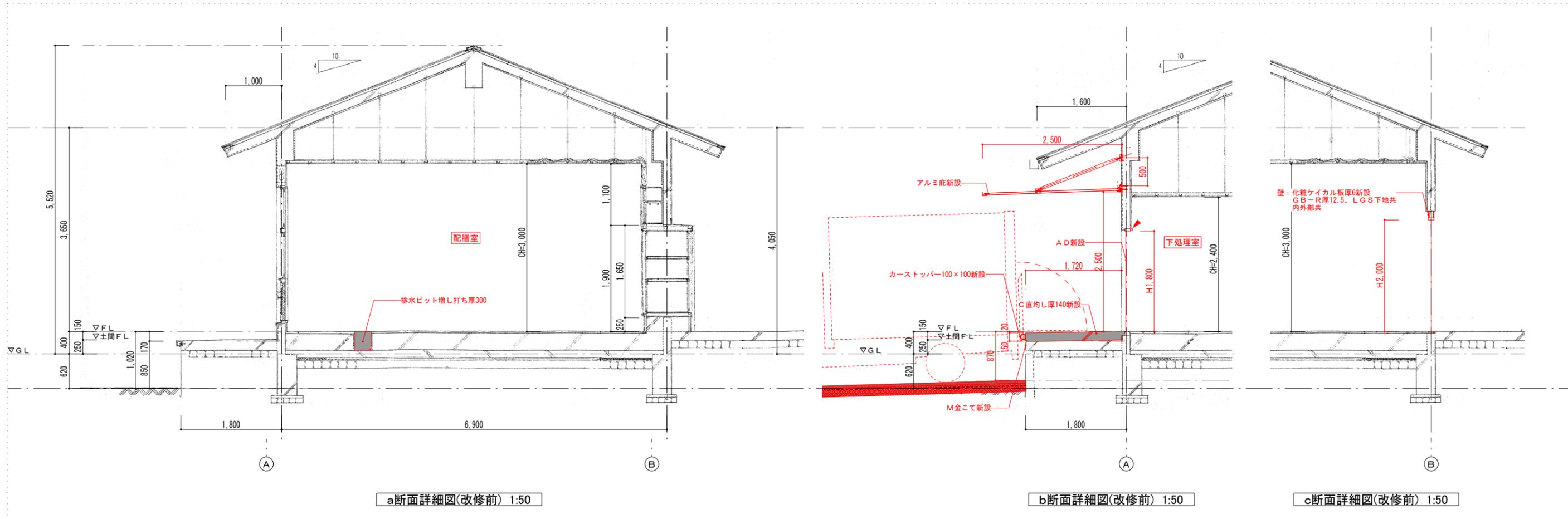




平面詳細図(改修前) 1:50

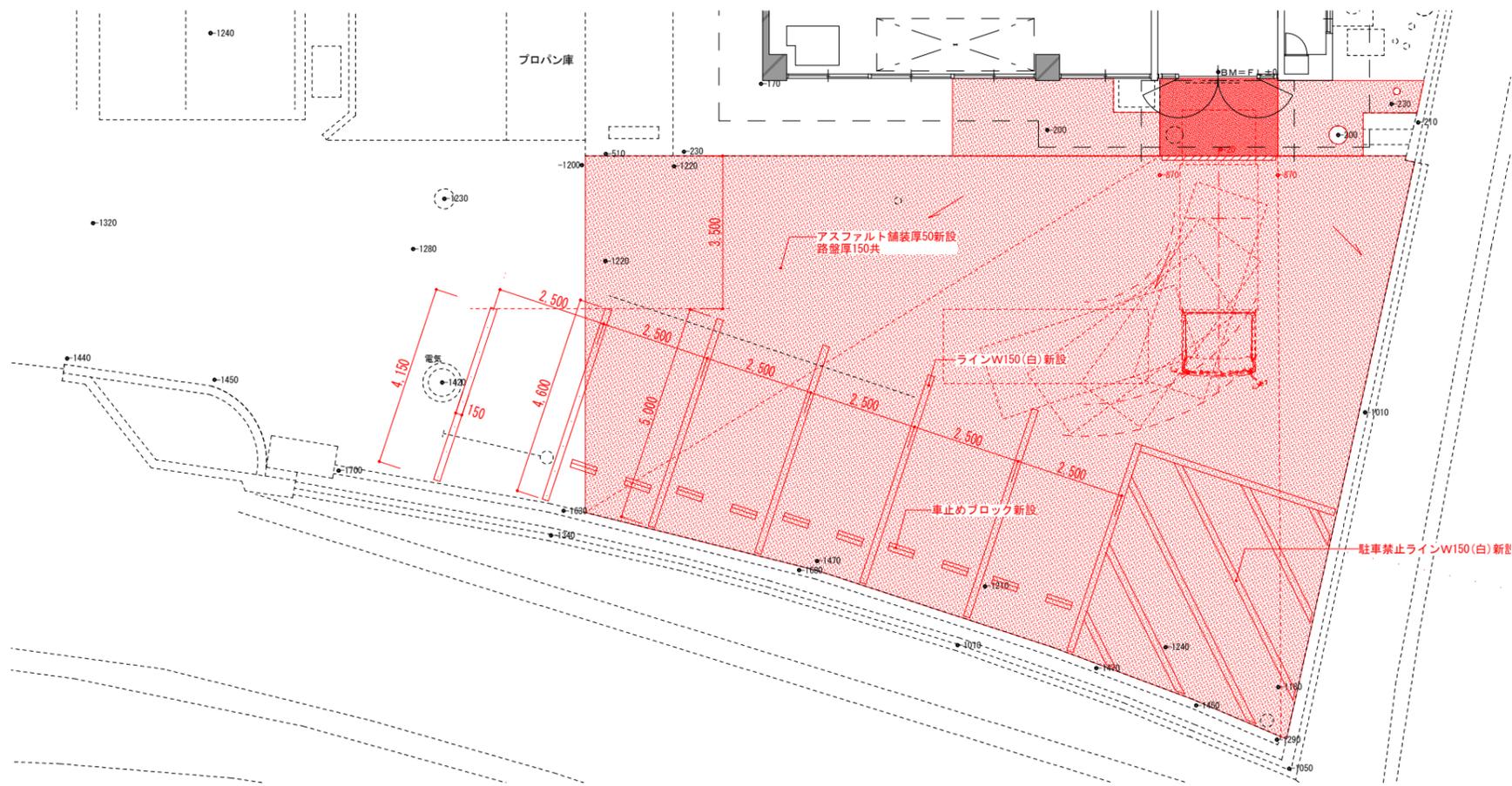


平面詳細図(改修後) 1:50

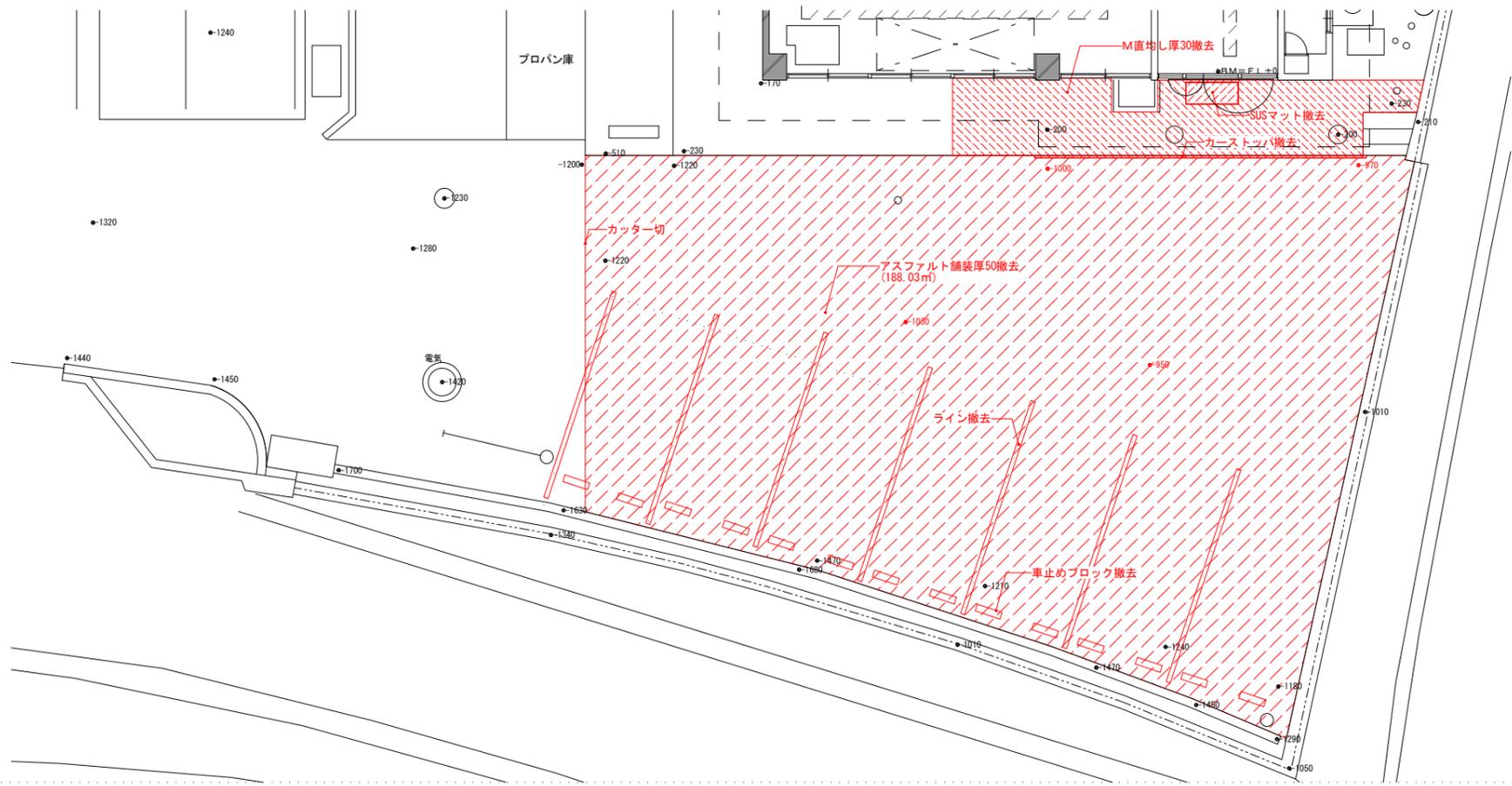


記号	AD 1 撤去	改修前	AD 2 撤去	改修前
形式	F1X窓付片開き親子フラッシュ扉		片開き親子フラッシュ扉	
位置	下処理室		給食室	
数量	1		1	
姿図				
扉仕様	アルミ製		アルミ製	
枠仕様	アルミ製 見込70		アルミ製 見込70	
ガラス	F:フロート厚4、網入ガラス厚6.8			
金物	丁番、ドアチェック、フランス落し、モノロック、SUS下枠戸当り、下枠段付き、防虫網付ガラリ		丁番、アングル、モノロック、ドアチェック、フランス落しモノロック	
備考	タテ枠残置、上下枠撤去		枠残置	

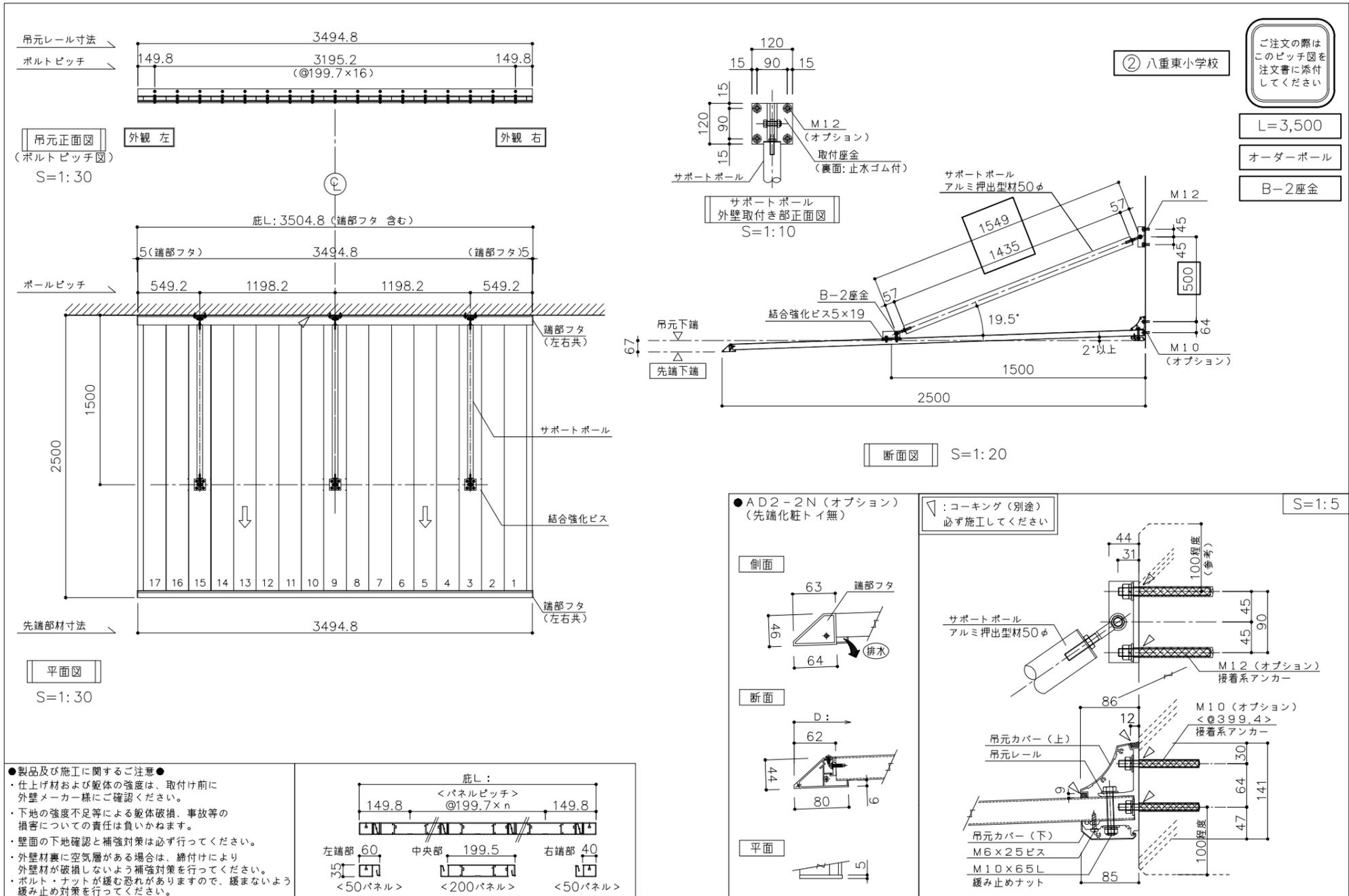
記号	AD 1 カバー工法	改修後	AD 1 新設	改修後
形式	両開きフラッシュ扉		片開きフラッシュ扉	
位置	前室		配膳室	
数量	1		1	
姿図				
扉仕様	アルミ製		アルミ製	
枠仕様	アルミ製 見込100、上枠		アルミ製 見込100	
ガラス	強化ガラス厚5、アルミパネル		強化ガラス厚5、アルミパネル	
金物	標準金物一式、レバーハンドル錠 ドアチェック(ストップ付)、SUS審ズリ、戸当り		標準金物一式、レバーハンドル錠 ドアチェック(ストップ付)、SUS審ズリ、戸当り	
備考				



外構平面図(改修後) 1:100



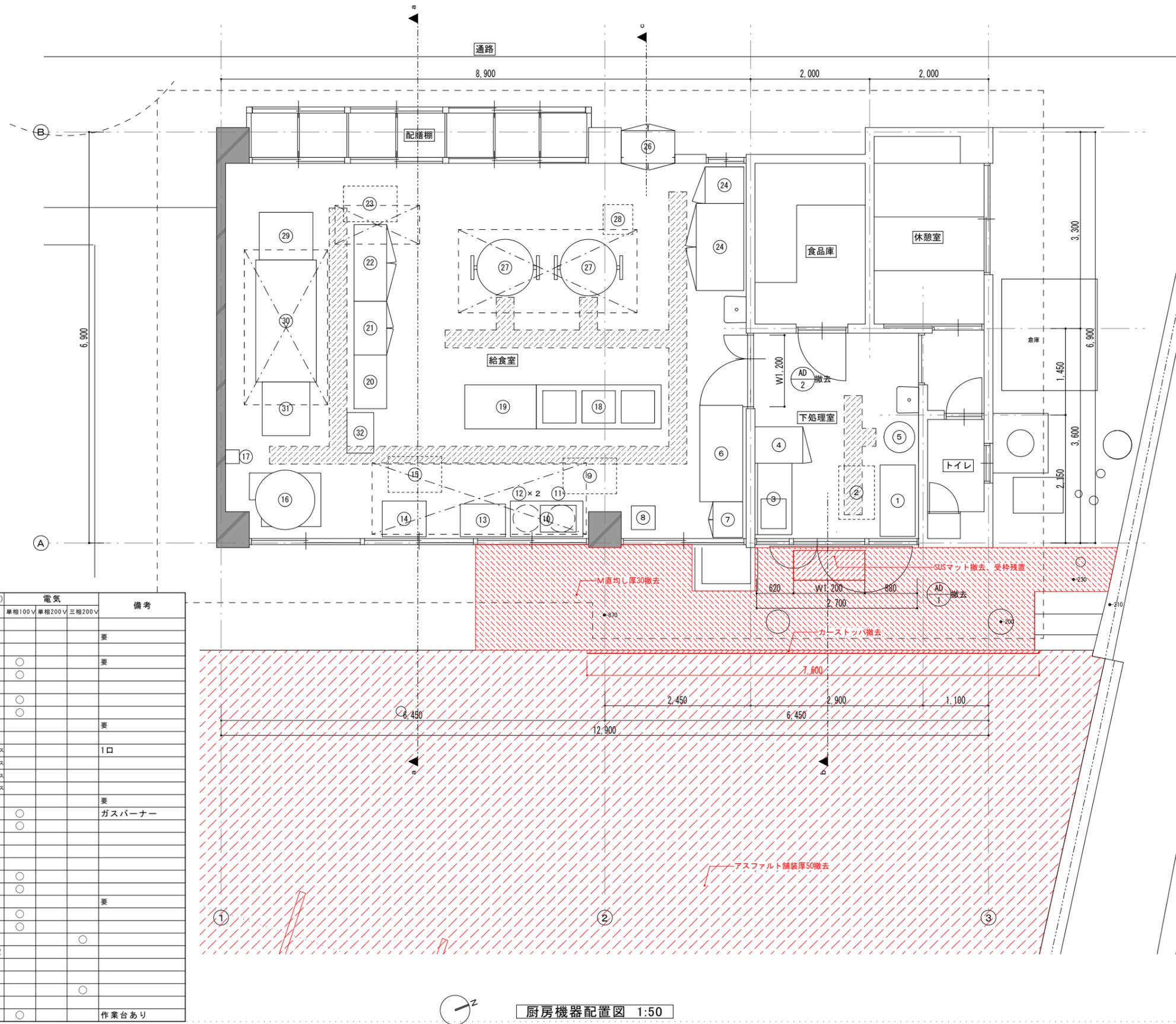
外構平面図(改修前) 1:100

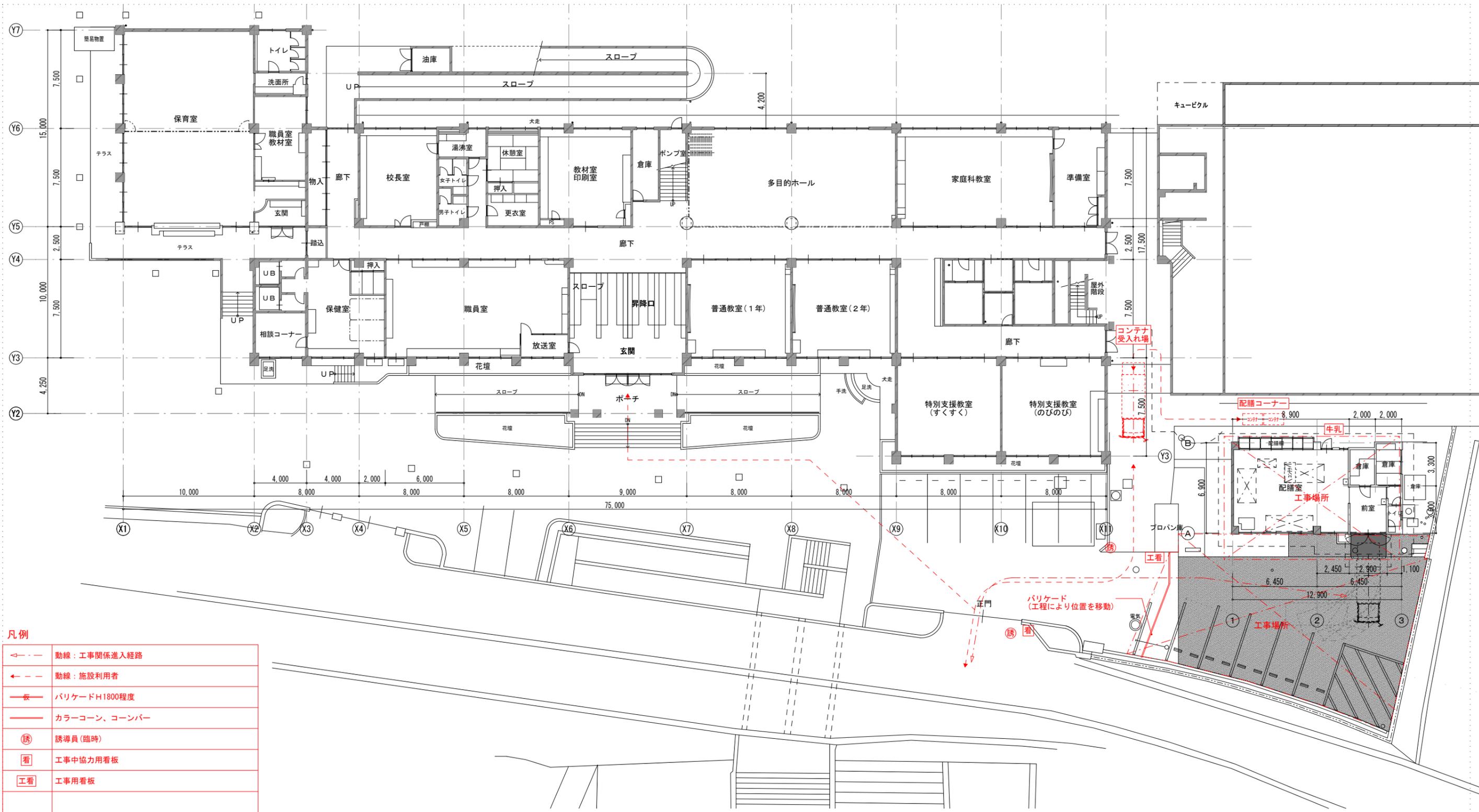


発注に先立ち、現場にて納まりを確認すること。

厨房機器リスト(備考の「要」は撤去しない)

番号	名称	規格・仕様	外形寸法(mm)			数量	給排水(A)			ガス(A)		電気			備考
			間口	奥行	高さ		給水	給湯	排水	口径	単相100V	単相200V	三相200V		
1	ラック		1200	590	1600	1									要
2	移動台		900	600	620	1									
3	一槽シンク		1200	620	1020	1	20	20	50						
4	冷蔵庫	フクシマ: URD-20RM	610	800	1950	1						○			要
5	球根皮剥機	日本調理機: PL-22N	520	540	670	1						○			
6	作業台		1,620	720	650	1									
7	包丁殺菌庫	兼八産業: KT-104	600	500	1030	1						○			
8	ドラフト洗米機	RW0-38型	400	400	730	1	20		40			○			
9	移動台		900	600	480	1									要
10	作業台		1220	600	770	1									
11	ガステーブル	OZAICI	600	450	175	1									1口
12	ガス炊飯器	リンナイ: RR-50S1	460	460	410	2									ガスホース
13	ガスオープン	東京板金工業: NHF-1-2-4	760	550	1250	1									ガスホース
14	フライヤー	東京板金工業: FGSHT760?1	600	740	880	1									ガスホース
15	移動台		900	600	600	1									要
16	貯湯式温水ボイラ	ミウラ: ZKT-1304XG、RC-25	1200	1200	900	1	20	30	50			○			ガスバーナー
17	給水ポンプ	NFH2-250S	230	230	230	1	20					○			
18	三槽シンク		2100	740	820	1	20×2	20×2	50×2						
19	作業台		1200	740	820	1									
20	ラック		900	550	1800	1									
21	食器消毒保管機	アイホー:	900	550	1870	1						○			
22	食器消毒保管機	アイホー: ES-1254N	1290	550	1870	1						○			
23	移動台		900	600	610	1									要
24	冷凍庫	パナソニック: SRF-K661LB	615	650	1950	1						○			
25	冷凍冷蔵庫	パナソニック: SRR-K1583CSB	1460	800	1950	1						○			
26	消毒保管機	フジマック: FEDB10W	900	550	1900	1						○			
27	回転釜	日本調理機: KGS-20	1390	870	780	2				20×2					
28	移動式一槽シンク		500	500	800	1									
29	一槽シンク		900	800	910	1	20	20	40						
30	食器洗浄機	日本調理機: DWN-B6	2050	1020	1210	1	20×2	20×2	40×2	20			○		
31	作業台		900	800	700										
32	フードカッター	フジマック: FCM-2	680	450	740	1						○			作業台あり





**凡例**

	動線：工事関係進入経路
	動線：施設利用者
	バリケードH1800程度
	カラーコーン、コーンバー
	誘導員(臨時)
	工事中協力用看板
	工事用看板

**特記事項**

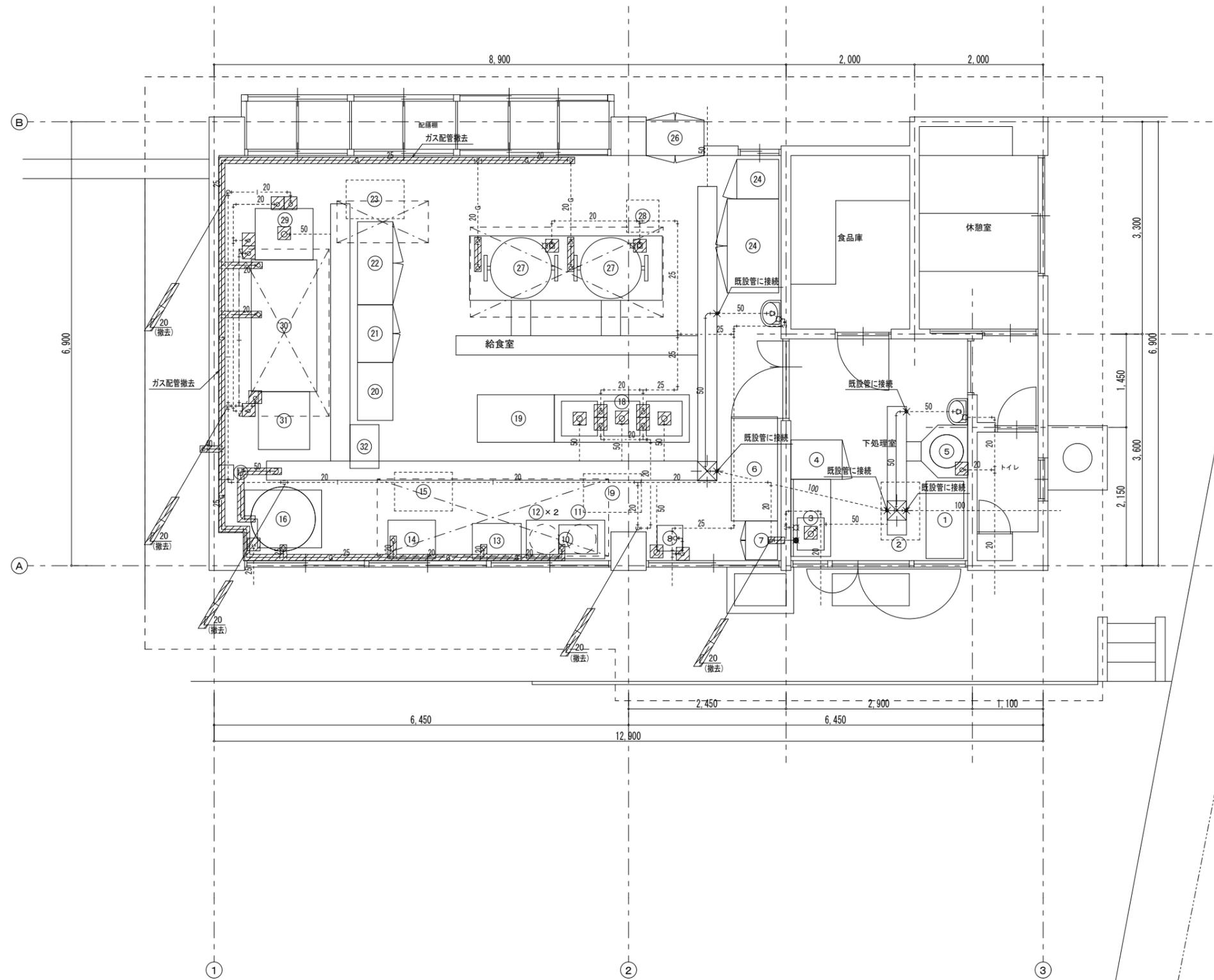
- 仮設図に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。
- 材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- 生徒が混雑する時間帯に車両の出入りがある場合は、交通誘導員を配置すること。
- 工事関係者の駐車場は、グラウンドの指定箇所とする。

仮設計画案 1階平面図 1:200



改修内容

- ・給水、給湯、ガス、排水配管の立上り土間ツラまで切断後ﾌﾗｯｸﾞ止めとする
- ・ボイラーの排気ダクトは、撤去後、SUSプレートで穴をふさぐ
- ・天井内配管は撤去なしとし、立下り配管は、天井面にて、ﾌﾗｯｸﾞ止めとする



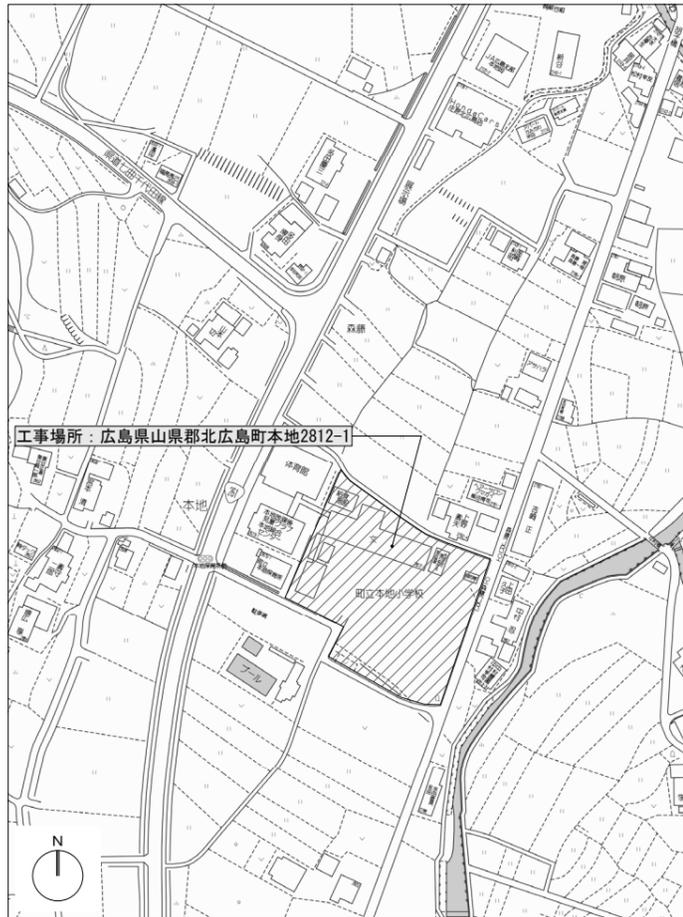
機械設備 平面図(撤去) 1:50



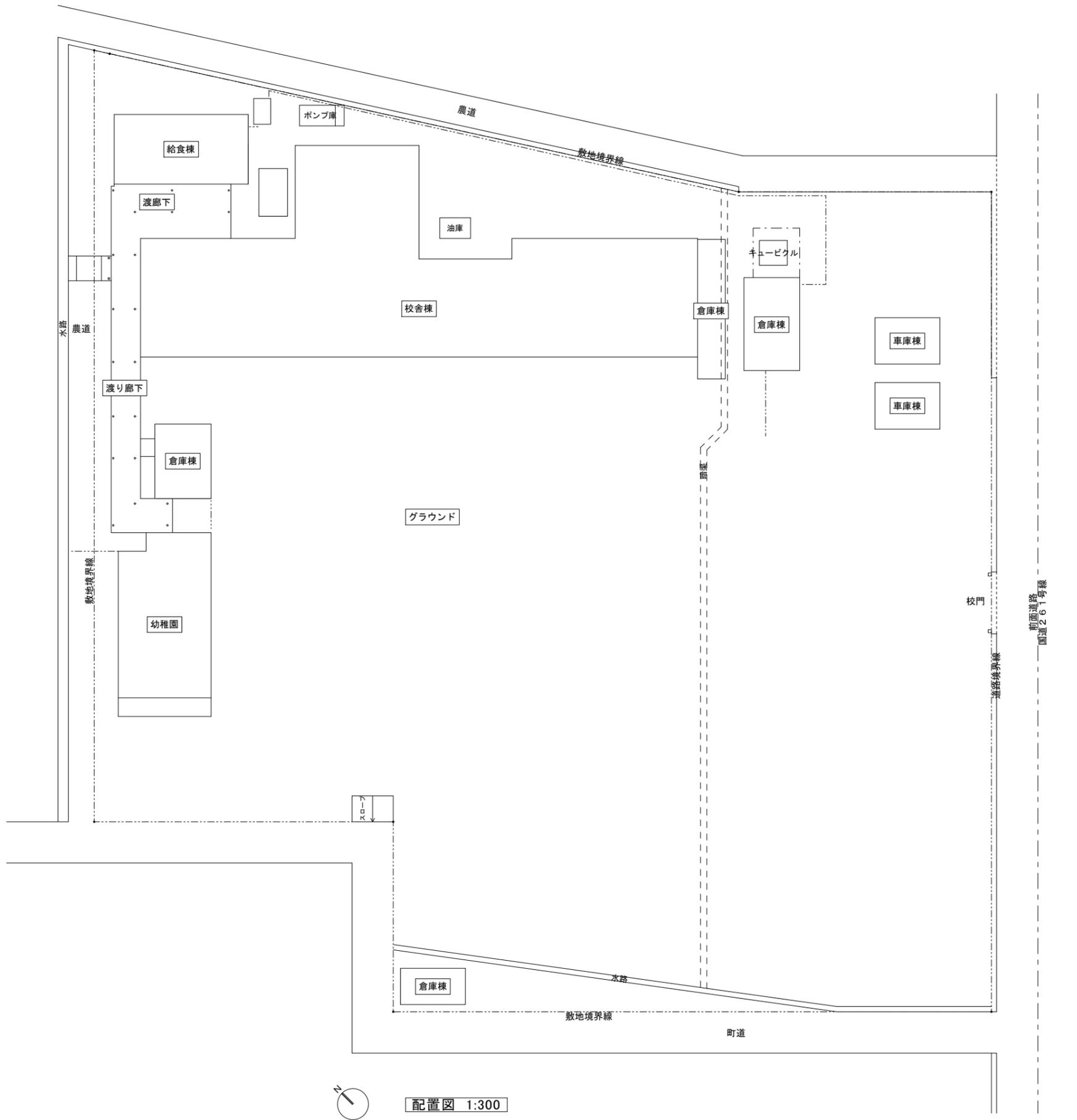
計 画 概 要	凡 例		防火性能認定番号		特記事項
<b>建物概要</b> 敷地の場所 広島県山県郡北広島町本地2812-1 敷地面積 ー㎡  施設名称 本地小学校 給食棟 構造 R C造 一部S造(屋根) 平屋建て 高さ 5.900m 建築面積 97.87㎡ 延床面積 84.99㎡ 建設年度 1983年(昭和58年)建設	一 般	C : コンクリート M : モルタル EM : エポキシ樹脂系モルタル CB : コンクリートブロック S : 鉄骨 LGS : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼、鋼製床組) W : 木組下地 SGP : 配管用炭素鋼鋼管 VP : 硬質塩化ビニル管(一般管) VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管) VB : パイプレーション仕上(ステンレス) GL : カラーガルバリウム鋼板	左 官 外薄塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 外厚塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材 内薄E : 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材RE : 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	GB-R 厚9.5 : 準不燃 QM-9828 GB-R 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8619 GB-F 厚9.5~25.0 : 不燃 NM-8615 GB-RH 厚9.5 : 不燃 NM-8645 GB-NC 厚9.5 : 不燃 NM-8613 GB-S 厚9.5~16.0 : 準不燃 QM-9826 GB-D 厚9.5 : 準不燃 QM-9824 GB-D 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8614 DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599 GW-F : 不燃 NM-8600 GW-B : 不燃 NM-8600 ケイカル板 厚5~12.0 : 不燃 NM-8576	1. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 内部仕上表の地下欄( )は既設部分を示す。 3. 材料加工に先立ち寸法を実測し、実状に合った寸法に加工する。 4. 排水ビットのC増し打ちは、無筋とする。 5. 6. 7. 8. 9. 10.
		ボード類 GB-R : 石膏ボード GB-F : 強化石膏ボード GB-RH : 普通硬質石膏ボード GB-P : 吸音用穴孔石膏ボード GB-S : シーリング石膏ボード GB-D : 化粧石膏ボード GB-W : 化粧石膏ボード(木目) ケイカル : けい酸カルシウム板 スレート : セメントスレート板 F : フレキシブル板 DR : ロックウール化粧吸音板	塗 装 SOP : 合成樹脂調合ペイント塗 OP : 油性調合ペイント塗 VE : 塩化ビニル樹脂エナメル塗 CL : クリヤラッカー FE : フタル酸樹脂エナメル塗 NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗 AE : アクリル樹脂エナメル DP : 耐候性塗料塗 EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP-T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗 UC : ウレタン樹脂ワニス塗 MR : マスチック塗料塗 OS : オイルステイン塗 WP : 木材保護塗料塗	シーリング SR-1 : シリコン系 SR-2 : シリコン系 MS-2 : 変成シリコン系 PU-2 : ポリウレタン系 PS-2 : ポリサルファイド系	
<b>工事概要</b> 1. 給食室改修 2. アルミ庇新設 3. 外構改修 4. 5. 6. 7.	仕上見切を示す シーリングを示す			参 考 品 番	

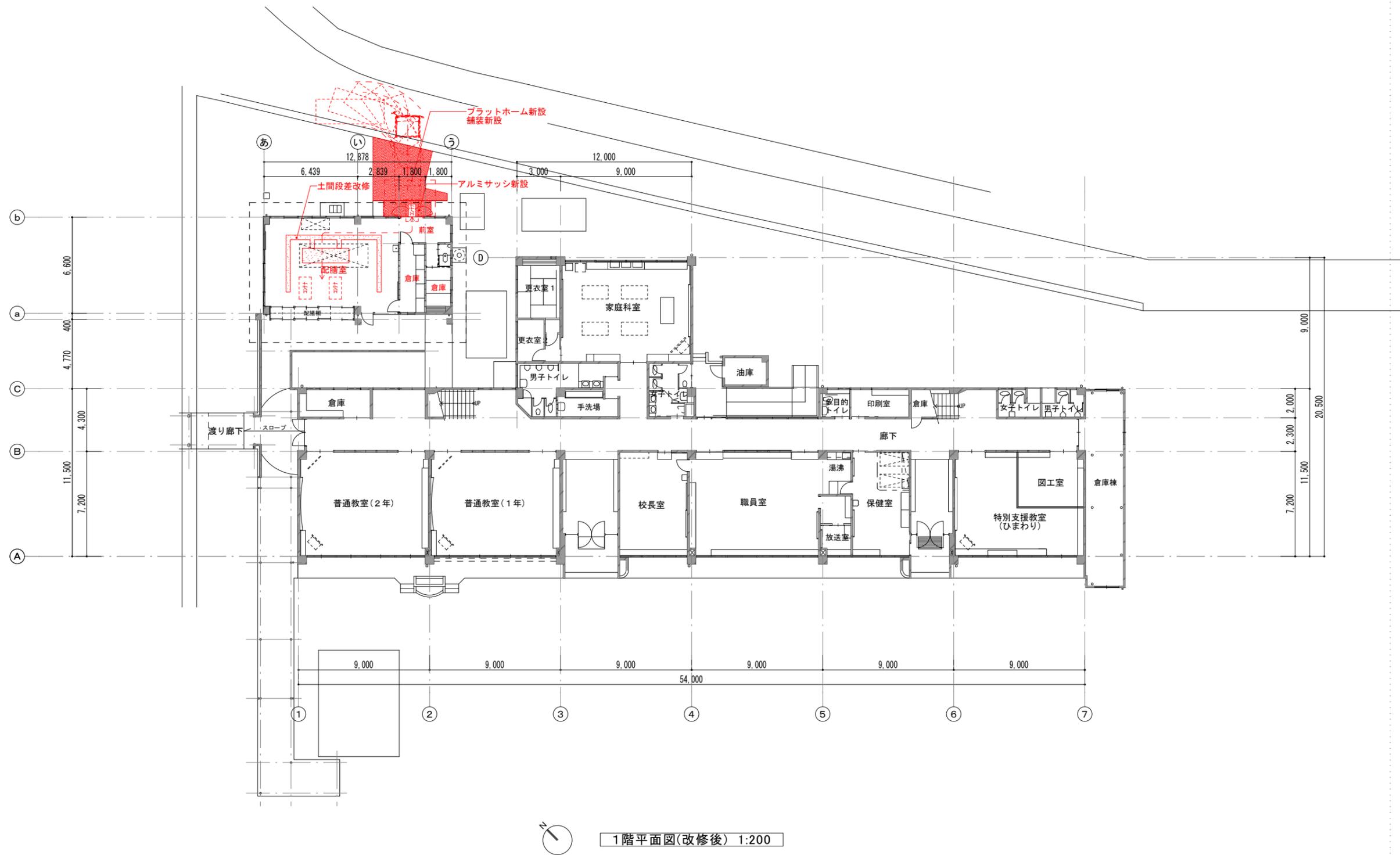
外 部 仕 上 表					
名 称	改 修 前	改 修 後	名 称	改 修 前	改 修 後
屋根	コロナルシングル葺き、耐水合板厚12 既設のまま	庇: アルミ庇 新設	樋	軒樋: VE塗、塩ビ製角樋W150 既設のまま 縦樋: VE塗、塩ビ製Φ75 既設のまま	
軒裏	外薄塗材E 石綿板厚5 既設のまま				
外壁	防水外薄塗材E C打放し 既設のまま				
根廻り	M金こてH300 既設のまま		外 構	犬走 : M金こて C下地 既設のまま 洗い場: M金こて C下地 立上りH200撤去	床: C直均し ワイヤメッシュ100×100Φ6敷き 新設

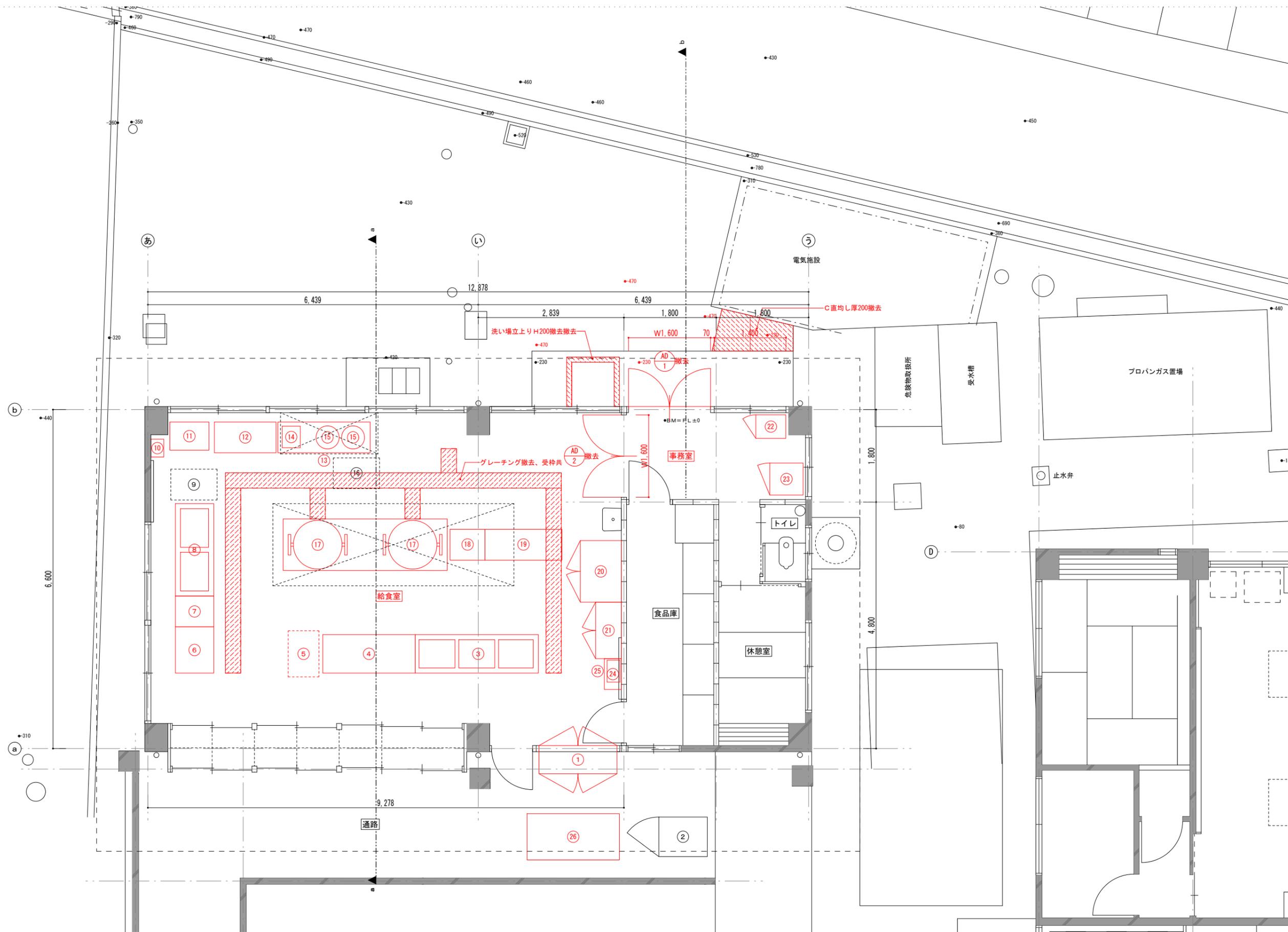
内 部 仕 上 表 ( 改 修 前 ・ 後 )												
室 名	区 分	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上			
事務室 ↓ 前室	改修前	C	床M直均し 既設のまま	C	M直均しH100 既設のまま	C	VE塗 M金こて 既設のまま	W	GB-D厚9 既設のまま	塩ビ製	2,500	
	改修後											
給食室 ↓ 配膳室	改修前	C	エポキシ樹脂塗 床M直均し 既設のまま	C	M直均しH250 既設のまま	C	VE塗 M金こて 既設のまま	LGS	VE塗 石綿セメント板厚5 既設のまま	塩ビ製	2,800 ~ 3,150	(手洗器、化粧鏡、蓋受枠)既設のまま (グレーチング蓋)撤去
	改修後	(C)	排水ビット: C増し打ち直均し 新設									
1 階	改修前											
	改修後											
	改修前											
	改修後											



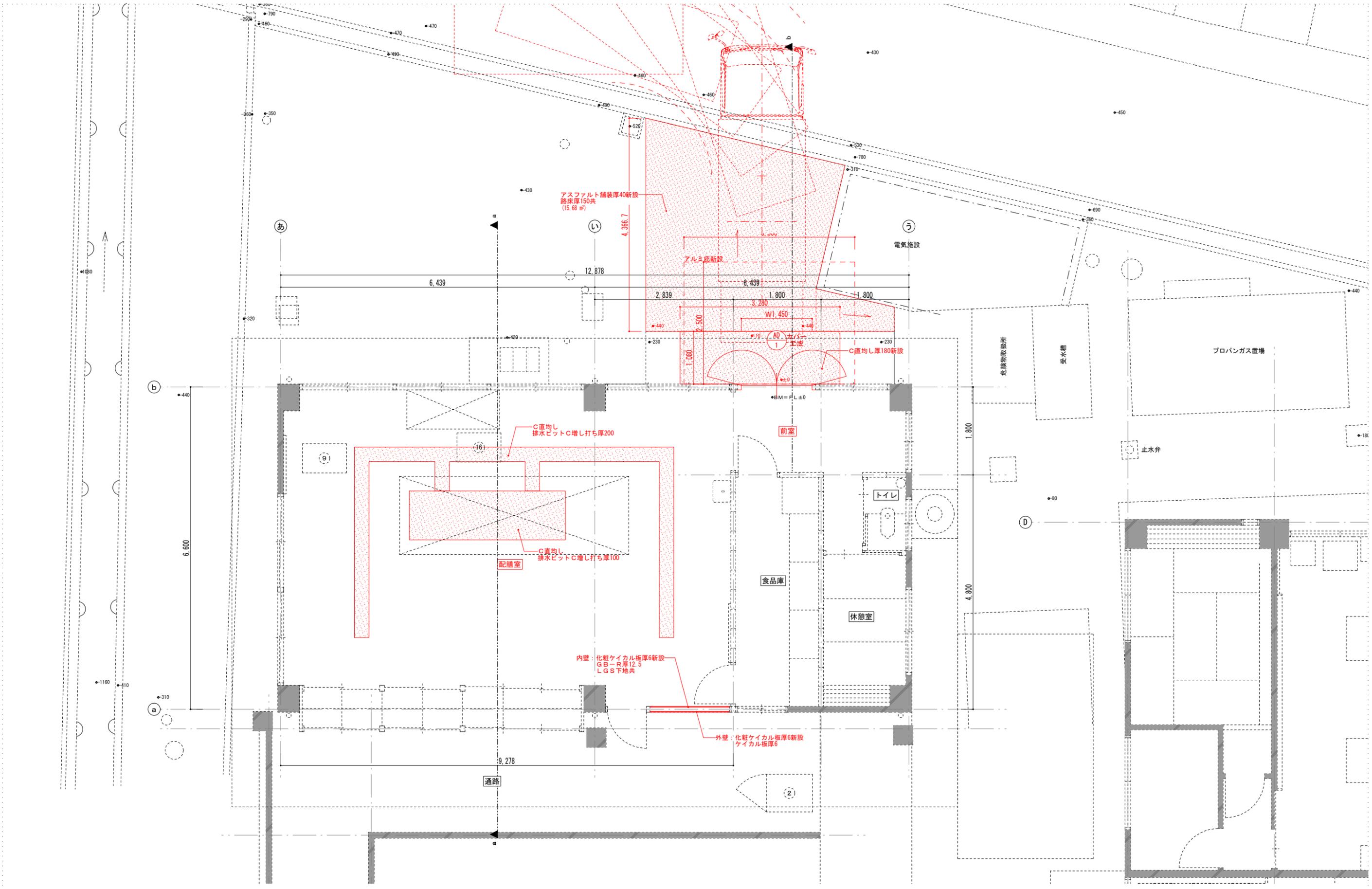
付近見取図



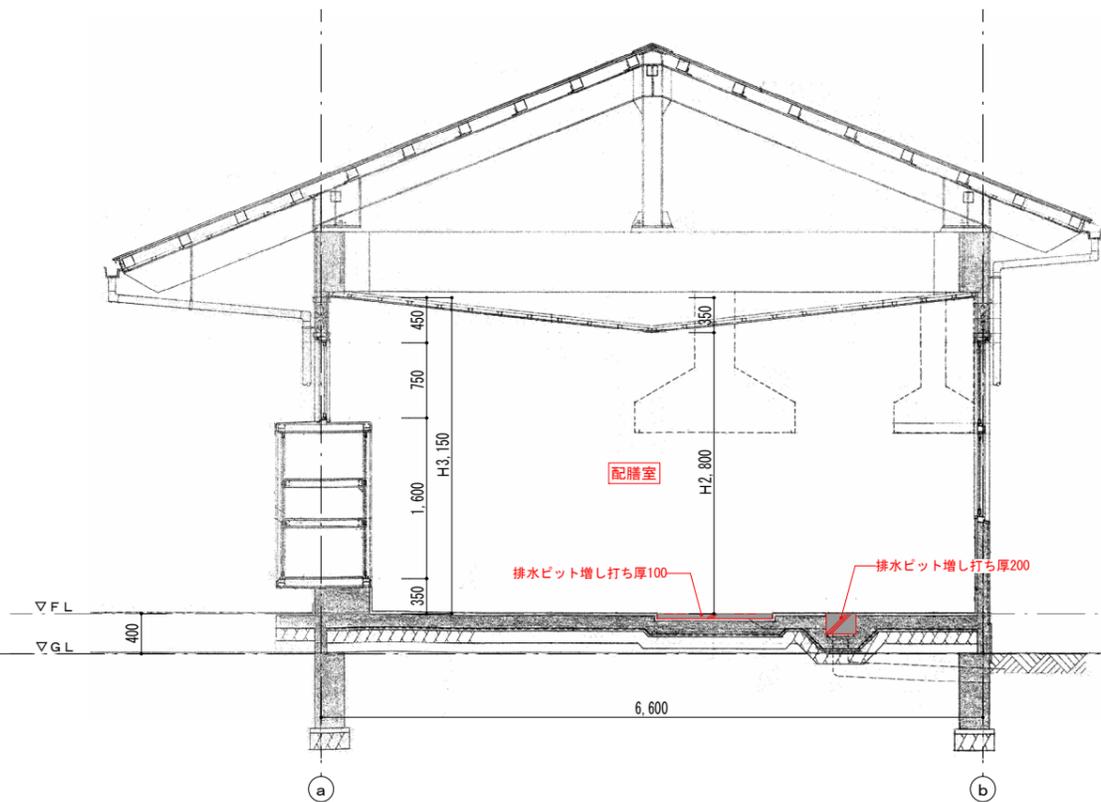




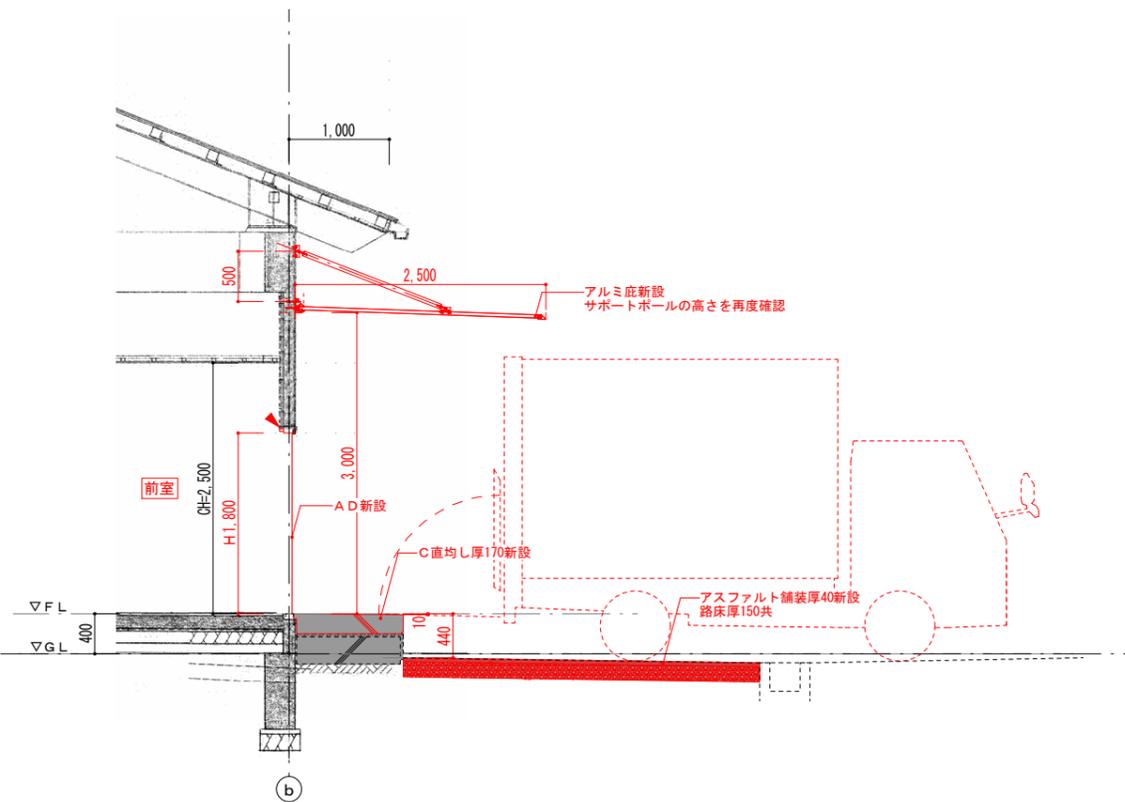
平面詳細図(改修前) 1:50



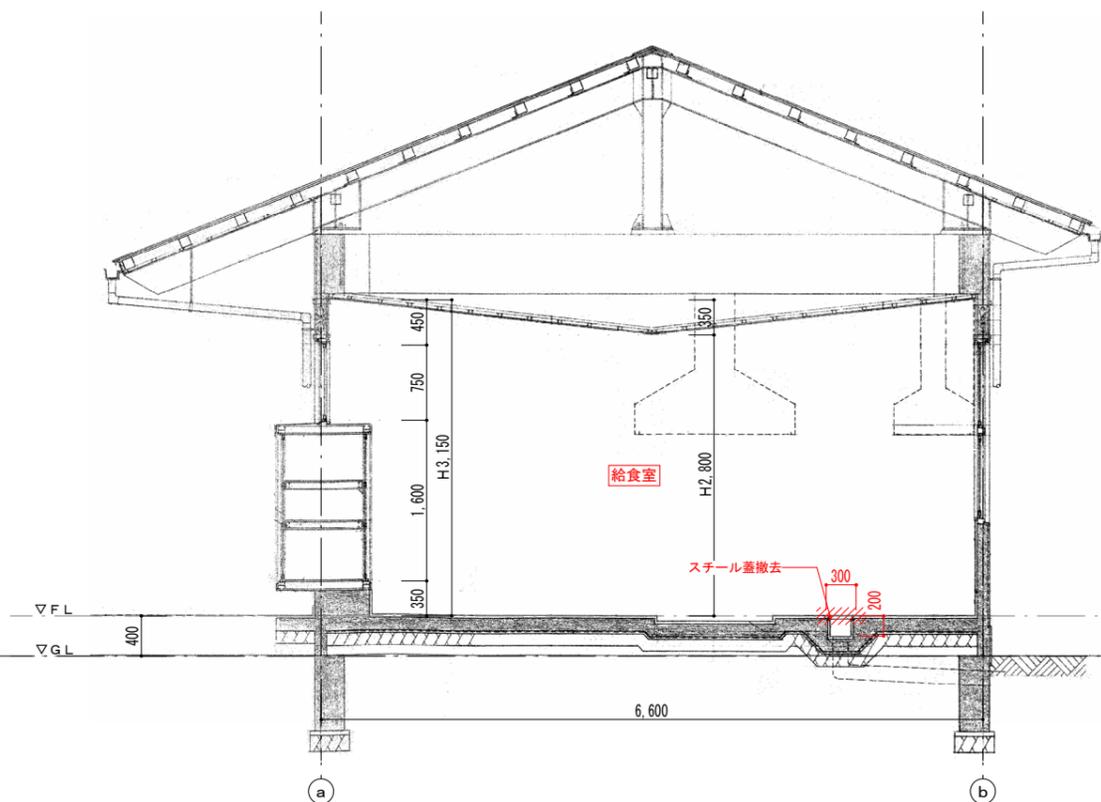
平面詳細図(改修後) 1:50



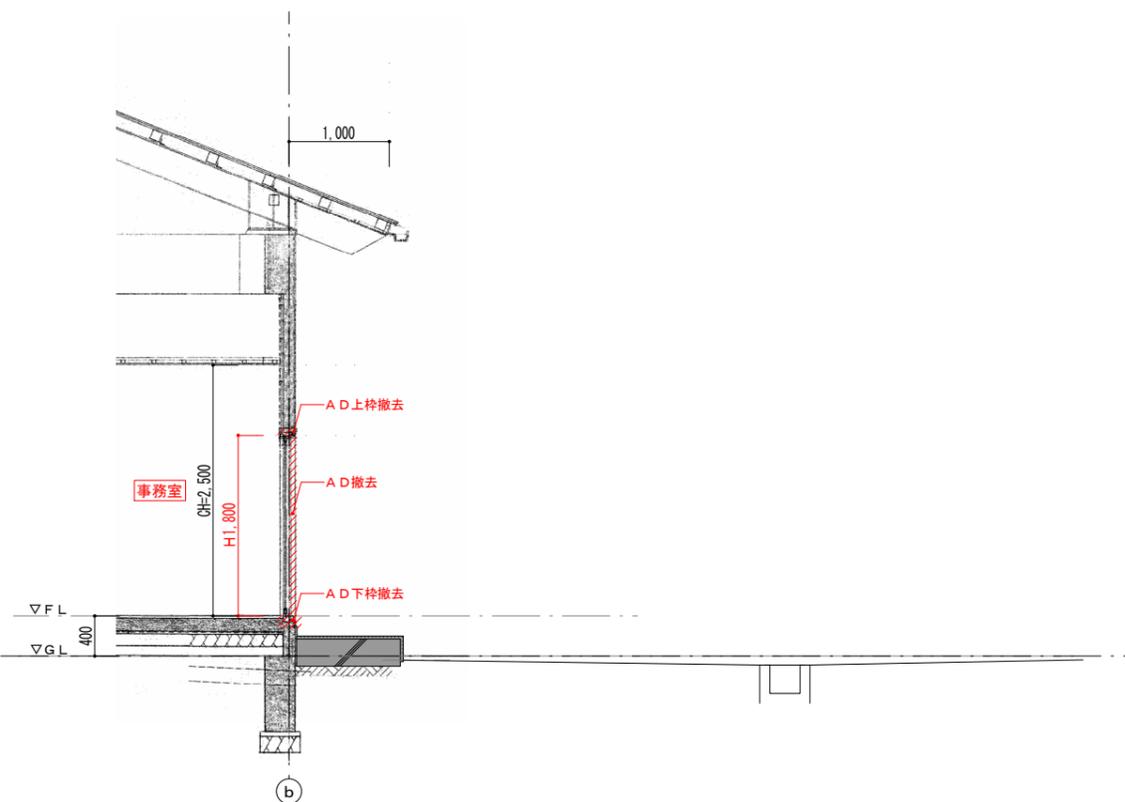
a断面詳細図(改修後) 1:50



b断面詳細図(改修後) 1:50



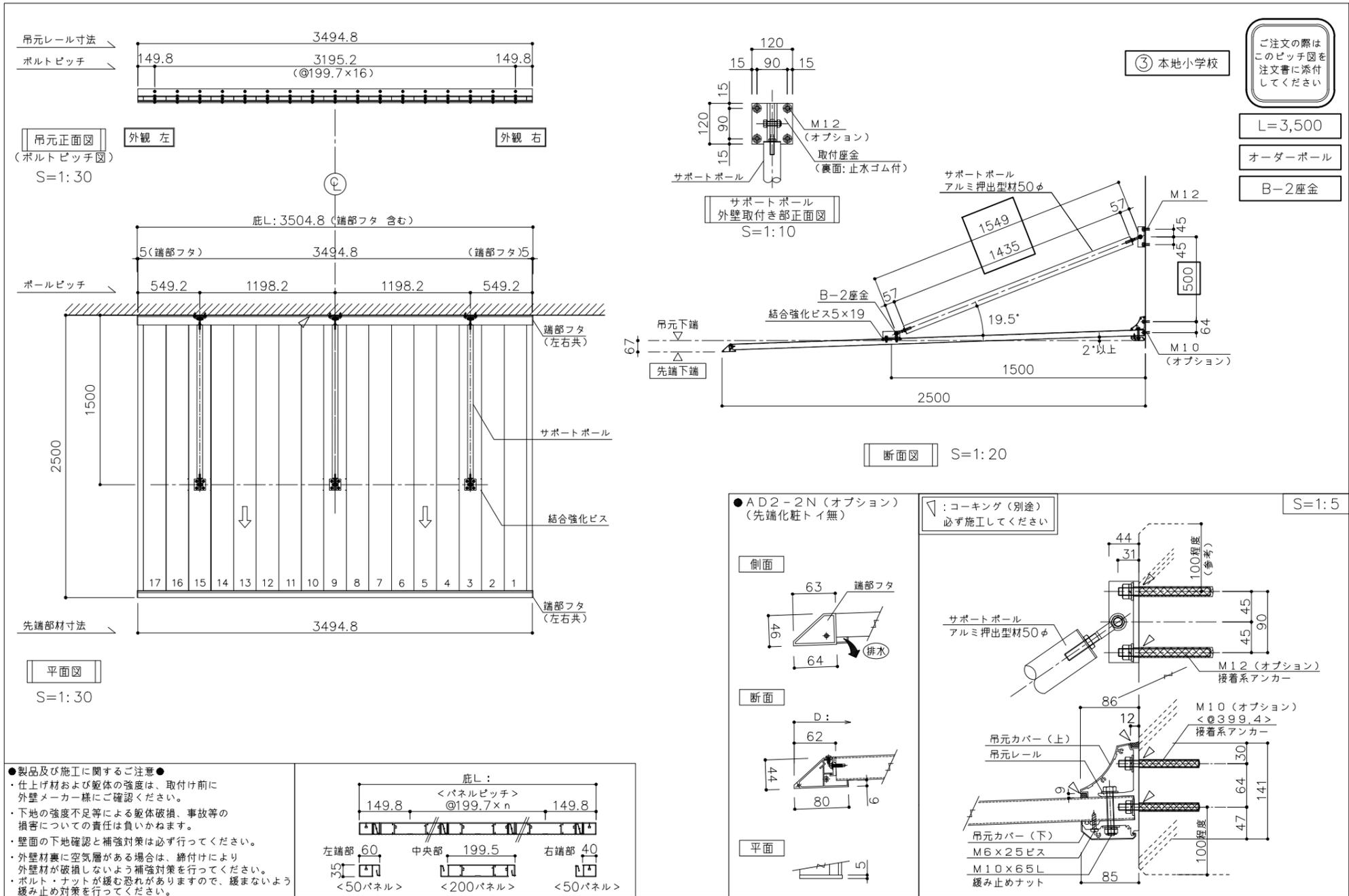
a断面詳細図(改修前) 1:50



b断面詳細図(改修前) 1:50

記号	AD 1 撤去	改修前	AD 2 撤去	改修前
形式	引違い窓付両開きフラッシュ扉		両開きフラッシュ扉	
位置	下事務室		給食室	
数量	1		1	
姿図				
扉仕様	アルミ製		アルミ製	
枠仕様	アルミ製 見込70		アルミ製 見込70	
ガラス	型ガラス厚4		フロートガラス厚3	
金物	丁番、ドアチェック、フランス落し、サムターンシリリダンダー錠 SUS下枠、当り、下枠段付き、防虫網付ガラリ		丁番、アングル、モノロック、ドアチェック、フランス落し モノロック	
備考	タテ枠残置、上下枠撤去		枠残置	

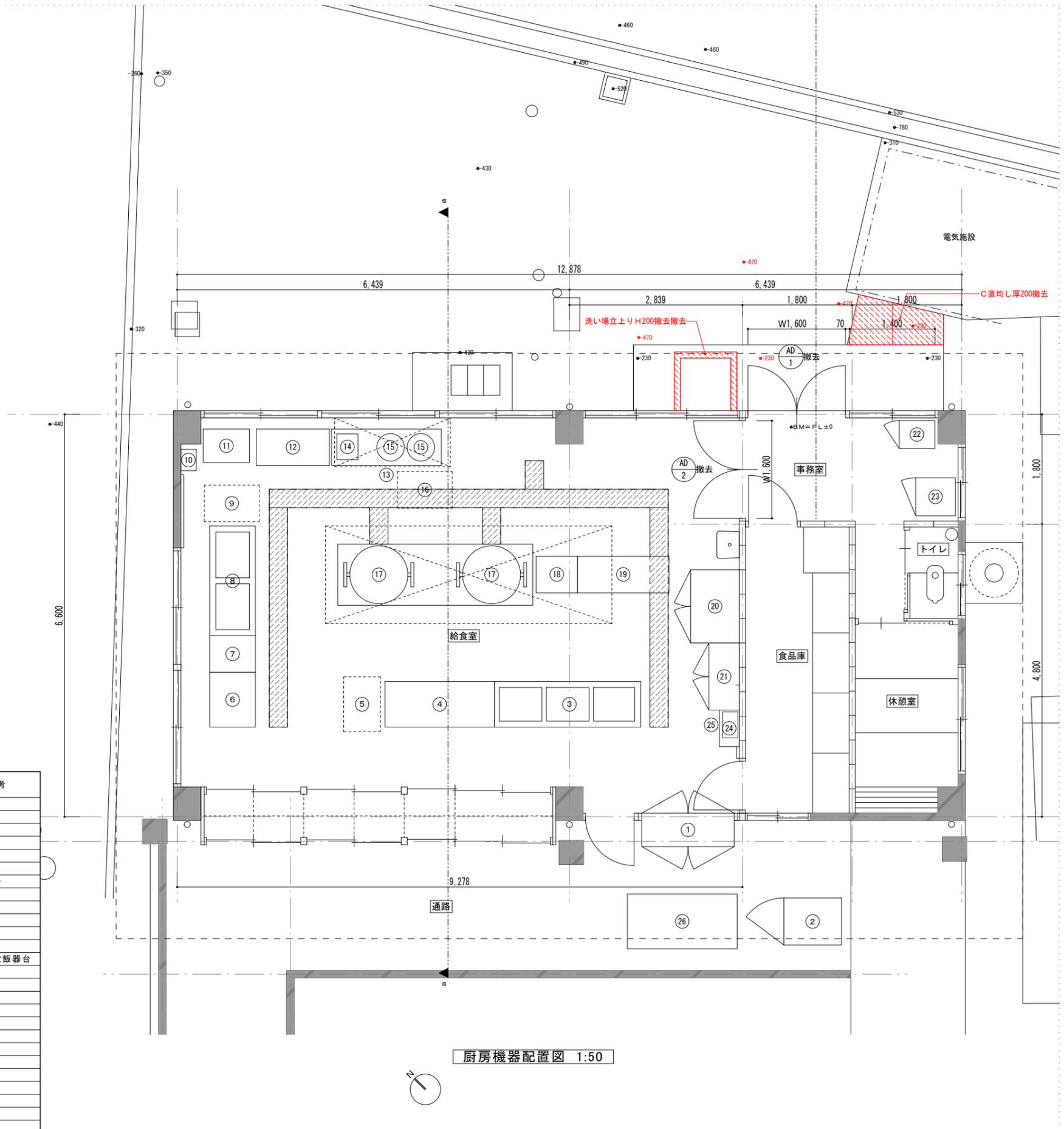
記号	AD 1 カバー工法	改修後
形式	両開きフラッシュ扉	
位置	前室	
数量	1	
姿図		
扉仕様	アルミ製	
枠仕様	アルミ製 見込100、上枠	
ガラス	強化ガラス厚5、アルミパネル	
金物	標準金物一式、レバーハンドル錠 ドアチェック(ストップ付)、SUS番ズリ、戸当り	
備考		



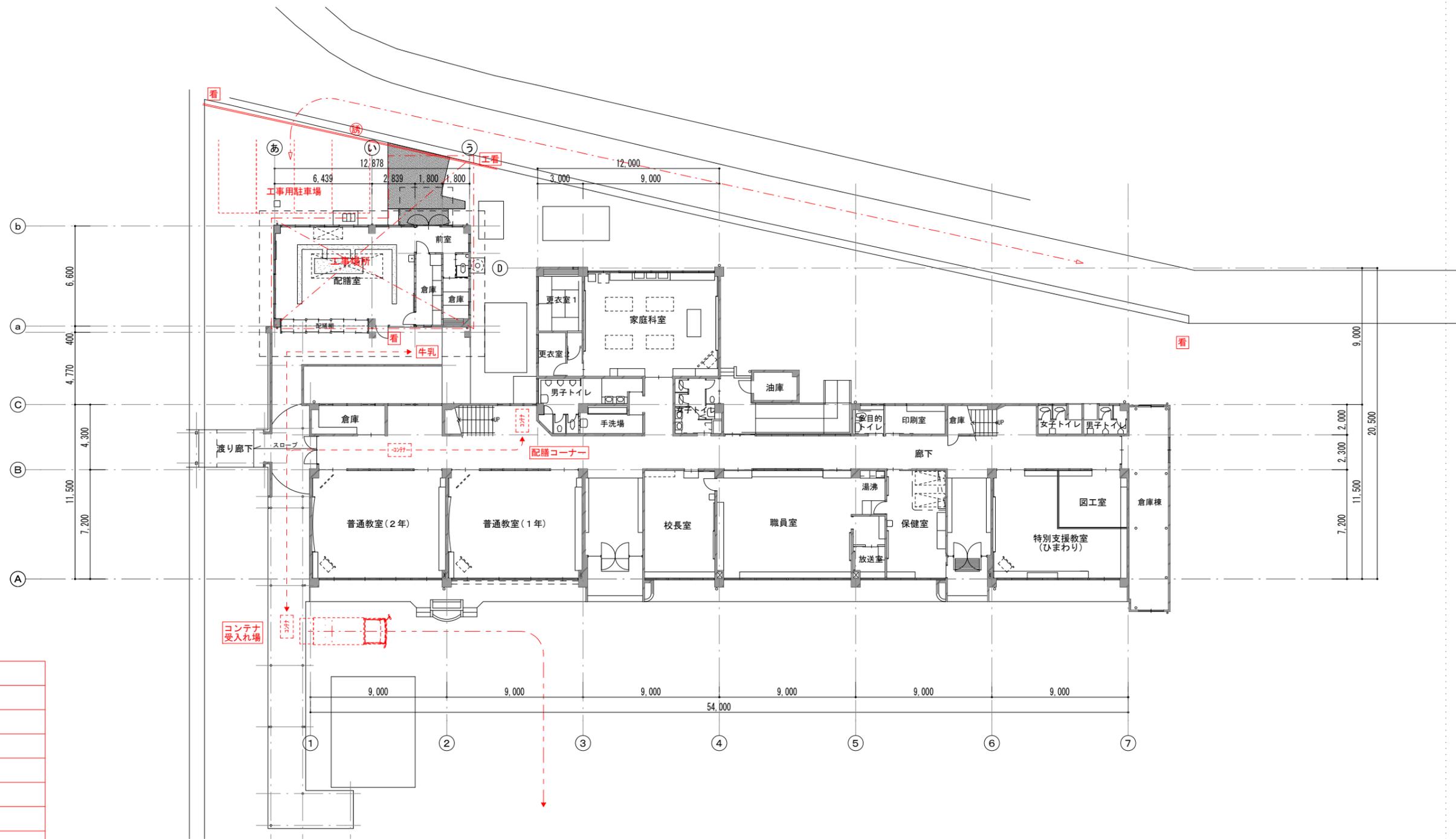
発注に先立ち、現場にて納まりを確認すること。

厨房機器リスト(備考の「要」は撤去しない)

番号	名称	規格・仕様	外形寸法 (mm)			数量	給排水 (A)			ガス (A)		電気			備考
			間口	奥行	高さ		給水	給湯	排水	口径	単相100V	単相200V	三相200V		
1	減菌庫	フジマック	1520	550	1900	1						○			要
2	牛乳保冷庫	フクシマガリレイ : GMW-080RM1-R\$	770	945	1910	1						○			要
3	三槽シンク		2400	750	800	1	15×2	15×2	40×2						
4	作業台		1800	750	800	1									
5	移動台		900	600	850	1									
6	一槽シンク		900	750	800	1	15	15	40						
7	一槽シンク		600	750	800	1						○			食器ブラシ
8	移動台		1800	750	800	1	15	15	40						
9	移動台		900	600	810	1									要
10	ガス給湯器	リンナイ : GQ-2420WZD-F-2	350	250	650	1	15	15		15		○			要
11	グリラー		760	550	1250	1									
12	作業台	クリナップ	1200	600	720	1									
13	作業台		1800	600	810	1									コンロ、炊飯器台
14	ガスコンロ	マルゼン	350	420	160	1				ゴムホース					
15	ガス炊飯器	リンナイ : RR-30S	450	421	425	2				ゴムホース					
16	移動台		900	500	650	1									要
17	回転釜	日本給食設備 : KGS-30	1440	920	810	2				20					
18	フライヤー	マルゼン : MGF-30G	680	600	950	1				15					
19	作業台		1500	600	800	1									
20	冷蔵庫	ホシザキ : HR-120X	1200	800	1900	1						○			
21	消毒保管庫	フジマック	1100	550	1940	1						○		○	
22	冷凍庫	サンデン : VF-K120X	460	585	1110	1						○			
23	冷凍庫	ホシザキ : HF-632T	625	650	1910	1						○			
24	ラック		600	330	900	1									保管庫台
25	殺菌線消毒保管庫	ヤガミ : DM-5	425	250	375	1						○			
26	作業台		1800	900	800	1									牛乳荷剥き



厨房機器配置図 1:50



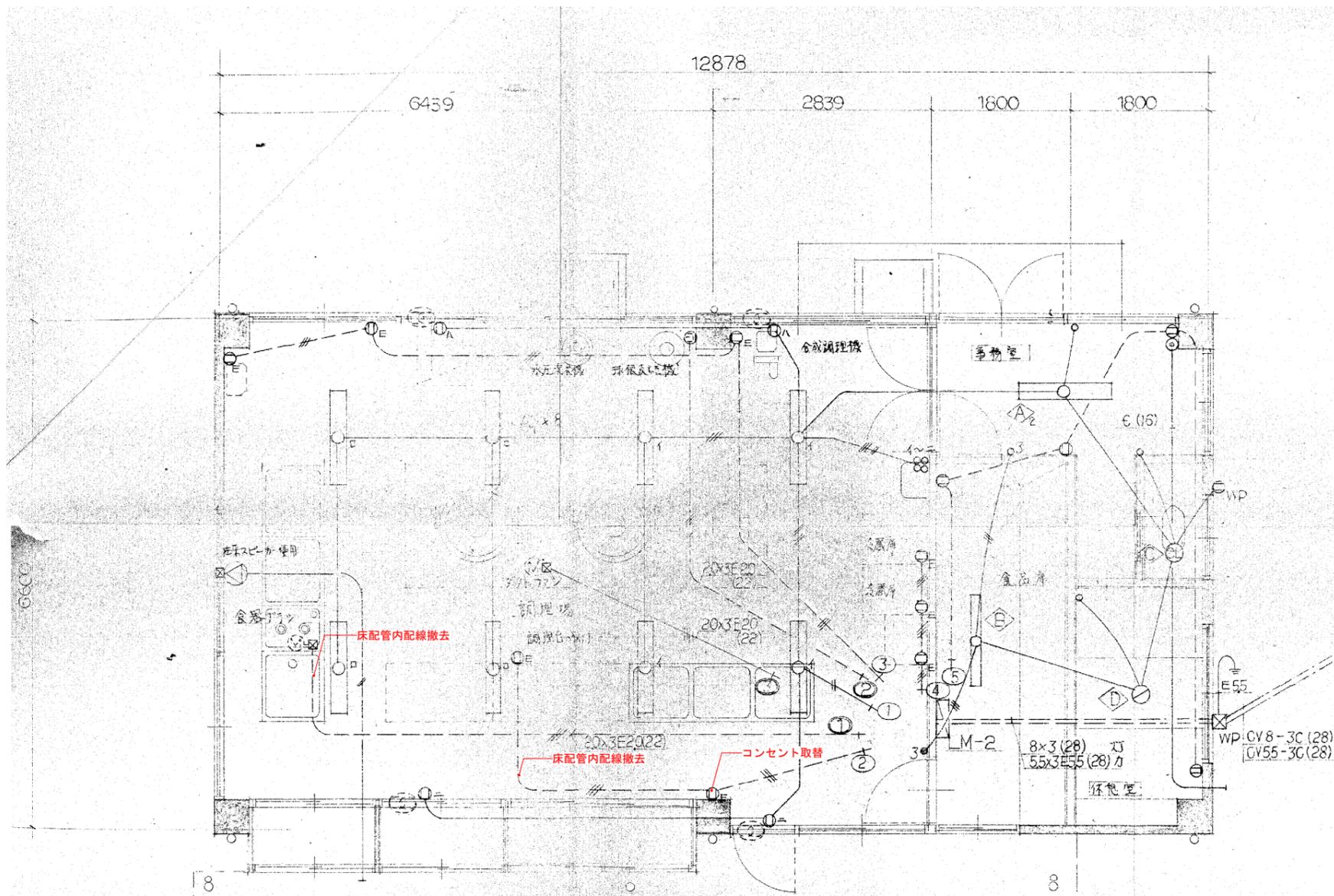
凡例

← - -	動線：工事関係進入経路
← - -	動線：施設利用者
— 板 —	バリケードH1800程度
— 線 —	カラーコーン、コーンバー
誘	誘導員(臨時)
看	工事中協力用看板
工看	工事用看板

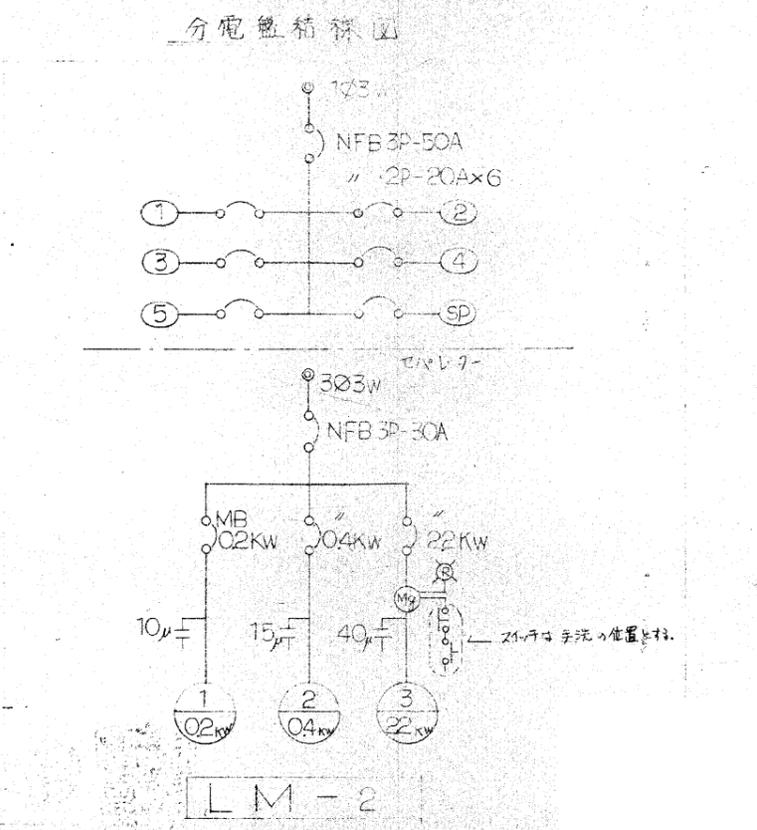
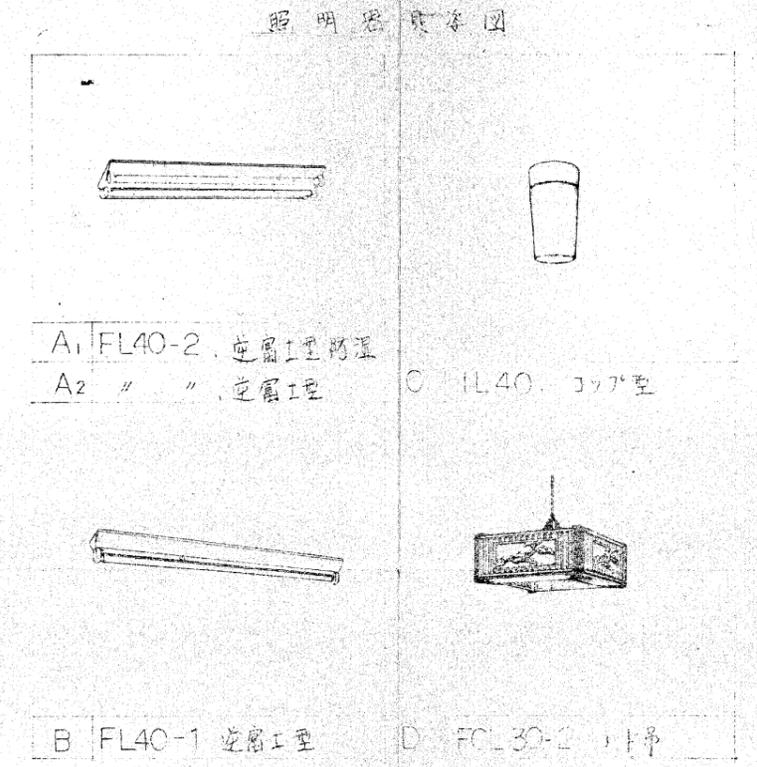
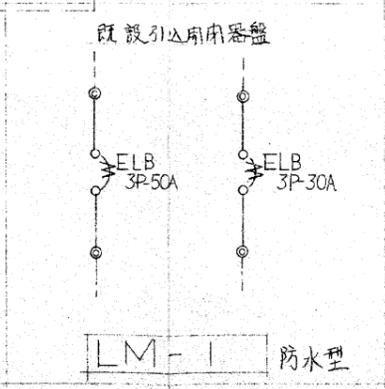
特記事項

- 仮設図に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。
- 材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- 生徒が混雑する時間帯に車両の出入りがある場合は、交通誘導員を配置すること。

仮設計画案 1階平面図 1:200

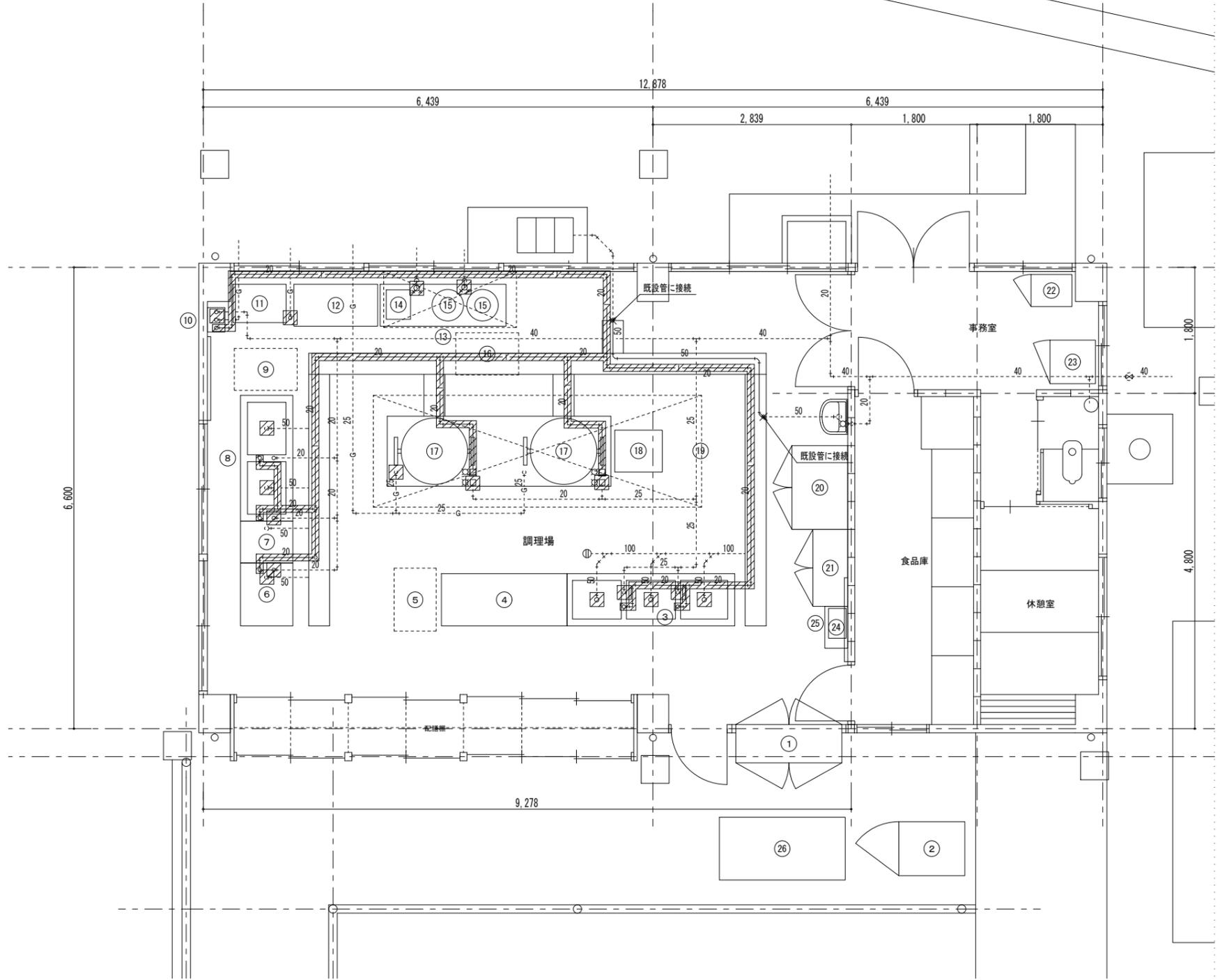


電気設備 平面図(改修前) 1:50



改修内容

- ・給水、給湯、ガス、排水配管の立上り土間ツラまで切断後ﾌﾗｸﾞ止めとする
- ・ボイラーの排気ダクトは、撤去後、SUSプレートで穴をふさぐ
- ・天井内配管は撤去なしとし、立下り配管は、天井面にて、ﾌﾗｸﾞ止めとする



機械設備 平面図(撤去) 1:50